

モロッコ王国
公平な教育振興プロジェクト
実施協議報告書
(付：詳細計画策定調査報告書)

平成26年9月
(2014年)

独立行政法人国際協力機構
人間開発部

人間
JR
14-093

モロッコ王国
公平な教育振興プロジェクト
実施協議報告書
(付：詳細計画策定調査報告書)

平成26年9月
(2014年)

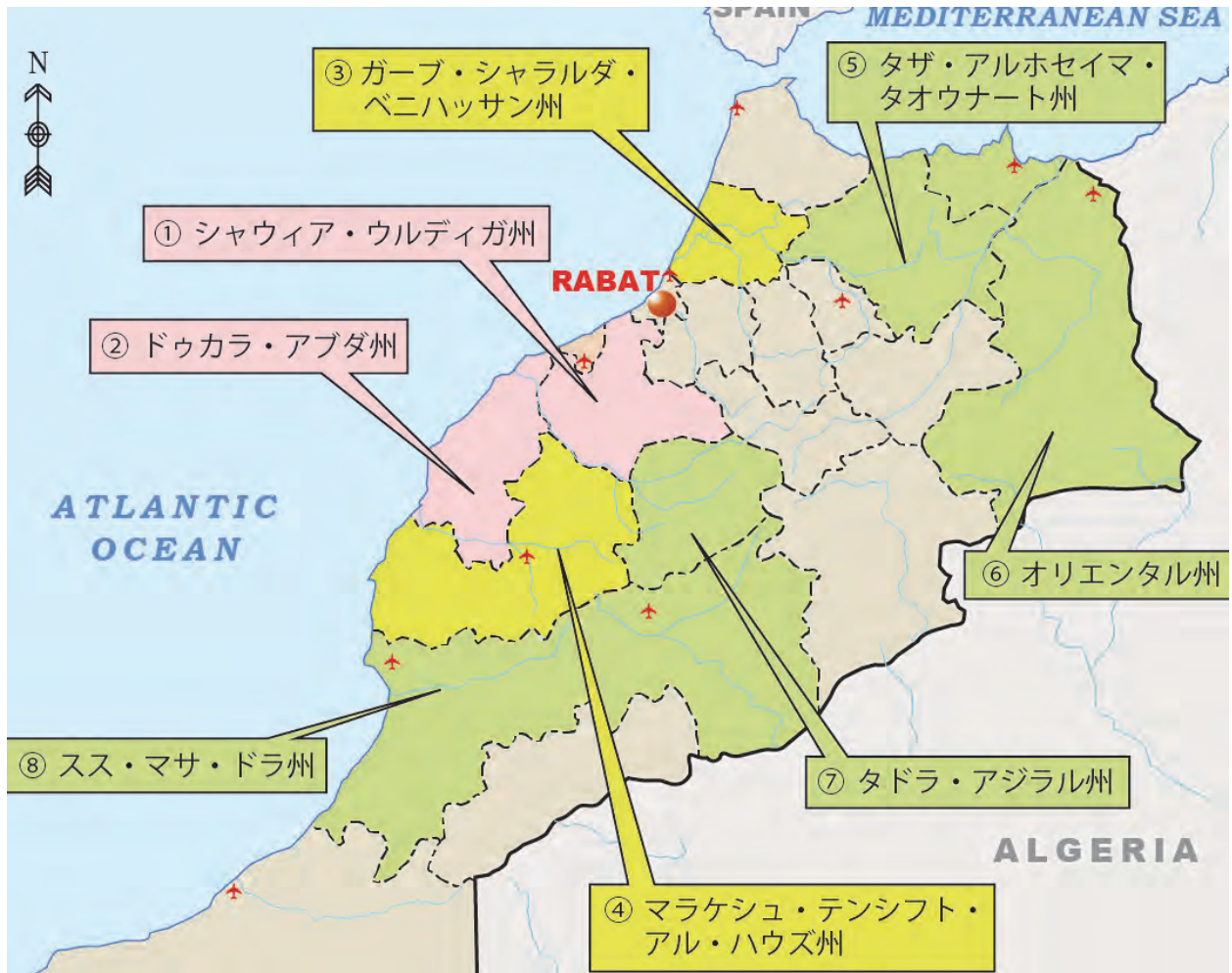
独立行政法人国際協力機構
人間開発部

目 次

目 次
地 図
写真集
略語表

第1章 要請の背景	1
第2章 調査・協議の経緯と概略.....	2
2-1 プロジェクト形成の経過と概略.....	2
2-2 詳細計画策定調査	2
2-3 実施協議の概要	5
第3章 事業事前評価表（技術協力プロジェクト）	7
付属資料	
1. 詳細計画策定調査団報告書（2013年6月、M/M【英語】を含む）	15
2. 詳細計画策定調査団報告書（2013年10月、M/M【英語】を含む）	45
3. プログラム・モニタリング指標.....	75
4. 円借款政策マトリックス	79
5. 討議議事録（R/D）【英語/仏語】（ANNEXは英語のみ。ANNEXIIIは 上記1. 2. のM/Mのため添付は割愛）	83

地 図



※①～⑧はプロジェクト対象州

写 真



教育省とのワークショップ (6/12)



小学校 Ecole Communautaire Abdelkarim Lekhtibi (6/17)



AREF Abda Doukhala 中学校 College avec Internat Errachade (6/17)



CRMEF Settat (6/18)



REF Chaouia Ouardhiga 寮付中学校 College avec Internat Beni Khlog (6/19)



College avec Internat Beni Khlogでの PTAヒアリング (6/19)



小学校 Sidi Slimane Ecole Primaire Kariat 校舎 (10/4)



小学校 Sidi Slimane Ecole Primaire Kariat 教員インタビュー (10/4)



中学校 Sidi Kacem Collegial Dakhla
校舎 (10/4)



Sidi Kacem Collegial Dakhla 教員への
インタビュー風景 (10/4)



中学校 College El Imam Chafiti 教員への
インタビュー風景 (10/7)



小学校 Ecole Primaire Groupe Scolaire
Ait Iymor (10/7)



中学校 College Harone Errachid校舎 (10/8)



College Harone Errachidでの
地理の授業の様子 (10/8)



小学校 Ecole Primaire Groupe Scolaire El
Maachatでの2年生、3年生の複式学級 (10/8)



M/M 署名

略 語 表

略 語	英語/仏語名	日本語
AREF	Académies Régionales de l'Education et de la Formation	教育・人材育成地域アカデミー (州教育局)
BESSP	Basic Education Sector Support Project	基礎教育セクター支援事業
BS	Bassin Scolaire	学校群
CNEE	Centre Nationale de l'évaluations and Examination National Centre for Evaluation and Examination	試験・評価センター
C/P	Counterpart	カウンターパート
EDPL 2	Second Education Development Policy Loan	第2次教育開発政策ローン
JICA	Japan International Cooperation Agency	国際協力機構
M/M	Minutes of Meeting	協議議事録
MENFP	Ministere de l'Education Nationale et de la Formation Professionnelle	モロッコ国民教育・職業訓練省
PDM	Project Design Matrix	プロジェクト・デザイン・マトリックス
PAMT	Plan d'Action a Moyen Terme 2013-2016	中期開発計画 2013-2016
PO	Plan of Operation	活動計画
PU	Programme d'Urgence	教育緊急計画
R/D	Record of Discussions	討議議事録

第1章 要請の背景

モロッコ王国（以下、「モロッコ」と記す）では1999年から2009年までを「モロッコ国教育の十年」と定め、基礎教育（初等教育6年間及び前期中等教育3年間）の普及に取り組んできた。その結果、初等教育純就学率は1991年の56%から2008年には89%（UNESCO）に大幅改善した。しかし、一方で留年率・退学率は依然として高いほか、前期中等教育の遅れ、他国と比較したときの学習到達度の低さ、都市部と地方部の格差（特に女子就学率）が存在し、社会格差をもたらす要因となってきた。特に前期中等教育のアクセス及び質において下記のような課題を抱えている。

- ・前期中等教育普及の遅れ：純就学率 53.9%（2012年）
- ・前期中等教育の都市部と農村部の格差（特に女子）：都市部女子の純就学率 78.7%に対し農村部は23.6%（2011/12）
- ・前期中等教育の留年率、退学率の高さ：留年率 16.0%・退学率 10.4%（2011/12）
- ・学力の低さ：国際数学・理科教育調査（TIMSS）の2011年結果
（中2）数学42カ国中40位、理科41位

このような状況に対してモロッコ政府は、教育の普及（地域間のアクセス解消）や質を向上させるために、2009年より「教育緊急計画（Programme d'Urgence：PU）」（2009～2012）を実施してきた。その後、2013年3月にPUに続く新たな教育セクターの開発政策である「中期開発計画2013～2016」（Plan d'Action a Moyen Terme 2013～2016：PAMT）が策定、実施されている。

モロッコでは、従来の中央集権型行政モデルに効率性の面で問題があるという認識から、中央レベルから州レベルへの権限委譲を実施しており、州の下にある県レベル及び学校レベルのニーズが行政に反映されやすくなるよう取り組んでいる。2009年以降、このような教育における地方分権化政策が推進中だが、政策が現場に浸透し、具体的な結果をもたらすまでには至っていないのが現状である。

モロッコ国民教育・職業訓練省（Ministere de l'Education Nationale et de la Formation Professionnell：MENFP）は、①教育の質における学校間の格差（特に中学校入学時の生徒の学習レベルにおける格差）、②教育へのアクセス（小中進学、女子就学率等）における格差を緩和するために、学力及びアクセスそれぞれの領域で改善を要する学校を特定し、そこに対して全国16州に設置されている教育・人材育成地域アカデミー（Académies Régionales de l'Education et de la Formation：AREF）が自ら格差を緩和する施策を開発・実施できるよう、わが国に対して技術協力を要請した。

第2章 調査・協議の経緯と概略

2-1 プロジェクト形成の経過と概略

モロッコ政府からの要請を受け、その要請背景、協力内容を確認し、モロッコ政府関係機関との協議を経て、協力計画を策定することを目的として、2013年6月及び10月に詳細計画策定調査団を派遣した。なお、本プロジェクトは2013年12月にL/Aが調印された円借款「基礎教育セクター支援事業」(約88億円)〔プログラム・コンポーネント：教育セクタープログラムローンとプロジェクト・コンポーネント：中学校建設を組み合わせたハイブリッド型円借款。プログラム・コンポーネントは世界銀行第2次教育開発政策ローン(Second Education Development Policy Loan：EDPL2)(約100億円)との協調融資〕と連携する形で案件形成を行ってきた。

具体的には、本円借款のプロジェクト・コンポーネントの対象4州は本プロジェクトで対象とする8州に含まれ、優先的に取り組む予定である。

また、プログラム・モニタリング指標(付属資料3)は、政策マトリックスにおける政策アクション(付属資料4、融資実施のトリガーとなるもの)が具体的な成果にどう結実していくかをフォローアップするものであるが、本プロジェクトでは、具体的に対象8州において、プログラム・モニタリング指標として設定された教育格差是正の各目標に向けて必要となる州や県レベルでの取り組みや人材育成を支援するものである。

2-2 詳細計画策定調査

2-2-1 調査の概略

概略は以下のとおり。

詳細計画策定調査①

現地調査期間	2013年6月3日～2013年6月23日(6月3日～11日 阿部コンサルタント1名による調査、12日～23日 田中団長、阿部コンサルタント、中村通訳、小森の4名での調査)		
団員構成	団長	田中 紳一郎	JICA 国際協力専門員(教育)
	協力企画	小森 明子	JICA 人間開発部基礎教育第二課 主任調査役
	評価分析	阿部 久美子	株式会社フジタプランニング海外調査部 主任研究員
	通訳	中村 榮美子	日本国際協力センター(JICE)
派遣の目的	<ol style="list-style-type: none"> 1) 本プロジェクトの妥当性を確認する。 2) プロジェクトデザイン(PDM、実施体制、活動計画等)に関し、モロッコ側関係者と協議し、合意形成を図る。 3) プロジェクト開始までに行う作業及びそのスケジュールを確認する。 4) 日本・モロッコ国側双方で同意した事項を協議議事録(M/M)案として取りまとめ、先方に手交する。 		
調査結果概略	現地報告書及び協議議事録(M/M)(付属資料1)のとおりに。		

詳細計画策定調査②

現地調査期間	2013年10月2日～2013年10月11日		
団員構成	団長	田中 紳一郎	JICA 国際協力専門員（教育）
	協力企画	小森 明子	JICA 人間開発部基礎教育第二課 主任調査役
派遣の目的	<ol style="list-style-type: none"> 1) これまでのわが国の基礎教育セクターへの支援結果を踏まえ、本プロジェクトの妥当性を確認する。 2) 2013年6月に実施した第1回目の調査で先方と合意したプロジェクトコンセプト案及びPDMに関し、下記について協議のうえ、合意形成を図る。 3) 「教育の質 (Quality)」コンポーネントの先方事業としての概略設計（コンセプト、活動フロー） 4) 「教育のアクセス (Equity)」コンポーネントの先方事業としての概略設計（コンセプト、活動フロー） 5) 実施体制の確認（国民教育省及び AREF での意思決定プロセスと決定機関） 6) 日本・モロッコ国側双方の投入内容、負担事項、活動計画（PO）の確認 7) プロジェクト開始までに行う作業及びそのスケジュールを確認する。 8) 日本・モロッコ国側双方で同意した事項を協議議事録（M/M）として取りまとめ、署名交換をする。 		
調査結果概略	現地報告書及び協議議事録 M/M（付属資料2）のとおり。		

2-2-2 評価5項目による評価結果

詳細計画策定調査団は、現地調査を通じ DAC 評価5項目の観点から評価を行い、本プロジェクトを実施する意義が高いことを確認した。詳細は以下のとおり。

(1) 妥当性

妥当性は高いと判断される。

モロッコの教育セクター開発計画である PU 及び PAMT において、教育へのアクセス改善と教育の質向上が優先課題に位置づけられており、政府のコミットメントが認められる。

さらに、PAMT におけるアクセス改善対策として格差是正による地方女子の就学率向上、そして学力向上においては適切な対策をとるための試験評価システム改善が具体的アクションとして示されており、プロジェクトの手段としての当該開発計画が示す方向性とニーズに整合性がある。

わが国の「対モロッコ国別援助方針」においても、地域的・社会的格差の是正を掲げており、地方農村部で教育を中心とした社会開発への支援を重点課題としていることから、本プロジェクトがめざすべき方向と一致している。

(2) 有効性

有効性は高いと判断される。

本プロジェクトは、恵まれない学校や教員、生徒をターゲットとしており、このような脆

弱な状況下にある対象者は変化の伸びしろが大きい。特に基礎学力のための授業改善などの取り組みの影響を受けることで、その効果を発現しやすいと思われる。

本プロジェクトでは貧しい地方農村部での小中接続の改善、女子就学の向上をめざすことになるが、今まで支援を受けてこなかった地域では関係者の期待も、やる気も高く、有効性の確保につながる。

(3) 効率性

効率性は高いと判断される。

本プロジェクトは MENFP 並びに州教育局である AREF が教育格差是正のために本来業務（施策）を開発・継続実施するための支援である。本来業務を効果的に実施できるよう支援教育の質を確保するために、試験評価分析に基づく確な現状把握に沿った対策策定支援を MENFP 並びに AREF が望んでおり、専門家の技術移転に係る業務などが効率的に行われることが期待できる。

州・県レベルのインスペクターへの介入支援は、既に通常業務として実施している試験評価及び教員評価を改善していくものであるため、プロジェクトの活動も通常業務に沿った形で効率的に実施されることが見込まれる。

外部条件は、現在のところインスペクターの大幅な人事異動がないことであるが、教員のキャリアとしてインスペクターの位置づけは7年間の教員経験及び1年の研修を要するなどクライテリアが明確かつ離職率も低く安定しており、定着率が確保される確率は高い。

(4) インパクト

本プロジェクトのインパクトは以下のように予測できる。

上位目標はプロジェクトで開発される施策の国内展開であり、プロジェクト目標である格差是正に取り組む施策が AREF の人材が中心となって確実に開発されれば、プロジェクト終了後3年以内には実現できることが見込まれる。

本プロジェクトで学力評価分析が可能になることにより、教育の質向上のためのよりの確な戦略策定がなされ、それに伴って PAMT に組み込まれているカリキュラム改善にも効果が波及されることが期待できる。

(5) 持続性

以下のとおり、本プロジェクトによる効果は、相手国政府によりプロジェクト終了後も継続されるものと見込まれる。

本プロジェクトは、既存の先方システムや体制を活用して実施される予定であり、このようなアプローチにより先方オーナーシップの醸成が図られることが期待される。

本プロジェクトの重点介入対象は、試験による学力評価、教員評価/指導を行う県のインスペクターのスーパーバイザーを担う AREF レベルの視学官であるが、中央の MENFP の試験評価部門との連携も組み込んでいる。AREF のみならず中央の担当者も巻き込むことで、他州へ施策を展開する際のオーナーシップを確保でき、高い持続性が期待される。

本プロジェクトは施策の継続実施のための予算確保に関する活動を初期段階から含める予定にしており、プロジェクト終了後における先方の持続性の確保が十分期待される。

2-3 実施協議の概要

詳細計画策定調査の結果を踏まえ、プロジェクトの詳細について先方と更に協議を重ね、プロジェクト実施について合意に至った。合意内容は討議議事録（Record of Discussions：R/D）付属資料5）にまとめられ、2014年5月9日にJICAモロッコ事務所及びMENFPとの間でR/Dの署名が行われた。なお、当初予定では、2014年1月ころにR/D署名の見通しであったが、免税特権などに関してモロッコ側で手続きの確認に時間を要したため2014年5月署名となった。

事業概要は以下のとおり。

2-3-1 事業概要

(1) 事業目的

本事業は、対象地域8州においてアクセスや学習達成度などの教育格差の緩和に係る地方教育行政レベルの施策を実証的に開発することにより、MENFPの地方教育行政に対する支援能力の強化を図り、もって教育格差の緩和に係る効果的な施策の全国普及に寄与するものである。

(2) プロジェクトサイト/対象地域名

モロッコ全国16州のうち下記8州（MENFPが州の教育指標に基づき選定）

- 1) シャウィア・ウルディガ
- 2) ドゥカラ・アブダ
- 3) ガーブ・シャラルダ・ベニハッサン
- 4) マラケシュ・テンシフト・アル・ハウズ
- 5) タザ・アルホセイマ・タオウナート
- 6) オリエンタル
- 7) タドラ・アジラル
- 8) スス・マサ・ドラ

（上記1）～4）は、円借款「基礎教育セクター支援事業」の学校建設コンポーネントの対象地域）

(3) 本事業の受益者（ターゲット・グループ）

- ・全国240程度の小中学校
- ・各州に設置されているAREF及び州の下にある「県」レベルに設置されている県教育局（Delegation）の視学官等280名程度

(4) 事業スケジュール（協力期間）

2014年9月～2018年8月を予定（計48カ月）

(5) 総事業費（日本側）

約4.3億円

(6) 相手国側実施機関

国民教育・職業訓練省（MENFP）戦略・計画局

(7) 協力の枠組み

- 1) 上位目標：域内教育格差を緩和する施策が対象 AREF 内の他中学校及びモロッコ国内他州にて展開される

指標：施策が展開された中学校区の数、州の数

- 2) プロジェクト目標：MENFP が、域内教育格差の緩和に取り組む AREF を、支援できるようになる。

指標：開発された支援の枠組み

3) 成果

成果 1：学習達成度の学校間格差に、AREF が取り組む施策が開発される

成果 2：就学の中学校区間の格差に、AREF が取り組む施策が開発される

成果 3：AREF 内の他県への施策継続及び MENFP による他州展開の準備が整う

本事業の基本コンセプトは、①教育の「質」における学校間の格差（特に中学校入学時の生徒の学習レベルにおける格差）、②教育への「アクセス」（小中進学、女子就学率等）における格差を緩和するために、学力及びアクセスそれぞれの領域で恵まれない学校を特定し、そこに対して地方（AREF、Delegation）が自ら格差を緩和できる施策を開発・実施できるように支援することである。

(8) 投入（インプット）

1) 日本側

- ・ 専門家派遣（①チーフアドバイザー兼教材開発、②学校運営、③女子教育等。その他必要に応じ予算の範囲内で検討）
- ・ 機材供与（研修資機材等）
- ・ 本邦研修
- ・ 現地活動費（在外研修経費、モニタリング経費、教材印刷等）

2) モロッコ国側

- ・（専属）カウンターパート（C/P）11名（プロジェクト・ダイレクター1名、プロジェクト・マネジャー1名、プロジェクト・コーディネーター1名含む）
- ・ プロジェクト執務室及び執務室維持経費
- ・ アクセス・コンポーネント実施にかかる費用（3年目～）
- ・ プロジェクト実施にかかる運営コスト（C/P 交通費等）

第3章 事業事前評価表（技術協力プロジェクト）

1. 案件名

国名：モロッコ王国

案件名：和名 公平な教育振興プロジェクト

英名 The Project on Promoting Education with Equity and Equality (PEEQ)

2. 事業の背景と必要性

(1) 当該国における教育セクターの現状と課題

モロッコ王国（以下、「モロッコ」と記す）では1999年から2009年までを「モロッコ国教育の十年」と定め、基礎教育（初等教育6年間及び前期中等教育3年間）の普及に取り組んできた。その結果、初等教育純就学率は1991年の56%から2008年には89%（UNESCO）に大幅改善した。しかし、一方で留年率・退学率は依然として高いほか、前期中等教育の遅れ、他国と比較したときの学習到達度の低さ、都市部と地方部の格差（特に女子就学率）が存在し、社会格差をもたらす要因となってきた。このような状況に対してモロッコ政府は、教育の普及（地域間のアクセス解消）や質を向上させるために、2009年より「教育緊急計画（Programme d'Urgence : PU）」（2009-2012）を実施してきた。その後、2013年3月にPUに続く新たな教育セクターの開発政策である「中期開発計画2013-2016」（Plan d'Action a Moyen Terme 2013-2016 : PAMT）が策定、実施されている。

モロッコでは、従来の中央集権型行政モデルに効率性の面で問題があるという認識から、中央で行われてきた意思決定が州で行われ、更にその下の県レベル及び学校レベルのニーズが行政に反映されやすくなるよう、2009年以降、教育における地方分権化を更に推進中（中央レベルから州レベルへの権限委譲を実施中）である。しかしながら、政策が現場に浸透、改善をもたらすまでには至っておらず、特に前期中等教育のアクセス及び質において下記のような課題を抱える。

- ・前期中等教育普及の遅れ：純就学率 53.9%（2012年）
- ・前期中等教育の都市部と農村部の格差（特に女子）：都市部女子の純就学率 78.7%に対し農村部は23.6%（2011/12）
- ・前期中等教育の留年率、退学率の高さ：留年率 16.0%・退学率 10.4%（2011/12）
- ・学力の低さ：国際数学・理科教育調査（TIMSS）の2011年結果
（中2）数学 42カ国中 40位、理科 41位

モロッコ国民教育・職業訓練省（Ministere de l'Education Nationale et de la Formation Professionnelle : MENFP）は、①教育の質における学校間の格差（特に中学校入学時の生徒の学習レベルにおける格差）、②教育へのアクセス（小中進学、女子就学率等）における格差を緩和するために、学力及びアクセスそれぞれの領域で改善を要する学校を特定し、そこに対して全国16州に設置されている教育・人材育成地域アカデミー（Académies Régionales de l'Education et de la Formation : AREF）が自ら格差を緩和する施策を開発・実施できるよう、わが国に対して技術協力を要請した。

(2) 当該国における教育セクターの開発政策と本事業の位置づけ

上記(1)のとおり、モロッコでは、教育の普及（地域間のアクセス解消）や質を向上させるために、2009年よりPUを実施してきた。PUは4つの改革目標（①基礎教育の完全普及、②ポスト基礎教育、③教育システムの改善、④資源の動員と有効活用）と26の支援策から構成され、JICAを含めたドナーは①、③、④の目標達成に向けた支援を実施。その後、2013年3月にPUに続く新たな教育セクター開発計画であるPAMTが策定され、5つの改革目標（①教育の機会、②教育の質、③教育施設、④ガバナンス（地方教育局のキャパシティ強化含む）、⑤人的資源）に基づき16の支援策を実施する予定である。

モロッコの教育セクター開発計画である「PAMT」において、教育へのアクセス改善と教育の質向上が優先課題に位置づけられており、政府のコミットメントが認められる。さらに、PAMTにおけるアクセス改善対策として格差是正による地方女子の就学率向上、そして学力向上においては適切な対策をとるための試験評価システム改善が具体的アクションとして示されており、プロジェクトの手段としての当該開発計画が示す方向性とニーズに整合性がある。

(3) 教育セクターに対するわが国及びJICAの援助方針と実績

わが国は国連ミレニアム開発目標（MDGs）の達成、とりわけアフリカにおける基礎教育のアクセスと質の改善重視を一貫して国際社会に対して表明してきている。2013年6月に横浜で開催された第5回アフリカ会議（TICAD V）では、MDGs達成に向けた取り組み強化の必要性が改めて確認されるとともに、同会議において採択された「横浜行動計画」では、基礎教育のアクセスと質の改善に向けた取り組みを行うことを示した。

また、2010年12月に行われた第2回日本・アラブ経済フォーラムでは「共同声明（チュニジア宣言）」において、初等教育分野での更なる協力を進める重要性を確認し、「アラブの春」を経た2011年5月のドーヴィル・サミットにおいてはわが国政府の中東支援策として、「人づくり」等を中心とした支援を行っていく考えを表明した。

わが国の「対モロッコ国別援助方針」においても、地域的・社会的格差の是正を掲げており、地方農村部で教育を中心とした社会開発への支援を重点課題としていることから、本プロジェクトがめざすべき方向と一致している。

JICAは1999年以降、モロッコ政府の教育改革に対して、有償資金協力「地方部中学校拡充事業（MR-P20）」、及び開発調査「地方基礎教育改善」（The Basic Education Improvement Program for Rural Area in the Kingdom of Morocco : BEIP）を通じて基礎教育のアクセス改善並びに学校環境改善を支援してきた。特に、MR-P20では、地方農村部での101校の中学校建設を計画し、既に99校が開校済みであり、前期中等教育へのアクセス改善に大きく貢献している。さらに、JICAはPUが策定された2009年以降、国別研修「行政官能力強化研修」を通じてモロッコ教育行政官の能力開発を支援したほか、2013年度にL/A締結予定である円借款「基礎教育セクター支援事業」（教育セクタープログラムローンと中学校建設を組み合わせたハイブリッド型円借款）等を通じて包括的な基礎教育支援を実施している。

(4) 他の援助機関の対応

PUへの支援は、「パリ宣言」に基づく援助の調和化を重視するモロッコ政府の要請により、

教育政策改革を実施するための財政支援（例：学校インフラ整備のための財政支援、政策策定アクションの達成を融資の条件とする財政支援）という形態を取ってきた。財政支援の実施にあたっては、世界銀行（WB）、フランス開発庁（AFD）、アフリカ開発銀行（AfDB）、EU、欧州投資銀行（EIB）、スペイン開発庁（AECID）が支援を実施してきており、これらのドナー（Partenaire Technique et Financier（PTF）はモロッコ政府との間で、調和化のための枠組みを取り極めた「協調文書（Lettre d'Entente）」を締結してきた¹。また、調和化を遵守するための実施ガイドラインを作成し、ドナー間の調和化を図っている。PU後の支援について、EUはPAMTを対象とした財政支援を、AfDBは職業教育を中心とした高等教育・雇用促進開発政策借款を、それぞれ支援予定であり、WB、EIB、AECID、AFDは検討中である。

PTF ドナー以外については、UNICEFは退学者の復学、学校運営改善に関する支援等、USAIDは小学校低学年における読解力強化、計算力強化のための支援等、カナダは学校改善計画に関する支援等を実施している。

3. 事業概要

(1) 事業目的

本事業は、対象地域8州においてアクセスや学習到達度などの教育格差の緩和に係る地方教育行政レベルの施策を実証的に開発することにより、MENFPの地方教育行政に対する支援能力の強化を図り、もって教育格差の緩和に係る効果的な施策の全国普及に寄与するものである。

(2) プロジェクトサイト/対象地域名

モロッコ全国16州のうち下記8州（MENFPが州の教育指標に基づき選定）

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1) シャウィア・ウルディガ | 5) タザ・アルホセイマ・タオウナート |
| 2) ドゥカラ・アブダ | 6) オリエンタル |
| 3) ガーブ・シャルルダ・ベニハッサン | 7) タドラ・アジラル |
| 4) マラケシュ・テンシフト・アル・ハウズ | 8) スス・マサ・ドラ |

（上記1）～4）は、円借款「基礎教育セクター支援事業」の学校建設コンポーネントの対象地域）

(3) 本事業の受益者（ターゲット・グループ）

- ・全国240程度の小中学校
- ・各州に設置されているAREF及び州の下にある「県」レベルに設置されている県教育局（Delegation）の視学官等280名程度

(4) 事業スケジュール（協力期間）

2014年9月～2018年8月を予定（計48カ月）

¹ 「協調文書」への署名は2009年に支援を既に決定していたEU、AfDB、EIB、AFDとモロッコ政府〔経済財政省及び国民教育省（当時）〕との間でなされた。その後に参加を決定した世界銀行、AECIDは追加署名を行っていない。モロッコ側に署名を求められていないこともありJICAも本文書に署名していないが、世界銀行、AECID同様にJICAはPTFドナーの1機関としてドナー合同レビューミッションに参加してきた。

(5) 総事業費（日本側）

約 4.3 億円

(6) 相手国側実施機関

国民教育・職業訓練省（MENFP）戦略・計画局

(7) 投入（インプット）

1) 日本側

- ・ 専門家派遣（①チーフアドバイザー兼教材開発、②学校運営、③女子教育等。その他必要に応じ予算の範囲内で検討）
- ・ 機材供与（研修資機材等）
- ・ 本邦研修
- ・ 現地活動費（在外研修経費、モニタリング経費、教材印刷等）

2) モロッコ国側

- ・（専属）カウンターパート（C/P）11名（プロジェクト・ダイレクター1名、プロジェクト・マネジャー1名、プロジェクト・コーディネーター1名含む）
- ・ プロジェクト執務室及び執務室維持経費
- ・ アクセス・コンポーネント実施にかかる費用（3年目～）
- ・ プロジェクト実施にかかる運営コスト（C/P交通費等）

(8) 環境社会配慮・貧困削減・社会開発

1) 環境に対する影響/用地取得・住民移転

①カテゴリ分類：C

②カテゴリ分類の根拠

本事業は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン（2010年公布）」に掲げる影響を及ぼしやすいセクター・特性及び影響を受けやすい地域に該当せず、環境への望ましくない影響は最小限であると判断される。

2) ジェンダー平等推進/平和構築・貧困削減

本事業では、小中学校群が地域コミュニティとともに農村部の女子就学を促進する活動を実施予定。

(9) 関連する援助活動

1) わが国の援助活動

- ・ 対象8州のうちの4州は、円借款「基礎教育セクター支援事業」のプロジェクト・コンポーネントの対象地域と同一であり、本事業によって建設される中学校への就学促進キャンペーン活動等が考えられる。
- ・ マラケシュ州にてボランティア事業〔理数科：青年海外協力隊（JOCV）〕による活動が予定されており、同一（学校あるいは地域）サイトでの連携が期待される。

2) 他ドナー等の援助活動

- ・カナダ：全16州の学校運営改善のための校長研修を実施中（Projet d'appui à la gestion des établissements scolaires au Maroc : PAGESM）。本事業では各学校が、学校運営計画にアクセス改善活動を盛り込むことが期待される。
- ・UNICEF：カナダが実施している校長向け研修の中のモニタリング・評価研修を実施予定。同一地域の場合、対象コミュニティ情報の共有を行う。
- ・USAID：小学校低学年における読解力強化、計算力強化（Early Grade Reading Assessment, Early Grade Math Assessment）事業。3州の40以上の中学校を対象とした識字プロジェクトを実施中。右事業では多くのローカルコンサルタントを備上して活動を実施しているところ、実績を豊富に有するコンサルタントリストから本事業のアクセス・コンポーネントで、パートナーを選定することが考えられる。

4. 協力の枠組み

(1) 協力概要

- 1) 上位目標：域内教育格差を緩和する施策が対象 AREF 内の他中学校及びモロッコ国内他州にて展開される

指標：施策が展開された中学校区数、州数

- 2) プロジェクト目標：MENFP が、域内教育格差の緩和に取り組む AREF を支援できるようになる

指標：開発された支援の枠組み

3) 成果

成果1：学習達成度の学校間格差に、AREF が取り組む施策が開発される

成果2：就学の中学校区間の格差に、AREF が取り組む施策が開発される

成果3：AREF 内の他県への施策継続及び MENFP による他州展開の準備が整う

- ・本事業の基本コンセプトは、①教育の「質」における学校間の格差（特に中学校入学時の生徒の学習レベルにおける格差）、②教育への「アクセス」（小中進学、女子就学率等）における格差を緩和するために、学力及びアクセスそれぞれの領域で恵まれない学校を特定し、そこに対して地方（AREF、Delegation）が自ら格差を緩和できる施策を開発・実施できるように支援することである。

5. 前提条件・外部条件（リスク・コントロール）

(1) 事業実施のための前提

- ・モロッコ教育セクター戦略目標が変わらない
- ・各 AREF、Delegation のインスペクターの大幅な人事異動が行われない
- ・モロッコ側政府機関及び地方視学官が本プロジェクトのアプローチを自らの施策として普及展開する姿勢を明確にもつ。

- (2) 成果達成のための外部条件
MENFP 及び AREF の担当官 (C/P) が異動しない
- (3) プロジェクト目標達成のための外部条件
施策を含めた予算計画が承認される
- (4) 上位目標達成のための外部条件
地方分権化がモロッコの教育セクター戦略のなかで継続される。

6. 評価結果

本事業は、モロッコの開発政策、開発ニーズ、日本の援助政策と十分に合致しており、また計画の適切性が認められることから、実施の意義は高い。

7. 過去の類似案件の教訓と本事業への活用

JICA がモロッコで 2003～2005 年に実施した開発調査「地方基礎教育改善」(BEIP) では、ローカル NGO を活用し、効果的に地域住民・コミュニティを動員し、基礎教育のアクセス改善並びに学校環境改善を支援してきた。BEIP によりその試行を支援した学校改善プロジェクトの実施は、PU においては政策の 1 つとして位置づけられ、全国展開が図られている。この経験から、本プロジェクトが実施するアクセス改善のための活動コンポーネントにおいても、同様にローカル NGO を活用して地域コミュニティと小中学校を巻き込んで女子教育に対する理解促進及び中学校就学向上のための学校群による問題解決力の強化が図られるよう、工夫する。

8. 今後の評価計画

- (1) 今後の評価に用いる主な指標
4. (1) のとおり。
- (2) 今後の評価計画
事業開始時：ベースライン調査
事業終了 3 年後：事後評価

付 属 資 料

1. 詳細計画策定調査現地報告書（2013年6月）、(M/M【英語】を含む)
2. 詳細計画策定調査現地報告書（2013年10月）、(M/M【英語】を含む)
3. プログラム・モニタリング指標
4. 円借款政策マトリックス
5. 討議議事録（R/D）【英語/仏語】（ANNEXは英語のみ。ANNEXIIIは上記1. 2. のM/Mのため添付は割愛）

1. 詳細計画策定調査現地報告書（2013年6月）、(M/M【英語】を含む)

モロッコ王国 「公平な教育振興プロジェクト」

詳細計画策定調査報告書（2013年6月）

（現地調査結果報告）

1. 要請の背景

(1) モロッコにおける教育改革の推進

モロッコ王国（以下、「モロッコ」と記す）では1999年に国家教育・人材育成憲章を策定して2009年までを「モロッコ国教育の十年」と定め、基礎教育の普及に取り組んできた。その結果、初等教育純就学率は1991年の56%から2008年には89%（UNESCO）に大幅改善した。しかし、一方で留年率・退学率は依然として高いほか、前期中等教育普及の遅れ、都市部と地方部の格差（特に女子就学率）が存在する。このような状況に対してモロッコ政府は、教育の普及（地域間のアクセス解消）や質を向上させるために、2009年より「教育緊急計画（Programme d'Urgence : PU）」（2009-2012）を実施してきた。PUは4つの改革目標（①基礎教育の完全普及、②ポスト基礎教育、③教育システムの改善、④資源の動員と有効活用）と26の個別プロジェクトから構成され、JICAを含めたドナーは①、③、④の目標達成に向けた支援を実施した。現在は、PUの後継として2013年3月に策定された教育開発計画「中期開発計画2013-2016」（Plan d'Action a Moyen Terme 2013-2016 : PAMT）が実施されている。

(2) JICAの取り組み

JICAは1999年以降、モロッコ政府の教育改革に対して、有償資金協力「地方部中学校拡充事業（MR-P20）」、及び開発調査「地方基礎教育改善（The Basic Education Improvement Program for Rural Areas in the Kingdom of Morocco : BEIP）」を通じて基礎教育のアクセス改善並びに学校環境改善を支援してきた。BEIPが支援した「学校改善プロジェクト」の実施は、PUの政策の1つとして位置づけられ、その後全国展開が図られている。また、MR-P20では、地方農村部での101校の中学校建設を計画し、既に99校が開校済みであり、前期中等教育へのアクセス改善に大きく貢献している。さらに、JICAはPUが策定された2009年以降、国別研修「行政官能力強化研修」を通じてモロッコ教育行政官の能力開発を支援したほか、円借款「基礎教育セクター支援事業」（プログラムローン及び中学校建設）等を通じて包括的な基礎教育支援を実施している。

本詳細計画策定調査団は、中等教育の質の向上及び円借款「基礎教育セクター支援事業」をソフト面で促進するものとして、2013年3月の審査ミッション中に教育省から、①中央・州・県レベルの教育行政官の能力強化、②教員研修センター（CRMEF）強化支援、③試験・評価センター（National Centre for Evaluation and Examination : CNEE）での試験実施・評価方法の改善、への支援ニーズが示されたことを踏まえ、派遣されたものである。

2. 調査の目的・方針

(1) 目的

これまで日本/JICAの協力経験を生かし（BEIPで実施した参加型学校運営改善、教員の能力強化、学校レベルでのネットワーク構築）、政策の現場への浸透を一層促進するための技術協力（円借款付帯プロジェクト）の形成を目的に、詳細計画策定調査団が6月3日～23日の

日程で派遣された。案件形成にあたっては下記の点を考慮した。

1) 教育緊急計画 (PU) /次期開発計画 (PDMT)、トリガーアクションとの親和性

上述の円借款「基礎教育セクター支援事業」を通じて PU/PDMT 上設定した JICA トリガーアクションに関連した課題領域を扱う技術協力を構想する。PU やその後続の PDMT はモロッコの教育開発課題を体系的に整理した文書である。ここで言及される 이슈ーや、これにリンクしたトリガーアクションに関連した課題領域を扱うことは、すなわちニーズの高い領域にアドレスする。

2) 本体円借款案件との連関

- ① プログラム・ローン部分：教育セクター全般への支援であるため、本プロジェクトもこれに歩みをそろえて裨益効果を拡大させることが望ましい。具体的には対象地域での実践を中央で汲み取り、モロッコの教育行政ガバナンスに沿った形での他地域への普及が想定される。
- ② 学校建設部分：中学校への就学ニーズは高く、建設された学校への就学者数は十分見込まれる。したがって、入学した生徒に対して良質の教育を提供できるよう、円借款が事業対象にしている 4 州 (AREF) での教育の質改善は有力な支援可能領域である。教育の「質」は多義であり、それを実現するアプローチも多様。これら観点を踏まえつつ、案件形成を行う。

3) 先方政府の問題意識により主導される案件形成

(2) 調査方針

- 1) 本プロジェクトの妥当性を確認する。
- 2) プロジェクトデザイン (PDM、実施体制、活動計画等) に関し、モロッコ側関係者と協議し、合意形成を図る。
- 3) プロジェクト開始までに行う作業及びそのスケジュールを確認する。
- 4) 日本・モロッコ国側双方で同意した事項を協議議事録 (M/M) 案として取りまとめ、先方と手交する。

(3) 団員構成

担当分野	氏名	所属先
団長	田中 紳一郎	JICA 国際協力専門員 (教育)
協力企画	小森 明子	JICA 人間開発部基礎教育第二課 主任調査役
評価分析	阿部 久美子	株式会社フジタプランニング海外調査部 主任研究員
通訳	中村 榮美子	日本国際協力センター (JICE)

(4) 調査日程 (別添 2 参照)

2013 年 6 月 3 日～23 日

(6 月 3 日～11 日 阿部コンサルタント 1 名による調査、

6 月 12 日～23 日 田中団長、阿部コンサルタント、中村通訳、小森の 4 名での調査)

3. 調査結果概要

詳細計画策定調査団は、調査対処方針に沿ってモロッコ側関係機関との協議、現場視察等を行い、プロジェクト案についてモロッコ国民教育省（MEN）と協議し、協議議事録（M/M）に取りまとめた（別添3参照）。なお、本プロジェクトは当初、円借款付帯プロジェクトとして形成される予定だったが、調査団滞在中に一般勘定へ振り替えられることが決定し、通常の技術協力プロジェクトとしての詳細策定調査が必要となった。モロッコ国民教育省関係者との協議及び地方視察を重ねてプロジェクト概要について先方と合意形成が行われたため、協議議事録（M/M）案の表紙に国民教育省のエル・ハヤニ局長と田中団長が署名、本文部分については1週間以内をめどに双方で確認・精査作業を行い、追って署名を行うこととなった。なお今次調査を踏まえて、今後モロッコ側が技術協力実施にかかる要請書を提出する予定である。

調査結果概要は以下のとおり。

(1) プロジェクト案

1) 基本コンセプト

モロッコは2008年ころから教育改革を実施してきており、教育省主導による教育現場の改革が推進されてきているが、政策が現場に浸透・改善するレベルには至っておらず、教育のアクセス及び質において課題を抱える。先方へのヒアリング及び地方視察の結果、主に①教育の質における学校間の格差（特に中学校入学時の生徒の学習レベルにおける格差）、②教育へのアクセス（小中進学、女子就学率等）における格差が明らかとなった。これら格差を緩和するために、学力及びアクセスそれぞれの領域で恵まれない学校を特定し、そこに対して地方（AREF）が自ら格差を緩和できる施策を開発・実施できるよう、支援を行うこととする。

具体的なプロジェクト概要は、下記のとおり。

2) プロジェクト概要（別添4参照）

① 案件名称：「公平な教育振興プロジェクト」（仮）

“Promoting Education with Equity and Equality (PEEQ)”

② 上位目標：下記施策が対象AREF内の他中学校及びモロッコ国内他州にて展開される

③ プロジェクト目標：国民教育省が、域内教育格差の緩和に取り組むAREFを、支援できるようにする

④ 成果：・学習達成度の学校間格差に、AREFが取り組む施策が開発される

・就学の中学校区間の格差に、AREFが取り組む施策が開発される

・AREF内の他県への施策継続及び国民教育省による他州展開の準備が整う

3) 対象

① 対象地域：先方からの要望（8州を協力対象）に対し、調査団よりまずは2州から開始し、将来的に8州へ拡大することを検討する。

② 裨益者：国民教育省（MEN）、州の教育 教育・人材育成地域アカデミー（AREF）及び県教育省支局（Delegation）の視学官（約XX名）、同教員（約XX名）

4) 実施体制

① 実施責任機関：国民教育省

- ・プロジェクトダイレクター：次官
- ・プロジェクトマネジャー：戦略・統計・計画局（DSSP）局長
- ・プロジェクトコーディネーター：DSSP 担当官

② 実施体制：以下のとおり国民教育省の既存の仕組みを活用してプロジェクト活動を実施する

中央 国民教育省

州 教育・人材育成地域アカデミー（AREF）

県 県教育省支局（Delegation）

5) 投入

① モロッコ側

- ・人材（中央の戦略及び試験・評価担当部局、州、県の視学）
- ・活動場所、資機材の提供（事務所、事務機器、車両及び燃料、維持管理費）
- ・活動費（研修会、ワークショップ開催経費）

② 日本側

- ・長期専門家3名、短期専門家（必要に応じ）、ローカルコンサルタント1名
- ・本邦研修、第三国研修、技術交換等
- ・資機材（研修用機材、車両等）
- ・在外事業強化費

6) プロジェクト期間（予定）

2013年11月～2017年10月（4年間）

(2) プロジェクト実施に関する5項目評価

1) 妥当性

妥当性は、高いと判断される。

- ・モロッコの教育セクター開発計画である「教育緊急計画（Programme d'Urgence : PU）（2009-2012）」及び次期開発計画（Plan de Développement à Moyen Terme 2013-2016 : PDMT）において、教育へのアクセス改善と教育の質向上が優先課題に位置づけられており、政府のコミットメントが認められる。
- ・さらに、PDMTにおけるアクセス改善対策として格差是正による地方女子の就学率向上、そして学力向上においては適切な対策をとるための試験評価システム改善が具体的アクションとして示されており、プロジェクトの手段としての当該開発計画が示す方向性とニーズに整合性がある。
- ・わが国の「対モロッコ国別援助」方針においても、地域的・社会的格差の是正を掲げており、地方農村部で教育を中心とした社会開発への支援を重点課題としていることから、本プロジェクトがめざすべき方向と一致している。

2) 有効性

有効性は、高いと判断される。

- ・本プロジェクトは、恵まれない学校や教員、生徒をターゲットとしており、このような脆弱な状況下にある対象者は変化の伸びしろが大きい。特に基礎学力のための授業改善等の取り組みの影響を受け、その効果を発現しやすいと思われる。
- ・本プロジェクト案の2つ目のコンポーネントは貧しい地方農村部での小中接続の改善、女子就学の向上をめざすことになるが、今まで支援を受けてこなかった地域では関係者の期待も、やる気も高く、有効性の確保につながる。

3) 効率性

効率性は、高いと判断される。

- ・本プロジェクトは国民教育省並びに地方 AREF が教育格差是正のために本来業務(施策)を開発・継続実施するための支援である。本来業務を効果的に実施できるよう支援教育の質を確保するために、試験評価分析に基づく的確な現状把握に沿った対策策定支援を国民教育省並びに AREF が切に望んでおり、専門家の技術移転に係る業務などが効率的に行われることが期待できる。
- ・州・県レベルのインスペクターへの介入支援は、既に通常業務として実施している試験評価及び教員評価を改善していくものであるため、プロジェクトの活動も通常業務に沿った形で効率的に実施されることが見込まれる。
- ・外部条件は、現在のところインスペクターの大幅な人事異動がないことであるが、教員のキャリアとしてインスペクターの位置づけは7年間の教員経験及び1年の研修を要するなどクライテリアが明確かつ離職率も低く安定しており、定着率が確保される確率は高い。

4) インパクト

本プロジェクトのインパクトは、以下のように予測できる。

- ・上位目標はプロジェクトで開発される施策の国内展開であり、プロジェクト目標である格差是正に取り組む施策が AREF の人材が中心となって確実に開発されれば、プロジェクト終了後3年以内には実現できることが見込まれる。
- ・本プロジェクトで学力評価分析が可能になることにより、教育の質向上のためのよりの確な戦略策定がなされ、それに伴って PDMT に組み込まれているカリキュラム改善にも効果が波及されることが期待できる。

5) 持続性

以下のとおり、本プロジェクトによる効果は、相手国政府によりプロジェクト終了後も継続されるものと見込まれる。

- ・本プロジェクト案は、既存の先方システムや体制を活用して実施される予定であり、このようなアプローチにより先方オーナーシップの醸成が図られることが期待される。
- ・本プロジェクトの重点介入対象は、試験による学力評価、教員評価/指導を行う県のインスペクターのスーパーバイザーを担う AREF レベルの視学官であるが、国民教育省の試

- 験評価部門との連携も組み込んでいる。AREF のみならず中央の担当者も巻き込むことで、他州へ施策を展開する際のオーナーシップを確保でき、高い持続性が期待される。
- ・本プロジェクトは施策の継続実施のための予算確保に関する活動を初期段階から含める予定にしており、プロジェクト終了後の先方の持続性の確保が十分期待される。

(3) 今後の予定

時期	項目	実施主体
2013年7月中旬まで	技術協力プロジェクトに関する要請書の提出（モロッコ側から JICA へ）	モロッコ側
8月中旬まで	要請書の採択・通報	JICA
9月	R/D 署名	モロッコ側、JICA
10月	日本人専門家の公示	JICA
11月	プロジェクト開始	モロッコ側、JICA

※準備状況の進展によっては、上記スケジュール変更の可能性あり。

4. 団長所感

(1) 調査団運営全般

下記のように詳細計画策定調査の与件は必ずしも恵まれたものではなかった。技術協力プロジェクト（概要）の合意に至った過程では、JICA-国民教育省の間の信頼関係、日本の教育制度への一般的な信頼（本邦研修の参加者が要職に就く）が貢献したと感じられる。

- ・先行調査がない：通例、要請書取り付けまでになされる下調査、打診、検討を通じた合意内容やその形成が不在であった。
- ・上述のとおり基礎情報が不足している状況下で行う調査としては、期間が短かった。
- ・当初、本プロジェクトは「円借款付帯プロジェクト」としての形成を予定していたが、一般勘定への変更（一般勘定予算による「技術協力プロジェクト」としての実施）が定まったのは調査期間中であった。

(2) 問題意識の所在：アクセスと質、中央－地方－学校の関係性

短期の調査では、行政寄りの需要・要望情報に比して、学校現場が抱える課題や現状にかかる情報の入手は容易ではないだろうという予見とともに調査に臨んだ。文献からは、前期中等教育では就学（アクセス）は教え・学びの質、及びそれらの域内格差が深刻な問題であると示唆される。対照的に、国民教育省との討議では、試験・生徒評価の向上に資する技術支援への期待が著しく強調された。

現地視察で明らかになった教育現場の状況も踏まえ今回技術協力プロジェクトを構想するうえでのキーワードは、教育格差（Disparity）、国民教育省の施策（AREF の施策展開を支援する）、教育の地方分権（分散化）による統治であり、最終的に国民教育省とは下記議論を経て、プロジェクト内容について合意形成が図られた。

1) 「教育の質」成果

- ・試験分析（誤答分析）、学び・教えの弱点把握、大体する教授法の提示、それに基づく

教師の授業計画改訂・実践が基本的な一連の流れ。この流れで国民教育省、地方視学、学校教員までが適宜関与する実践を経験する機会とする。

- ・基礎学力の向上を重要視する（7年生進学時点で、多くの子供が3～4年生の算数問題を解けない）
- ・自習型教材、基礎の落ちこぼれを最小化する教授法・技術の教員への照会を想定。
- ・視学業務の一環として位置づける。

2) 「アクセス/キャンペーン」成果

- ・一義的に、施設・インフラ整備の問題であると認識される傾向にある。
 - －そこで思考停止し、需要を刺激できる可能性に思い至らない。
 - －（例）周辺6校の小学校卒業生が300名、中学校に入学してくる生徒は220名程度と、接続が芳しくない。退学は5%程度。多くが女子（早婚）。
- ・「キャンペーン」に対しては懐疑と歓迎の両方が混在。マス戦略であまり奏功した実感を得られていないのがその主因。
 - －「担い手」としてマスではなくマイクロを協力対象に設定。
 - －宣伝活動のみならず、学校での活動（含む小規模修繕）を含めることを提案。親がその気になっても学校がダメなままだと（学校が変わる姿勢をみせられない）と効果は薄れる（イエメンで奏功）。
 - －中学校区（中学校と域内の小学校）でチームを組織。そこが主体的に活動を提案・実施（これをAREFが助成）。
 - －円借で建設される新規中学校への同成果活動の適用を検討。

3) 公正な教育機会の実現に向けた留意点

- ・格差の緩和は、恵まれない層の底上げで図る（両成果共通）。
- ・対象の範囲は限定的であって当然。継続することが要諦。

(3) その他

- ・学校運営改善計画は、過去にモロッコで実施されたBEIPで開発したモデルを「始祖」に、USAID、世界銀行、ACDIと引き継がれている。今回の学校訪問では、学校での実践状況の評価するのは困難であったが、関係者への聞き取り調査の結果、「普通」に取り組まれている様子。
- ・今回初めてモロッコを訪れたが、普段かかわっている国々・関係先と比較すると、行政官の能力や資質は高いと実感。また、フランス語、アラビア語、ベルベル語の言語の三重構造はやはり特異であり、フランス語話者は限定的との印象を受けた。

- 別添資料 1 団員名簿、面談相手方リスト
- 別添資料 2 調査日程
- 別添資料 3 協議議事録（M/M）（案）（PDM、PO、実施体制等含む）
- 別添資料 4 プロジェクト基本コンセプト図
- 別添資料 5 モロッコ初中等教育基礎データ
- 別添資料 6 視学官概要
- 別添資料 7 他ドナー関係資料

別添 1 調査団員名簿、面談相手方リスト

【調査団員名簿】

団長	田中 紳一郎	JICA 国際協力専門員（教育）
協力企画	小森 明子	JICA 人間開発部基礎教育第二課 主任調査役
評価分析	阿部 久美子	株式会社フジタプランニング海外調査部 主任研究員
通訳	中村 榮美子	日本国際協力センター（JICE）

【モロッコ側面談者リスト】

Mr. Abdelhaq El Hayani	教育省 戦略・統計・計画局長
Mr. Abdelhaq Ghouli	教育省 戦略・統計・計画局 計画課長
Mr. Ahmed Mahroug	教育省 戦略・統計・計画局 担当職員
Mr. Chaibi	教育省 試験・評価センター（CNEE）

その他、

Abda Doukala, Chaouia Ourdigha 2 州の AREF 及び県教育支局の職員 20 名程度。

別添 2 調査日程

モロッコ基礎教育セクター支援 技術協力プロジェクト詳細計画策定調査 日程

No.	氏名&担当業務			田中 耕一郎	小森 明子	中村 聖美子	宿泊先	阿部 久美子	宿泊先
	日	期	程						
1	June	3	Mon	(この期間、田中、小森、中村の担当業務は空欄です)				Departure from Tokyo Nanta Arrive in Morocco	機中泊
2	June	4	Tue					9:00 事務所での打合せ、ミッション準備会合 (DSSP担当者との協議) PM ペニ・メラル(小学校教諭隊員の活動地)へ移動、夕方に隊員からヒアリング	ペニ・メラル
3	June	5	Wed					AM 隊員の活動先(学校)の視察 PM マラケシュへ移動	マラケシュ
4	June	6	Thu					終日 マラケシュAREFでの関係者へのヒアリング、学校視察(小学校、中学校)	マラケシュ
5	June	7	Fri					AM タハナウト県教育支局での隊員(PCインストラクター)報告会参加、可能であれば活動先の学校視察 PM ラバトへの移動	ラバト
6	June	8	Sat					資料整理	
7	June	9	Sun					資料整理	
8	June	10	Mon					10:00 事務所にて打合せ 14:30 APD(科学技術教育に係るT/A調査中心)にヒアリング	ラバト
9	June	11	Tue					11:55 成田発(AF275) 17:15 パリ着 19:45 パリ発(AFI359) 21:35 ラバト着	機中泊
10	June	12	Wed	9:30 事務所訪問、団内打合せ 14:30 MEN DSSPとのキックオフ	ラバト Hotel Belere	10:00 事務所訪問、団内打合せ 14:30 MEN DSSPとのキックオフ@JICA事務所	ラバト Hotel Belere		
11	June	13	Thu	9:30-12:30 ワークショップ(中央関連部局へ前回ミッションを受けた議論の内容をフィードバックし、コメントを受領)	ラバト	9:30-12:30 ワークショップ(中央関連部局へ前回ミッションを受けた議論の内容をフィードバックし、コメントを受領)	ラバト		
12	June	14	Fri	10:00 EUによるT/Aヒアリング(特に研修評価調査) 15:00 試験・評価センター(CNEE)ヒアリング	ラバト	10:00 EUによるT/Aヒアリング(特に研修評価調査) 15:00 試験・評価センター(CNEE)ヒアリング	ラバト		
13	June	15	Sat	資料整理&MoU案作成	ラバト	資料整理&MoU案作成	ラバト		
14	June	16	Sun	資料整理&MoU案作成 午後、移動	エルジャジーダ	資料整理&MoU案作成 午後、移動	エルジャジーダ		
15	June	17	Mon	【地方視察(AREF Doukkala Abda)】 小学校 Ecole Communautaire Abdolkarim Lekhoubi 寮付中学校 Collège avec Internat Errachade	エルジャジーダ	【地方視察(AREF Doukkala Abda)】 小学校 Ecole Communautaire Abdolkarim Lekhoubi 寮付中学校 Collège avec Internat Errachade	エルジャジーダ		
16	June	18	Tue	【地方視察(AREF Chaouia Ourdgha)】 小学校 Ecole Primaire Khissate Chaouia CRMEF Settat	セタット	【地方視察(AREF Chaouia Ourdgha)】 小学校 Ecole Primaire Khissate Chaouia CRMEF Settat	セタット		
17	June	19	Wed	【地方視察(AREF Chaouia Ouardigha)】 寮付中学校 Collège avec Internat Beni Khloug	ラバト	【地方視察(AREF Chaouia Ouardigha)】 寮付中学校 Collège avec Internat Beni Khloug	ラバト		
18	June	20	Thu	AM 地方視察のまとめ(内部協議、ワークショップ準備) 14:30- ワークショップ(中央各部局に対し、視察を踏まえ、最終的なプロジェクト(案)を提案、フィードバックを受領)	ラバト	07:55 ラバト発(AFI359) 11:45 パリ着 13:30 パリ発(AF276)			
19	June	21	Fri	15:00 MENとのラップアップ協議 19:30- 所内報告	ラバト	08:00 成田着	ラバト		
20	June	22	Sat	07:55 ラバト発(AFI359) 11:45 パリ着 13:30 パリ発(AF276)	機中泊				
21	June	23	Sun	08:00 成田着					

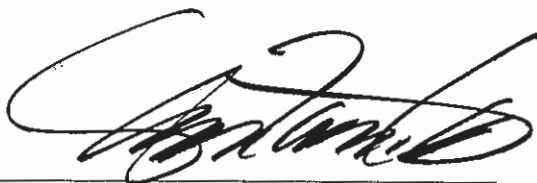
**MINUTES OF MEETING
BETWEEN
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY
AND
THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE KINGDOM OF
MOROCCO / MINISTRY OF NATIONAL EDUCATION
ON
THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION
FOR
PROMOTING EDUCATION WITH EQUITY AND QUALITY (PEEQ)**

The Preparatory Study Team (hereinafter referred to as “the Team”), organized by Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as “JICA”) and headed by Mr. Shinichiro Tanaka, visited the Moroccan authorities concerned / Ministry of National Education (MEN), Kingdom of Morocco represented by Mr. Abdelhaq El Hayani from 12 June to 21 June 2013 in order to discuss the overall framework and implementation plan of the Technical Cooperation for “Promoting Education with Equity and Quality (PEEQ)” (hereinafter referred to as “the Project”).

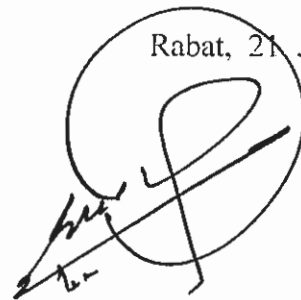
During their stay in Morocco, the Team exchanged views on the formulation of the Project and had a series of discussions with Moroccan authorities concerned / MEN (hereinafter referred to as “the Moroccan side”).

As a result of the discussions, both the Moroccan side and the Team agreed on the Project plan in the document attached hereto.

Rabat, 21 June, 2013



Mr. Shinichiro Tanaka
Team Leader,
Preparatory Study Team
Japan International Cooperation Agency
Japan



Mr. Abdelhaq El Hayani
Director, Directorate of Strategy, Statistics,
and Planning
Ministry of National Education
Kingdom of Morocco

I. BACKGROUND

Since 1999, the implementation of “National Charter of Education and Training” by the Government of Morocco (GOM) brought an impressive progress in achieving primary net enrolment rate from 71% (1999) to 97% (2011/12). However, challenges still remains with regional disparities, drop-outs and repetition, further improvement in enrolment (especially secondary) etc. In order to solve these issues and extend quality education, the Charter was later followed by a comprehensive four-year (2009-2012) development plan, “*Programme d’Urgence (PU)*” consisting of four strategic pillars; (1) achieve universal basic education, (2) promote initiative and excellence in post-basic education, (3) improve system performance (teaching, management and stewardship), (4) mobilize and utilize resources (financing, partnership, communication, social mobilization and implication of the private sector). JICA, among other international donor agency, has been assisting pillars (1), (3), (4).

Following the completion of PU, in March 2013, Ministry of Education (MEN) developed its succeeding Mid-Term Education System Action Plan 2013-2016 (“*Plan d’Action à Moyen Terme 2013-2016*”, PAMT) drawing lessons from the implementation of PU. PAMT was prepared in close consultation with donors assisting Morocco’s education sector providing them a common framework for assistance. The Plan has five areas of focus; (1) access and equity; (2) teaching and learning quality; (3) school establishment, (4) governance and decentralization; and (5) human resource management.

Meanwhile since 1999 and during 2000s, JICA has provided support to improve educational access and school environment through construction of secondary schools (MR-P20) and Basic Education Improvement Project (BEIP), a Technical Cooperation. Furthermore, currently, JICA plans to support the reform of education system through Development Policy Loan (DPL) and Lower Secondary School Construction Project, addressing the key issues raised in previous PU and current PAMT. With this context, this Technical Cooperation in principle is to ensure effectiveness of the DPL by reinforcing policy implementations related to the areas described in the four trigger actions set by MEN and JICA¹.

¹ (1) Reinforcing the concept of monitoring the school and support mechanisms to improve education and learning processes. (2) Ensure the effective implementation of the « school project » based on the new concept. (3) Development and formalization of organizational, pedagogical and technical process of implementation of regional centers of education and training (CRMEF). (4) Motivate parents/ community members to enrol and keep their children in school at the level of basic education (primary and secondary).



II. PROJECT SUMMARY

As said, Morocco has improved basic education significantly with the Charter and PU; primary education net enrolment rate has been achieved from 71% (1999) to 97% (2011/12). In contrast, lower secondary education has experienced relatively slow progress, where net enrolment rate still remains at 53.9% (2011/12), not meeting the needs of primary education graduates (net completion rate 86.2%, 2011/12). Much challenge continues to face rural area, with net enrolment rate for lower secondary education is 27.5% (2011/12), despite considerable effort to decentralize education governance to improve the conditions in marginalized, rural communes. Moreover, while the situation of urban girls' access to education has been improved (65.9% in 2008/09 to 78.7% in 2011/12), the rural girls' access to education still remains low (17.3% in 2008/09 to 23.6% in 2011/12).

Quality of education in Morocco also faces challenges: (1) repetition of lower secondary education is 16.0% (2011/12), and (2) Moroccan 4th grade students were ranked 49 out of 50 in the Trends in International Mathematics and Science Study (TIMSS) conducted in 2011.

1. Basic concept of the Project

Whereas PU and PAMT supported educational administration capacity of the Ministry and AREF in decentralized governance setting, the learning environment on the ground has shown modest progress. Deriving from the Preliminary work (discussion with MEN and field visits), some key issues are emphasized; (i) importance and necessity of evaluation/assessment, (ii) various regional disparity persists, both in terms of quality and access, (iii) AREF and Delegation education personnel (including inspectors, pedagogical officers, CRMEF staff, etc.) in close coordination with MEN personnel, are in the position to play an important role to link government and schools, (iv) urgent need to bridge the gap between primary and secondary level.

The Project will therefore support regional initiative to mitigate educational disparities in two directions; (i) by improving the quality of education through empowering AREF/Delegation personnel (including inspectors, pedagogical officers, CRMEF staff, etc) to assist teachers serving at disadvantaged schools, (ii) assist lower secondary and its affiliated primary schools that need extra support to boost enrolment (transition from primary to secondary, girls' education, etc). MEN and JICA put an effort to design the project activities to be concise, affordable but effectively and positively influence the most disadvantaged.



The section below summarizes the framework of the Project. The Project Design Matrix (PDM) in ANNEX 1 shows the outlines of the Project, and the Plan of Operation (PO) in ANNEX 2 indicates the tentative schedule of implementation of each activity within the period of the Project.

2. Title of the Project

The title of the Project is “Promoting Education with Equity and Quality (PEEQ)”.

3. Duration of the Project

The duration of the Project will be four (4) years. The commencement of the Project is subject to the progress of the preparation by both side, which currently is expected in November 2013.

4. Target of the Project

(1) Target Group

The target group of the Project is as follows:

- 1) MEN
- 2) AREF and Delegation Personnel (approximately XX personnel)
- 3) Teachers of disadvantaged secondary school district (approximately XX teachers)

(2) Target Area

Possibility is to be examined to gradually expand target areas from 2 to 8 AREFs (including 4 under the school construction component of JICA’s Basic Education Sector Support Project). For details, refer to “VI. Main Points Discussed”.

5. Outline of the Project

(1) Overall Goal

The PEEQ activity is disseminated to other schools within / beyond targeted Regions (AREFs) in Morocco.

(2) Project Purpose

MEN is able to support initiatives of AREF to mitigate educational disparity



(3) Outputs

MEN C/Ps and Japanese experts will work together in one team to achieve the following outputs and activities.

1. Measures to mitigate school disparities in learning achievement are tried out and set
2. Measures to mitigate school disparities in enrolment are tried out and set
3. AREF is ready to continue the measures, and MEN is ready to disseminate the measures to other Regions.

(4) Activities

1-1 Study current practice of student assessment at school, Delegation, AREF and MEN

1-2 Identify lower secondary schools that need interventions to narrow its gap in student achievement.

(Restoring basic academic skill)

1-3 MEN/AREF in collaboration analyse exam result to identify areas students do not perform well and its reasons, with a focus on basic academic skill of students

1-4 Devise and try-out intervention to restore basic academic skill of students (e.g. self-learning material)

(Pedagogical guidance)

1-5 MEN/AREF in collaboration synthesize effective pedagogical approach/technique to improve student learning

1-6 Inspector in charge introduce the approaches/techniques as a part of their routine inspection work

1-7 Teachers at the identified schools revise and implement lesson plan accordingly

(Facilitating learning organization)

1-8 Inspectors in charge report the progress at its routine meeting

1-9 Japanese experts conduct learning/briefing session for MEN personnel

1-10 MEN personnel facilitate learning/briefing session for AREF/Delegation

2-1 Study current practice of enrolment campaign and support for disadvantaged schools

2-2 Identify lower secondary schools that need interventions to narrow its gap to others in enrolment (primary – lower secondary transition and girls enrolment)

2-3 Hold orientation meeting for identified lower secondary schools and its affiliated primary schools to organize campaign teams

2-4 The teams propose action plan (e.g. campaign activities, school activities, small-scale rehabilitation, and equipment/material provision to attract parents/students)

2-5 AREF provides grant to implement the plan



- 2-6 The team / school implements the plan
- 2-7 AREF /Delegation inspectors monitor and evaluate implementation

- 3-1 AREF develops dissemination plan within the region
- 3-2 AREF revise TOR of related personnel to implement PEEQ activities
- 3-3 MEN develops nationwide dissemination plan
- 3-4 MEN revise TOR of related personnel to implement PEEQ activities
- 3-5 Japanese experts support MEN and AREF to prepare budget to finance PEEQ activities
- 3-6 Conduct workshop inviting a wider stakeholders

III. ADMINISTRATION OF THE PROJECT

The overview of the Project Implementation Structure is shown in ANNEX 3.

IV. INPUTS FROM BOTH SIDES

(Moroccan side)

1. Allocation of office space and facilities necessary such as desks, chairs, office equipment, cabinet for the Project (for Moroccan counterparts and Japanese experts)
2. Assignment of Personnel
 - The Project will be carried out with JICA Experts working with MEN personnel as one team. The Project director, manager, and coordinator will be appointed by MEN by the commencement of the Project. For details, refer to VI Main Points Discussed “4. Assignment of Personnel / Implementation Structure”.
3. Allocation and Disbursement of Budget
 - To be discussed in detail by the commencement of the Project

(Japanese side)

1. Dispatch of Experts
 - Long-term experts (Assessment, Lesson Improvement, and School Management)
 - Short-term experts (if necessary)
2. Training of counterpart personnel in Japan
3. Expenses for project activities
4. Provision of office equipment and materials



V. FEASIBILITY OF THE PROJECT (the result of ex-ante evaluation)

(1) Relevance

Relevance of the project is considered to be very high.

- Project purpose and overall goal are consistent with the national policy of Morocco, “Programme d’Urgence (2009-2012)” and the new action plan “PAMT 2013-2016”; these documents state the following as prioritized issues: (i) improvement of access to education, (ii) quality of teaching, (iii) narrowing the disparity between urban and rural, and (iv) the gender gap.
- Moreover, the Project’s outputs correspond with the actions elaborated in PAMT, which are, (i) to improve academic evaluation system, and (ii) to increase school enrolment rate in rural areas.
- The strategic policy of Japanese assistance to Morocco emphasizes importance of narrowing social and urban/rural disparity.

(2) Effectiveness

Effectiveness of the project is considered to be high.

- The Project is designed to empower the disadvantaged school teachers and students, who tend to have bigger space for improvement.
- The second component of the Project addresses disparity in access (minimizing transition gap and encouraging girls’ enrolment). Targeting an overlooked, rural area has a better chance of receiving highly motivated stakeholders from school and surrounding community members, key factors in generating expected outputs for targeted group.

(3) Efficiency

Efficiency of the project is considered to be high.

- The Project activities are meant to strengthen their current terms of reference of C/P, not placing additional assignment apart their duties
- The project is designed to achieve good cost efficiency by strengthening the capacity of XX regional and provincial inspectors currently in-service, not employing new personnel. Inspectors will improve the teaching quality of XX teachers during the Project period, and, beyond the Project period, would potentially do so for XX teachers, who in turn cater to XX students in three years.
- The important assumption is that there is no huge number of personnel change of the inspectors. This risk is relatively low because the status of inspector in Morocco is



socially well seen in the career of educational profession, so the stability of the personnel is expected to be relatively high.

(4) Impact

The Impact of the Project is expected to be as follows;

- One of the outputs and its affiliated activities are designed to foster readiness of MEN and AREF to be institutionally ready to continue the activities beyond the project period. As such, the overall goal is likely to be achieved (e.g., in 3 years from the completion of the Project)
- The project activities are designed to be compatible with the new curriculum framework currently being discussed as one of the target goals of PAMT 2013 – 2016.

(5) Sustainability

It is expected that the Project activities will be handed over to MEN after the Project period, and its outcome will also be sustained.

- The Project is designed to be concise, affordable, yet effective.
- It does not intend to create an additional work for the C/Ps solely for the Project, but rather maximizes and builds on the existing systems and mechanisms.
- Project activities are implemented in coordination with respective layers of education governances. Reinforcing national-regional-provincial-school coordination levers up organizational function and ultimately brings ownership of the Project, which in turn would have positive influence on sustainability.
- Project even provides support to foster readiness (financial and personnel assignment) of MEN/AREF to continue the activities, from earlier stage of the project.

VI. MAIN POINTS DISCUSSED

1. Mid-term vision of the Project

Both sides confirmed the basic concept of the Project, with the following distinctive features; (i) minimizing disparity in both quality and access by assisting specific disadvantaged target group, (ii) equipping MEN to further assist and encourage regional measures. Upon completion of the Project, AREF is expected to continue PEEQ activities (with secured budget), with greater ownership.

2. The number of targeted AREFs

JICA Mission proposed to assist 2 AREFs in the Project. Moroccan side explained and insisted that the Project should cover 8 disadvantaged AREFs (*). During the Project implementation period, MEN experts work together with the Japanese experts as one team.



After the Project termination, MEN experts will assure continuation of the Project. MEN expressed its willingness to appoint 6 MEN experts for the Project. With this proposal, JICA Mission will examine the possibility to gradually expand the coverage starting from 2 to 8 (including 4 AREFs under the school construction component of JICA's Basic Education Sector Support Project).

(*) Doukala Abda, Chaouia Ourdigha, Gharb Chrarda Beni Hssen, Marrakech Tensift Al Haouz, Taza
Al Hoceima Taounate, Oriental, Tadla Azilal and Sous Massa Draa

3. Subjects in the Output 1 related activities

Activities in Output 1 "Measures to mitigate school disparities in learning achievement are tried out and set" will focus on science subjects including mathematics, physics and scientific activities.

4. Assignment of Personnel / Implementation Structure / Inputs from Moroccan side

The Project will involve various stakeholders, such as MEN , AREF and Delegation Personnel. It was also discussed possibility of involving CRMEF staff in activities related to Output 1 "Measures to mitigate school disparities in learning achievement are tried out and set" by inviting them to relevant learning opportunitie. Detailed implementation structure / assignment of personnel (for Project Director, Project Manager, Coordinator), and Inputs from Moroccan side will be discussed by the commencement of the Project.

VII. WAY FORWARD

1. Tentative Schedule before Starting the Project

The necessary procedures to be taken before official start of the Project are as follows.

Suggested Timeframe for Preparation

Date	Activities	Responsibility
By mid-July 2013	Submission of Request for Technical Cooperation Project (Moroccan side to JICA)	Moroccan side
By mid-August 2013	Appraisal of the Project in Tokyo (Ministry of Foreign Affairs and JICA Headquarters)	JICA
September, 2013	Signing of the Record of Discussion	Moroccan side and JICA
October, 2013	Recruitment process of JICA Experts	JICA
November, 2013	Commencement of the Project	Moroccan side and JICA

Note: The above schedule depends on the progress of the preparation of both parties.

Project Design Matrix

Project Title: Promoting Education with Equity and Quality (PEEQ)

Executing Bodies: Ministry of Education (*Ministère de l'Éducation Nationale: MEN*), Regional Education Office (*Académie Régionale d'Éducation et de Formation :AREF*), Provincial Education Office (*Délégation*)

Target Group: MEN, AREF and Delegation Personnel (approximately XX personnel), Teachers of disadvantaged secondary school district (approximately XX teachers)

Target Area: Possibility is to be examined to gradually expand target areas from 2 to 8 AREFs (including 4 under the school construction component of JICA's Basic Education Sector Support Project). For details, refer to "VI. Main Points Discussed" in the M/M signed on June 21, 2013.

Duration: The duration of the Project will be four (4) years.

Narrative Summary	Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumptions
Overall Goal: The PEEQ activity is disseminated to other schools within / beyond targeted Regions (AREFs) in Morocco.	Number of targeted schools in the extended areas	Report by MEN and AREF	Decentralization in Morocco continues to be included in the Education Strategy.
Project Purpose: MEN is able to support initiatives of AREF to mitigate educational disparity	Framework of MEN's support for AREF is prepared	Project Progress Report, Activity reports, AREF annual report	Budget plan (including PEEQ measure) is approved
Outputs: 1. Measures to mitigate school disparities in learning achievement are tried out and set	Executing guidelines is developed Changes in repetition Changes in student scores in the identified areas that students does not perform well	Project Activity Report	MEN and AREF Officers do not change
2. Measures to mitigate school disparities in enrolment are tried out and set	Executing guidelines is developed Changes in primary – junior secondary retention and girls enrolment)	Project Activity Report	
3. AREF is ready to continue the measures, and MEN is ready to disseminate the measures to other Regions.	Replication plan is developed Responsible person in charge has clear understandings what to do next	Replication Plan	

<p><u>Activities:</u></p> <p>1-1 Study current practice of student assessment at school, Delegation, AREF and MEN</p> <p>1-2 Identify lower secondary schools that need interventions to narrow its gap in student achievement. (Restoring basic academic skill)</p> <p>1-3 MEN/AREF in collaboration analyze exam result to identify areas students do not perform well and its reasons, with a focus on basic academic skill of students</p> <p>1-4 Devise and try-out intervention to restore basic academic skill of students (e.g. self-learning material) (Pedagogical guidance)</p> <p>1-5 MEN/AREF in collaboration synthesize effective pedagogical approach/technique to improve student learning</p> <p>1-6 Inspector in charge introduce the approaches/techniques as a part of their routine inspection work</p> <p>1-7 Teachers at the identified schools revise and implement lesson plan accordingly (Facilitating learning organization)</p> <p>1-8 Inspectors in charge report the progress at its routine meeting</p> <p>1-9 Japanese experts conduct learning/briefing session for MEN personnel</p> <p>1-10 MEN personnel facilitate learning/briefing session for AREF/Delegation</p> <p>2-1 Study current practice of enrolment campaign and support for disadvantaged schools</p> <p>2-2 Identify lower secondary schools that need interventions to narrow its gap to others in enrolment (primary – lower secondary transition and girls enrolment)</p> <p>2-3 Hold orientation meeting for identified lower secondary schools and its affiliated primary schools to organize campaign teams</p> <p>2-4 The teams propose action plan (e.g. campaign activities, school activities, small-scale rehabilitation, and equipment/material provision to attract parents/students)</p> <p>2-5 AREF provides grant to implement the plan</p> <p>2-6 The team / school implements the plan</p> <p>2-7 AREF /Delegation inspectors monitor and evaluate implementation</p> <p>3-1 AREF develops dissemination plan within the region</p> <p>3-2 AREF revise TOR of related personnel to implement PEEQ activities</p> <p>3-3 MEN develops nationwide dissemination plan</p> <p>3-4 MEN revise TOR of related personnel to implement PEEQ activities</p> <p>3-5 Japanese experts support MEN and AREF to prepare their budget to finance PEEQ activities</p> <p>3-6 Conduct workshop inviting a wider stakeholders</p>	<p><u>Inputs:</u></p> <p>1. <u>Moroccan side:</u></p> <p>(1) Office space and facilities necessary for the Project</p> <p>(2) Assignment of Project Director, Manager, Coordinator</p> <p>(3) Assignment of other key counterparts</p> <p>(4) Necessary budget for project implementation</p> <p>(5) Maintenance of facilities (if necessary)</p> <p>2. <u>Japanese side:</u></p> <p>(1) Dispatch of long/ experts.</p> <p>(2) Dispatch of short-term experts (if necessary)</p> <p>(3) Training of counterpart personnel in Japan, and other countries.</p> <p>(4) Provision of equipment, materials (if necessary).</p> <p>(5) Provision of necessary support for the implementation of the Project.</p>	<p>There's no policy change in inspector's role and</p> <hr/> <p>Preconditions: Moroccan education strategy / mid-term plan (2013-2016) don't change.</p>
---	--	---

ANNEX 2. TENTATIVE PLAN OF OPERATION

		2013		2014								2015					2016					2017															
		Dec	Jan	Feb	Mar	Apr	May	Jun	Jul	Aug	Sept	Oct	Nov	Dec	Jan	Feb	Mar	Apr	May	Jun	Jul	Aug	Sept	Oct	Nov	Dec	Jan	Feb	Mar	Apr	May	Jun	Jul	Aug	Sept	Oct	
1. Measures to mitigate school disparities in learning achievement are tried out and est	1-1	Study current practice of student assessment at school, Dalgadon, AREF and MEN																																			
	1-2	Identify lower secondary schools that need interventions to narrow its gap in student achievement																																			
	<Restoring basic academic skill>																																				
	1-3	MEN/AREF in collaboration analyze exam result to identify areas students do not perform well and its reasons, with a focus on basic academic skill of students																																			
	1-4	Devise and try-out intervention to restore basic academic skill of students (e.g. self-learning material)																																			
	<Pedagogical guidance>																																				
	1-5	MEN/AREF in collaboration synthesize effective pedagogical approach/technique to improve student learning																																			
	1-6	Inspector in charge introduce the approaches/techniques to teachers as a part of their routine inspection work																																			
	1-7	Teachers at the identified schools revise and implement lesson plan accordingly																																			
	<Facilitating learning organization>																																				
1-8	Inspectors in charge report the progress at its routine meeting																																				
1-9	Japanese experts conduct learning/briefing session for MEN personnel																																				
1-10	MEN personnel facilitate learning/briefing session for AREF/Delegation																																				
2. Measures to mitigate school disparities in enrolment are tried out and est	2-1	Study current practice of enrolment campaign and support for disadvantaged schools																																			
	2-2	Identify lower secondary schools that need interventions to narrow its gap to others in enrolment (primary - lower secondary transition and girls enrolment)																																			
	2-3	Hold orientation meeting for identified lower secondary schools and its affiliated primary schools to organize campaign team																																			
	2-4	The teams propose action plan (e.g. campaign activities, school activities, small-scale rehabilitation, and equipment/material provision to attract parent/student)																																			
	2-5	AREF provides grant to implement the plan																																			
	2-6	The team / school implements the plan																																			
	2-7	AREF /Delegation inspectors monitor and evaluate implementation																																			
3. AREF is ready to continue the measures, and MEN is ready to disseminate the measures to other Regions.	3-1	AREF develops dissemination plan within the region																																			
	3-2	AREF revise TOR of related personnel to implement PEEQ activities																																			
	3-3	MEN develops nationwide dissemination plan																																			
	3-4	MEN revise TOR of related personnel to implement PEEQ activities																																			
	3-5	Japanese experts support MEN and AREF to prepare budget to finance PEEQ activities																																			
	3-6	Conduct workshop involving a wider stakeholders																																			

Future Image

~ MEN to support AREF's initiative to mitigate regional educational disparities ~

MEN

- ◆ Analysis of regional examination. Sharing analysis result to regional inspectors
- ◆ Support grass-root campaign activities to raise awareness of school / parents / community on educational disparities
- ◆ Support AREF in extending and mainstreaming regional activities

↕ Collaboration & Coordination

AREF

【Educational Quality】


- Identify schools that need extra support
 - Organize study group of teachers from identified lower secondary school and inspector in charge
 - Restore basic academic skill (literacy, numeracy)
 - Introduce pedagogical technique that address student and teachers weakness
- Reporting at AREF and Delegation Inspector Meeting

【Enrolment/Campaign】

- Identify lower secondary schools and its affiliated schools that need extra support to boost enrolment (Transition, girls education)
- Grant for grass-root campaign and small-scale school improvement activities for boosting enrolment
- Forum for AREF, Delegation to share the result of campaign activities and school level activities to mitigate the gap in access to education

↕ Collaboration & Coordination

Delegation



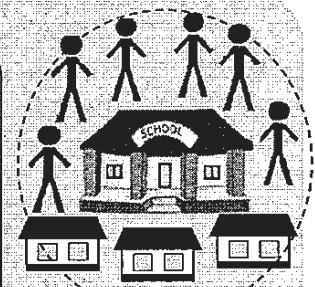
Delegation Inspector

【Inspectors support Educational Quality Improvement】

- ✓ Introduction of innovative pedagogy
- ✓ New learning material
- ✓ Teachers improve their lesson plan

【Support grass-root campaign to boost enrolment】

- ✓ Secondary schools organize campaign activities involving surrounding primary schools, parents, community
- ✓ School level improvement



f
57

ANNEX 4: Attendance List

THE MOROCCAN SIDE

Ministry of Education (MEN)

Mr. Abdelhaq El Hayani	Director, Directorate of Strategy, Statistics, and Planning
Mr. Abdelhaq Ghouli	Chief, Planning Division à la DSSP
Mr. Tazi Malak	Chef de Service à la Direction de la Coopération
Mr. Ahmed Chaibi	Chief, Evaluation Division au CNEE
Mr. Mhamed Itojane	Cadre à la direction chargée des constructions et du patrimoine
Mr. Rachid Elamrani	Chief, Manual Division
Mr. Ali Allouch	Chief, DETV
Mr. Abdelfadil Khayati	Chef de Service au CNEE
Mr Ahmed Mahroug	Cadre de la DSSP chargé du dossier JICA
Mr. Mahfoudi El Hassane	Chef de Division à l'ENF
Mr. Belarbi Dalila	Cadre à l'UCFC

THE JAPANESE SIDE

JICA Preparatory Survey Team

Mr. Shinichiro Tanaka	Senior Advisor, JICA
Ms. Akiko Komori	Officer in charge, Basic Education Division II, Human Development Department, JICA
Ms. Kumiko Abe	Consultant, Fujita Planning Co. Ltd.
Ms. Emiko Nakamura	Interpreter, Japan International Cooperation Center

JICA Morocco Office

Mr. Koichi Shoji	Chief Representative
Mr. Motoharu Wakabayashi	Senior Representative
Ms. Yuko Morikawa	Programme Officer in charge
Mr. Takashi Yukizawa	Programme Officer in charge
Ms. Benhaddou Ouidad	Programme Officer in charge



プロジェクトが目指す将来像

～国は、域内の様々な教育格差を緩和するAREFを応援します～

MEN / CNEE

- ◆ 州レベルの試験結果に関する分析方法の開発。試験分析に関するAREF, Delegationのインスペクターへの指導
- ◆ 県レベルの教育のアクセス改善のための草の根キャンペーン活動のサポート
- ◆ AREFの施策の全国展開



AREF

【教育の質に関する活動支援】

- 達成度の低い学校の底支え
 - 試験結果に基づく勉強会(指定校教員、担当州、県視学)
 - 基礎学力向上の取組紹介(自習型教材)
 - 視学を通じた教員の支援授業技術(子供、教員の弱点をカバーする工夫)の紹介
- AREF, Delegationインスペクター間の定例会での結果報告

【教育のアクセス改善のための学校、親、コミュニティへの働きかけ強化】

- 小中接続／女子就学にお困りの中学校への支援
 - 親や周辺コミュニティ、近隣小学校と協力して行うキャンペーン活動を支援／小規模修繕、備品整備の助成
- キャンペーン活動及びアクセス改善取組の結果報告@ AREF, Delegationインスペクター間の定例会



Delegation

【インスペクターによる教育の質向上支援】

- ✓ 授業技術導入
- ✓ ドリル試行実施
- ✓ 教員による授業計画改善

【教育のアクセス改善のためのキャンペーン活動】

- ✓ 就学率(小中接続、女子就学)を課題として抱える中学校が親、コミュニティを動員してキャンペーンを行う
- ✓ 学校レベルでの改善取組

別添5： モロッコ初中等基礎データ

＜初等・中等前期の就学状況＞

初等

	2007/2008	2008/2009	2009/2010	2010/2011	2011/2012
就学率	90,40%	90,50%	93,90%	96,40%	96,60%
留年率	12,60%	12,30%	12,00%	9,30%	8,20%
退学率	5,40%	4,60%	3,30%	3,10%	3,20%
終了率	72,50%	75,80%	82,50%	86,50%	86,20%

中等前期

	2007/2008	2008/2009	2009/2010	2010/2011	2011/2012
就学率	43,90%	42,70%	48,00%	51,00%	53,90%
留年率	16,40%	15,20%	16,10%	16,30%	16,00%
退学率	13,40%	13,10%	12,30%	10,80%	10,40%
終了率	48,00%	51,80%	57,00%	64,60%	65,30%

*分母となる就学年齢の人口は 2004 年国勢調査からの人口増加推定数

データソース：Rapport d'activités techniques et financières & Bilan d'exécution, Rabat, Octobre 2012, Direction de Stratégie, des Statistique et de Planification

＜2005/2006 年の初等部入学グループを 6 年間追跡したデータ＞

学年	年度	進級率 ¹				留年率 ²				中退率 ³			
		全体		地方		全体		地方		全体		地方	
		全体	女子	全体	女子	全体	女子	全体	女子	全体	女子	全体	女子
1年生	05/06	78,0	79,3	73,6	74,3	16,9	15,5	19,3	18,1	5,0	5,2	7,1	7,6
2年生	06/07	83,7	85,5	80,6	81,8	14,2	12,0	15,5	13,7	4,6	2,5	3,9	4,5
3年生	07/08	83,0	85,4	79,3	81,2	14,0	11,4	15,8	13,3	3,0	3,1	4,9	5,5
4年生	08/09	86,8	89,4	82,4	84,3	10,5	7,8	11,6	8,8	2,6	2,8	6,1	6,9
5年生	09/10	89,3	91,0	83,0	83,9	6,8	4,6	7,9	5,4	3,9	4,4	9,1	10,7
6年生	10/11	84,4	82,0	53,4	46,7	7,3	5,2	9,2	7,3	8,3	12,8	37,4	46,0

小学1年生の留年・退学率が顕著！ベルベル語の壁かも。

労働力になる年齢??

中等前期⁴への進学率

初等教育を終えれば良いという地方の認識かも。

¹ 進級率 = 翌年の新登録者数/学年全体数

² 留年率 = 翌年に留年生として同じ学年に登録されている数/学年全体数

³ 中退率 = (学年全体数 - 翌年の新登録数 - 留年生)/学年全体数

⁴ 中等前期進学率 = 中等前期新登録者数/6年生全体数

データソース：Recueil Statistique de L'éducation 2011 – 2012, Direction de la Stratégie, des Statistiques et de la Planification より数値を算出

<モロッコの学校運営プロジェクトの審査の流れ>

1. 学校レベル

- Conseil de gestion d' établissement (CGE) (学校運営委員会) の年間会議で、校長がプロジェクトを草案したチームの代表として内容を発表する。CGE は校長、APET 会長、学校管理マネジャー、市町村の代表、などから構成される。
- CGE が承認
- CGE メンバーが署名したプロジェクト内容を Délégation に送る。

2. 県レベル

- Zone pédagogique 関係者と学校長の代表から成る委員会でプロジェクト内容について確認する。
- 県の運営委員会で予算とプロジェクト内容の県の戦略との整合性の承認を 11 月 15 日までに行う。

3. 州レベル

- 予算の都合で県レベルで承認を得なかったプロジェクトは州の運営委員会に 11 月末までに承認を委ねられる。

学校運営プロジェクトの予算

2009 年 5 月に各学校への設置命令がおりた Association d' appui à l' école de la réussite (AAER) という学校支援組織を通じて、学校運営プロジェクトの予算が配分される。メンバーは CGE (学校運営委員会) と同じ。AAER の予算運営に関して教育省がガイドを作成している。

また、学校運営プロジェクトの予算は AAER からのみならず、関係者との連携体制次第で、APET (Association des Parents des Elèves et des Tuteurs)¹ や地元の市町村からも拠出されている。

ターゲット 4 州の学校運営プロジェクト実施状況

	ターゲット州											
	Chaouia-Ourdigha			Marrakeche-Tensift-Al Haouz			Doukala-Abda			Gharb-Chararda-Beni Hassen		
	小	中等前期	中等後期	小	中等前期	中等後期	小	中等前期	中等後期	小	中等前期	中等後期
学校数	418	91	52	896	141	66	426	97	45	330	80	43
2009/10のPE実施数	418	93	48	642	102	9	274	58	17			
2010/11のPE実施数				868	141	66				277	56	22
州の委員会の有無	有			無			無			有		
県の委員会の有無	有			有			1 県のみ有			有		
研修支援の有無	APEF/AFEL (2004-2007)			UNICEF/USAID (2003-2011)			情報無し			無		

(以上、Stratégie National du Projet d' Etablissement, Résumé Synthétique, juillet 2011 及び Dynamique des Projets d' Etablissements –Rapport de Synthèse- Octobre 2012 より抜粋。なお、赤字は調査結果では空欄であったため、教育省の統計データから引用。)

¹ 日本の PTA のような組織

視学官概要

(1) インспекターの種類

- －初等教育
- －中等教育
- －Orientation（中学3年生と高校1年生の進路指導）
- －Planification（学校の授業時間割の承認や Carte Scolaire（教育マッピング）など）
- －予算

(2) インспекターになるためには、教員経験 7 年以上で試験を受ける資格ができ、合格者は 2 年間実地研修を受けてから正式にインспекターとなる。

(3) AREF（州）

各担当分野の州コーディネーターがおり、人数は州によるが、それぞれ分野ごとに 1～3 名程度。インспекターはどの部局にも属さず、AREF に直属。

- ・コーディネーターは県インспекターの中から選出され州レベルでのまとめ役となるが、学校訪問も担当地域が与えられ引き続き教員評価を実施する（担当エリアは県インспекターより少ない）。
- ・州レベル試験（中学卒業試験及び高校 2 年生の Bac 第 1 段階テスト）を県インспекターからの提案を取り入れつつ彼らが作成する。しかし、教員が採点した後の集計分析などは行っていない。
- ・ナショナル試験（Bac）の問題はコーディネーターの提案に基づいて中央レベルで策定される。
- ・音楽・体育・図工などの授業は、それができる学校教員が少ないため、担当コーディネーターは 2 州を兼轄しているケースもある。
- ・国際試験の結果発表のワークショップを実施している。
- ・インспекターの定例会は各科目ごとに行われている様子。
- ・県インспекターの教員評価報告書が AREF に送られ、それを担当コーディネーターが集計しているという話（本当か？）

(4) Délégation（県）

人数は県の規模によるが、35～60 名程度。Délégation に直属。初等・中等教育のインспекターの専門は以下のとおり。

- ・初等教育－フランス語担当（仏語、算数担当）、アラビア語
 - ・中等教育－フランス語、アラビア語、数学、科学、地理、歴史 など
- ・Zone Pédagogique という単位をつくり、1 人のインспекターが 1 ゾーンを担当（1 ゾーンは 20 校程度）。一方、小中及び専門分野ごとの教員訪問という 2 つのシステムで教員評価・指導を行っている。
 - ・教員評価を行う頻度はまちまちであるが、主に新任教員と昇進試験を受ける教員を優先的に訪問している。教員の昇進にはインспекターの採点評価が必要となるため、教員の方からリクエストがある。
 - ・教員評価の項目は統一されておらず、各インспекターがそれぞれの報告書フォーマットを使用している。
 - ・評価実施直後に評価結果を教員とシェアし、報告書には教員のサインもされる。

他ドナー協力概要

1. ユニセフ

ユニセフによるモロッコ教育セクター支援の枠組み Programme Education de Base et Développement des Adolescent(e)s 2012 - 2106 の中で、教育ガバナンス及び教員の質向上、特に学校活動の支援による学校中心の教育の質向上を柱とした協力を実施中。2012～2013 年の活動計画予算は 2,543,600\$。教育省並びに州レベルでは次の 3 つの AREF との協力で支援を行っている：Oriental, Marrakech-Haouz-Tansift, Souss-Masaa-Draa。なお、2013 年 4 月の時点で、モロッコの教育セクター新戦略 PDMT2013-2016 の内容に沿って、活動計画の軌道修正を行っている。以下、本プロジェクトと関連する支援についての概要。

- 学校運営プロジェクト

研修は PAGESM が実施するが、ユニセフが担当するのはモニタリング評価の部分。2014 年からは PAGESM と足並みを揃え、同じターゲット地域で研修・モニタリング評価を実施していく予定。学校運営プロジェクトは 26 カ国で実施されている INSAF プログラムの一環。

- 学力評価に係る個別支援プログラム

- ・生徒個別モニタリングブックの活用をコンピュータ化したものを試験的に実施中。各生徒の家庭の情報から試験結果記録などすべての情報を記録するシステムで、これを教員が活用してより有効的な生徒個別指導を行うもの。初等教育で実施中。

- 教員研修

複式学級が全国で 17% であり、この授業に対する研修を実施している。また、就学前教育の教員養成トレーナーの研修を実施。

- カリキュラム支援

- ・モロッコの教科書作成は “Conseil Supérieur de l' Etablissement” により政治的にとても閉ざされている。ユニセフのカリキュラム改定支援は、人権やジェンダーイシューなどの社会的側面を教科書に取り入れるよう推進するためのガイドを作っている。

以下、ユニセフ支援の枠組み Programme Education de Base et Développement des Adolescent(e)s 2012 - 2106 の活動内容抜粋和訳。

(下線は今回の技術協力プロジェクト形成調査と関連するところ)

(1) 公平なアクセス

- 1.1 就学前教育の強化：就学前教育の評価調査によるガイドの作成
- 1.2 支援が必要な子ども、特に障害児のための教育プログラムの作成。遠隔地及び遊牧民の子どもたちの就学状況の調査
- 1.3 校内暴力に対する対策：学校及び AREF 内へのセンター設置による監視体制強化
- 1.4 校内での緊急事態に対する対策強化
- 1.5 留年・中退防止支援：個別モニタリング及び補習実施（PU の E1P5）の評価調査
- 1.6 未就学の子どもに関する調査報告 “Initiative mondiale en faveur des enfants non scolarisés”
- 1.7 教育における男女平等の促進

(2) 教育の質

- 2.1 就学前教育及び障害児のための教育カリキュラム作成。中等前期のカリキュラムへの人権やジェンダーイシューの導入
- 2.2 複式学級のための教材開発
- 2.3 学力評価：評価ガイドの改定、個別モニタリングシステムの 2 州（SMD、MTH）での試験的導入（初等教育）、国家/国際試験結果の活用（←2013 年 4 月時点で予算ついていない）
- 2.4 Ecole amie des enfants（子供の人権に配慮した教育：教授法、保護、参加型などの側面）のモデル学校パイロット

(3) ガバナンス

- 3.1 学校運営プロジェクト：教育省のマネジャーの能力強化、学校運営プロジェクトのモニタリング/評価を通じた運営強化（Initiative INSAF）
- 3.2 教育システムの質向上：学校保健の強化
- 3.3 州での教育フォーラム：Oriental 州での経験を拡大
- 3.4 教育の公平性に係るモニタリング・評価強化

3.5 ユニセフ支援のグッド・プラクティスのドキュメント化、それに係るガイド作成

(4) 思春期（10～19歳）教育

- 4.1 貧困層のノンフォーマル教育の強化
- 4.2 若者の識字率向上対策
- 4.3 教育と就職の架け橋に係る調査とパイロット活動実施
- 4.4 社会的弱者（DarTalib/Talibaの女子）への教育提供活動

(5) コミュニケーション

- 公平な義務教育の提供に係るコミュニケーション戦略：国会議員や内務省への働きかけ、ナショナルキャンペーンの実施

2. USAID

Programme d'Urgence の枠組みでモロッコとアメリカの 2 国間協定による ITQANE (Improving Training for Quality Advancement in National Education) プロジェクトが 2010 年 4 月から開始。中等前期を主なターゲットに教員研修をはじめとする教育の質向上の支援を行っている。ターゲット地域は Doukkala-Abda, Fez-Boulemane の 2 州。予算は 4 年間のプロジェクトで 14,057,915\$。主な活動内容は以下のとおり。

• 教員研修

現職教員研修カリキュラムの 10%に当たる 3 日間の研修を、科学や法律など専門分野において実施。研修内容にジェンダーイシューや教育環境改善に係る部分も盛り込んでいる。また、教員研修の質向上をめざすためにデータ収集によるモニタリング評価プログラムを作成。

さらに、E ラーニングによる中等教育教員対象の研修プロジェクトを実施中。パイロット地域で 8 コースすべての研修を州レベルで実施し、今後新規/現職教員研修の E ラーニングによる研修戦略を教育省と構築していく予定。

• 学校運営プロジェクト

PAGESM より以前から実施しており、PAGESM と現在まで情報シェアしながらやってきたが、今回政府との問題があり、継続しないことに決定。主に Learning problem の改善をめざした内容を実施しており、実施されたプロジェクト内容としては、図書館建設のほかにジャーナリズムクラブ、ドラマクラブなどといったものが多い。

• Reading プロジェクト

上記学校運営プロジェクトの後継プロジェクトとして、3 州の 40 以上の中学校を対象に識字率向上プロジェクトを開始。これは、政府が認識している以上に読解能力が低く、高い留年率もこの理由から learning problem があるという調査結果から生まれた。具体的活動は教員に対する研修であるが、現在試験的にその研修を実施しており、近いうちに研修ガイドが作成される予定。研修を受けた教員は学校で読書クラブとして活動を実施している。

3. AFD（フランス開発庁）

EU による FIV (Facilité d'investissement pour le voisinage) という資金プログラムからの予算で、PU 枠組みの科学技術分野における戦略策定のための現状調査を実施予定であったが、業務実施チームの選定過程で教育省側からストップがかかり、割り当てていた予算 4 万ユーロが財政支援に割り当てられてしまった。そのため、本調査はモロッコ側の予算で実施することとなるが、現時点で実施のめどはたっていない。なお、調査実施予定であった内容は、初等・中等前後期の 3 サイクルすべての科学技術分野教育における現状分析、その結果を基に同分野における教育方針の提案というものであった（別添公示内容（仏文）参照）。

1. EU（欧州連合）

現在、PTF 財政支援ドナーのコーディネーターとして EU が取りまとめ役を担当しているが、その他技術支援分野では以下の活動を実施中。なお、EU は教育の質、地方農村部、退学防止の 3 つを主な技術支援のターゲットとしている。

- PU 枠組みで教員研修評価調査を 2012 年より実施。現在報告書取りまとめ中であり今年 10 月ごろに完成予定。今回は 2008 年に実施した同様の調査報告書¹を入手。まとめの概要（71～77 ページ）を以下に抜粋（和訳）。

- ・ 中央レベルでは現職教員研修における役割の不明確さが顕著で、本来の担当部署である UCFC の位置づけがとて曖昧。国レベルでの教員研修内容の欠如から、さまざまな部署間で研修業務に係る重複や侵害が発生している。
 - ・ 州の AREF レベルにおいては、教員研修業務に係る適任の不在及び組織的役割の不在が戦略策定の大きな障害となっている。研修実施の決定要因は拠出される当該予算のスケジュールにのみ基づいている。さらに、研修管理に必要なすべてのサポート体制が欠如。AREF によっては大学との連携を実施したりしているが、全体として合理化されていない。
 - ・ その他、教員研修担当者、学校長、教員、インスペクターからも、教員研修制度に対する不満が挙げられ、なかには教員生活 30 年間で一度も研修を受けたことがない者もいた。
 - ・ 調査分析の結果、教員研修制度に係るすべての側面での見直し作業が必要となるため、組織的役割の明確化及び研修内容のニーズ把握などのためのアクションプランが提案されている。
- ジェンダー及び人権を取り入れた教育方針の策定支援を実施中。教育省の戦略レベルでの提案を行っている。
 - ノンフォーマル教育分野における予算システム CDMT (Cadre de Dépense Moyen Terme) の構築支援及び、新戦略 PDMT のアクションプラン詳細策定支援を実施予定。また、今後は障害児をターゲットとした支援も計画している。

5. PAGESM (Projet d' appui à la gestion des établissements scolaires au Maroc) (カナダ政府)

学校運営プロジェクトをメインに担っており、16 の州を 4 つのグループに分けて、学校長に対する研修を実施している。既に 1 万人の学校長に研修を実施しており、PAGESM プロジェクトでは、学校長が学校運営プロジェクトの中心人物であるという認識が強い（学校運営プロジェクトの内容は多岐にわたりステークホルダーも多いことから、教員など多くの関係者を巻き込んだほうが良いという意見も多い）。生徒の学習能力の向上という側面を重視しており、またパイロットプロジェクトをせずに直接「実施」というスタンスで、対象地域は全国としている。

また、学校運営プロジェクトを促進するにあたり、いくつかの学校をグルーピングして Communauté pratique professionnel という学校長をメンバーとしたグループを形成し、学校運営プロジェクト実施者間での情報交換や問題解決のための場として、学校の横のつながりを強化。このグループのコーディネーターを 49 名養成した。なお、研修は 5 月と 10 月に実施。

各州に PAGESM プロジェクトからカナダ人とモロッコ人専門家を派遣しており、研修や評価実施の際に訪問している様子。

プロジェクトは 2011～2015 年。予算はカナダ政府から 11,100,000 カナダドル、そしてモロッコ側から 8,000,000 カナダドルがシェアされ、合計 19,100,000 カナダドル。

プロジェクト審査の流れ

1. 学校レベル

- Conseil de gestion d' établissement (CGE) (学校運営委員会) の年間会議で、校長がプロジェクトを草案したチームの代表として内容を発表する。CGE は校長、APET 会長、学校管理マネジャー、市町村の代表、などから構成される。
- CGE が承認
- CGE メンバーが署名したプロジェクト内容を Délégation に送る

2. 県レベル

- Zone pédagogique 関係者と学校長の代表から成る委員会でプロジェクト内容について確認
- 県の運営委員会で予算とプロジェクト内容の県の戦略との整合性の承認を 11 月 15 日までに行う

3. 州レベル

- 予算の都合で県レベルで承認を得なかったプロジェクトは州の運営委員会に 11 月末までに承認を委ねられる

¹ Commission Européenne <Mission d' assistance pour la définition d' un système de formation continue des enseignants du ministère de l' éducation nationale au Maroc> Rapport final provisoire, 12 Décembre, 2008.

学校運営プロジェクトの予算

2009年5月に各学校への設置命令がおきた Association d' appui à l' école de la réussite (AAER) という学校支援組織を通じて、学校運営プロジェクトの予算が配分される。メンバーは CGE (学校運営委員会) と同じ。AAER の予算運営に関して教育省がガイドを作成している。

また、学校運営プロジェクトの予算は AAER からのみならず、関係者との連携体制次第で、APET (Association des Parents des Elèves et des Tuteurs)² や地元の市町村からも拠出されている。

ターゲット4州の学校運営プロジェクト実施状況

	ターゲット州											
	Chaouia-Ourdigha			Marrakeche-Tensift-Al Haouz			Doukala-Abda			Gharb-Chararda-Beni Hassen		
	小	中等前期	中等後期	小	中等前期	中等後期	小	中等前期	中等後期	小	中等前期	中等後期
学校数	418	91	52	896	141	66	426	97	45	330	80	43
2009/10のPE実施数	418	93	48	642	102	9	274	58	17			
2010/11のPE実施数				868	141	66				277	56	22
州の委員会の有無	有			無			無			有		
県の委員会の有無	有			有			1 県のみ有			有		
研修支援の有無	APEF/AFEL (2004-2007)			UNICEF/USAID (2003-2011)			情報無し			無		

(以上、Stratégie National du Projet d' Etablissement, Résumé Synthétique, juillet 2011 及び Dynamique des Projets d' Etablissements –Rapport de Synthèse– Octobre 2012 より抜粋。なお、赤字は調査結果では空欄であったため、教育省の統計データから引用。)

² 日本の PTA のような組織

2. 詳細計画策定調査現地報告書（2013年10月）、（M/M【英語】を含む）

モロッコ王国 「公平な教育振興プロジェクト」
詳細計画策定調査報告書（2013年10月）
（現地調査結果報告）

1. 調査の概要

(1) 目的/調査方針

- 1) これまでの日本の基礎教育セクターへの支援結果を踏まえ、本プロジェクトの妥当性を確認する。
- 2) 6月に実施した第1回目調査で先方と合意したプロジェクトコンセプト案及びPDMに関し、下記について協議のうえ、合意形成を図る。
 - ・「教育の質（Quality）」コンポーネントの先方事業としての概略設計（コンセプト、活動フロー）
 - ・「教育のアクセス（Equity）」コンポーネントの先方事業としての概略設計（コンセプト、活動フロー）
 - ・実施体制の確認（国民教育・職業訓練省（Ministere de l'Education Nationale et de la Formation Professionnelle：MENFP）及び教育・人材育成地域アカデミー（Académies Régionales de l'Education et de la Formation：AREF）での意思決定プロセスと決定機関）
 - ・日本・モロッコ側双方の投入内容、負担事項、活動計画（PO）の確認
- 3) プロジェクト開始までに行う作業及びそのスケジュールを確認する。
- 4) 日本・モロッコ側双方で同意した事項を協議議事録（M/M）として取りまとめ、署名交換をする。

(2) 団員構成

担当分野	氏名	所属先
団長	田中 紳一郎	JICA 国際協力専門員（教育）
協力企画	小森 明子	JICA 人間開発部基礎教育第二課 主任調査役

(3) 調査日程

2013年10月2日（水）～11日（金）

2. 調査結果概要

調査団は、調査対処方針に沿ってモロッコ側（MENFP、地方教育事務所、小中学校関係者）との協議、現場視察等を行い、プロジェクト案について協議議事録（M/M）に取りまとめ、署名を行った。

調査結果の概要は以下のとおり。

(1) プロジェクト概要（詳細は別添3 協議議事録（M/M）に添付のPDM参照）

- ・案件名称：「公平な教育振興プロジェクト」
“Promoting Education with Equity and Equality (PEEQ)”

- ・協力期間：2014年2月～2018年2月（48カ月）
- ・上位目標：下記施策が対象 AREF 内の他中学校及びモロッコ国内他州にて展開される
- ・プロジェクト目標：MENFP が、域内教育格差の緩和に取り組む AREF を、支援できるようになる
- ・成果：1) 学習達成度の学校間格差に、AREF が取り組む施策が開発される
2) 就学の中学校区間の格差に、AREF が取り組む施策が開発される
3) AREF 内の他県への施策継続及び MENFP による他州展開の準備が整う

1) 2つの基本コンポーネント

第1回目の調査にて先方と合意したプロジェクトの基本コンセプトは、①教育の質における学校間の格差（特に中学校入学時の生徒の学習レベルにおける格差）、②教育へのアクセス（小中進学、女子就学率等）における格差を緩和するために、学力及びアクセスそれぞれの領域で恵まれない学校を特定し、そこに対して地方（AREF、Delegation）が自ら格差を緩和できる施策を開発・実施できるように支援することであり、今次調査ではこれら2つのコンポーネントの先方事業としての概略設計を行った。

調査期間中、本プロジェクトがターゲットとする8州のうちの4州（円借款 BESSP 学校建設の対象地域）のうち3州を訪問、AREF、Delegation、学校（小中）への聞き取り調査を行った。地方視察・聞き取り及び MENFP との協議の結果、2つの主要コンポーネントの事業を次のとおり具体化した。

① 教育のアクセス（Equity）コンポーネント

- ・女子就学率及び小中接続改善のために、モロッコの学区（Bassin Scolaire）を活用して、アクセス面で指標の悪い中学校（ワースト5%）とその近隣小学校が連携してアクセス改善活動を実施することを MENFP 地方支局が支援する事業。

② 教育の質（Quality）コンポーネント

- ・学力面で課題を抱える（ワースト5%校）小中学校の修了試験（6年生、9年生）の県別・州別の試験結果を視学官が分析し、その誤答分析結果から生徒の弱みやつまづきを特定して学校への有効な介入（自習用教材の導入、指導技能の改善指導など）を学校教員にフィードバックする事業。

【案件のポイント】

- ・いずれのコンポーネントもワースト5%程度の学校をターゲットとして教育におけるアクセス改善と学力向上の「底上げ」を行う。
- ・既存の先方メカニズムや体制を最大限活用する。
- ・最初の2ラウンド（2014～2015年）はパイロットという位置づけで支援を行い、3ラウンド目以降はモロッコ側が先方事業として予算も確保し、実施を支援する。

2) 対象地域/裨益対象者

① 対象地域：8AREF

Round 1 and 2 Round 3 onward

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1) シャウィア・ウルディガ | 5) タザ・アルホセイマ・タオウナート |
| 2) ドウカラ・アブダ | 6) オリエンタル |
| 3) ガーブ・シャラルダ・ベニハッサン | 7) タドラ・アジラル |
| 4) マラケシュ・テンシフト・アル・ハウズ | 8) スス・マサ・ドラ |

② 裨益者：国民教育・職業訓練省（MENFP）、州の教育 教育・人材育成地域アカデミー（AREF）及び県教育省支局（Delegation）の視学官（約 280 名）、8 州の 240 の Bassin Scolaire

3) 実施体制

① 実施責任機関：国民教育・職業訓練省

プロジェクトディレクター：MENFP 戦略・統計・計画局（DSSP）局長

プロジェクトマネジャー：MENFP 戦略・統計・計画局（DSSP）課長

プロジェクトコーディネーター：DSSP 担当官

② 実施体制：以下のとおりの MENFP の既存の仕組みを活用してプロジェクト活動を実施する。

- ・中央 国民教育・訓練省（MENFP）
- ・州 教育・人材育成地域アカデミー（AREF）
- ・県 県教育省支局（Delegation）

4) 投入

① モロッコ側

- ・人材（中央の戦略、アクセス改善、試験・評価担当部局、州、県の視学官）
- ・活動場所、資機材の提供（事務所、事務機器、車両及び燃料、維持管理費）
- ・活動費（研修会、ワークショップ開催経費）

② 日本側

- ・専門家 3 名、ローカルコンサルタント 1 名
- ・本邦研修等
- ・資機材（研修用機材、事務機器、車両等）
- ・在外事業強化費

(2) 今後の予定

時期	項目	実施主体
2013 年 11 月中旬	モロッコ側より、C/P8 名を含む JCC メンバーの任命	モロッコ側
2013 年 12 月	R/D 署名	モロッコ側、JICA
12 月	日本人専門家の公示	JICA
2014 年 2 月	プロジェクト開始	モロッコ側、JICA

※準備状況の進展によっては、上記スケジュール変更の可能性あり。

4. 団長所感¹

今回は、前回調査（2013年6月）時に合意した、PEEQの2つのコンポーネント（就学促進、質向上）の手順（サイクル）・タイミングや、就学コンポーネントの学校群向け助成規模、先方政府負担による普及のタイミング等について合意することに主眼をおいたが、そのねらいは無事に達成することができた。

今回の調査時期は、結果的にMENFP要職の人事異動に重なった。前回M/Mの署名者ハヤニ氏は現地調査初日に知らされた。また、署名予定日・前日夕刻には、教育大臣の交代と国民教育省（MEN）の名称変更〔国民教育・職業訓練省（MENFP）に改称〕が決定され、署名日の会合にて左記が当方に連絡された。さらに、署名予定日前日との教育省との検討会合は直前にキャンセルされたが、ほぼ当方の思惑どおりにM/M署名に至れたのは、JICAラバト事務所が有するMENFPとの信頼関係に負うところが大きいと感じた。

本プロジェクトの枠組みの特徴は、①域内で最も不利な状況にある②学校・学校群（BS）に焦点をおき、③学校自身による就学、学び向上への取り組みを、④行政が支援するという諸点である。ツールとしては、追加的な学校助成、誤答分析による教え・学びの弱点改善を想定している²。前回M/M時に共同開発したこの枠組みへの賛意・支持はMENFP側に維持されており、その線のうえで手順や役割分担、日程など詳細な想定をM/Mに収めることができた。

翻って、地方部における中学校の普及は端緒に就いたばかりである。地方部では、中学校のないコミューンは半数近い。モロッコは中進国に分類されるが、地方部での基礎教育普及、特に女子教育の数値（中学校女子就学20～30%）は脆弱国のそれと比肩する。先進国並みに富裕な沿岸部と、LLDC並みに貧しい内陸・地方部が総体としての中進国・モロッコを構成している。都市部と地方部の落差は中進国にはふさわしくない状況である。

「2つのモロッコ」が交わる、いわば「緩衝地帯」のサフィ市の郊外（車で小1時間、40km程度）に訪問した、借款中学校の様相は皮肉的・象徴的であった。2007年に開校した同校には現在約489名が通うが、うち女子は153名と限られている。女子が就学するには、通学用のバス、それを補う女子寮の双方が不足しているとのことである（バスの運行を工夫するなど、工夫の余地は多くあろう）。しかし学校の周辺地域は、サマーハウス分譲地で多くがサフィ市在住の富裕層の所有である。訪問した10月は数百の空き家のサマーハウスが並ぶ。これらの空き家建設民間資金を、中学校生徒の寮やスクールバスの公的資金に回せない既存の徴税制度の改善が、モロッコの脱中進国の試金石になっているように思えた。

翻って、他国に比較すると、モロッコ行政官は合理的で節操ある態度を保ち、当方とのギャップを感じることはほとんどなかった。既に借款により学校建設が企図されていることもあろうが、むやみに資金的・物的援助を引き出そうとすることもなく、この点好感もてる。また、教育行政（中央、地方、学校）の規範となる組織文化は、「集権」「上位下達」に文脈づいていると感じた。我々の訪問を知らぬ訪問先はなく、地方の学校・分校においてすら、あらかじめ文書で訪問趣旨を知らされていた。また、彼ら/彼女らは、データに基づいて状況を把握・説明する習慣が備

¹ 前回所感の繰り返しであるが、要請書作成前に職員/専門員を現地に投入し、要請内容の検討を支援するのは効果的である。今回事案は当初借款勘定での提供を予定した技術協力プロジェクトが、通常勘定に途中から切り替わったため、結果的に要請書の発出前から詳細設計調査が可能となった。今回は図らずもそのような展開となったが、このやり方を基本とするのが好ましい。プロジェクトサイクルの上流から下流に至る過程で、組織としての整合性が保ちやすい。

² 他にも、複式学級の授業運営（モロッコでは小学校の分校のほとんどが複式学級）、や基礎力向上のための自習型教材（ドリル）等も有効であると思われる。このあたりの活用も可能となるような専門家チームの構成を構想したいところである。

わっている。

こうした行政官の態度や組織文化からは、モロッコの分権化は（本技術協力プロジェクトにおいても）、中央からの「指令型分権」、換言すると「自由に発意して提案すること」は「合理的であるので」、これを中央（上位機関）が地方（下位機関・学校）に「強いる」、という発信スタイルをとるのが適切なのであらうと感じた。

また、JICA にとって、モロッコは数少ない教育分野の重点国の 1 つである。「教育格差の縮減」を志向するさまざまな取り組みを通じ、同国への貢献を継続するのはもとより、JICA の他国実践への示唆を得うる意欲的案件・プログラム展開を考えてもよいだろう。本プロジェクトでは青年海外協力隊のチーム派遣との協働が視野に入っている（マラケシュ地域）。この他、草の根無償資金協力、次期有償資金協力、技術協力プロジェクト、政策アドバイザー等、教育格差の縮減に取り組む JICA 協力の（世界への）展示場として位置づけるのが良いかもしれない。なお、本プロジェクトの女子教育への配慮部分は、最近の「安倍イニシアティブ」と関連づけるのも一案である。

なお、以下 3 点は今回調査中に至らなかった事項である。調査終了後は、モロッコ事務所に引き継ぎをお願いする。

- (1) 開発政策借款のプログラムモニタリング指標の設定（2013 年 10 月下旬まで）
- (2) モロッコ側 C/P 8 名を含む合同調整委員会（JCC）メンバーリストの受領（2013 年 11 月中旬まで、R/D にて言及）
- (3) CIDA に本プロジェクトの構想を紹介。CIDA が開発した PE 関連資料の受領（2013 年 11 月中旬まで）

別添資料 1 面談者リスト

別添資料 2 調査日程

別添資料 3 協議議事録（M/M）署名済

別添資料 4 対象州（4AREF、県（Delegation））の教育指標

別添 1 面談者リスト

面談者リスト

1. MENFP

Mr. Abdelaziz Guedari	Director, Directorate of Strategy, Statistics, and Planning
Mr. Abdelhaq Ghouli	Chief, Planning Division à la DSSP
Mr. Tazi Malak	Chef de Service à la Direction de la Coopération
Mr. Ahmed Chaïbi	Chief, Evaluation Division au CNEE
Mr. El Houssaine Ou Hssata	Chief, Division of Audio-visuals, CNIPE
Mr. Rachid Elamrani	Chief, Manual Division, Direction of Curricula
Mr. Ali Allouch	Chief, DETV
Mr. Abdelfadil Khayati	Chef de Service au CNEE
Mr. Ahmed Mahroug	Cadre de la DSSP chargé du dossier JICA
Mr. Mahfoudi El Hassane	Chief de Division à l'ENF
Mr. Belarbi Dalila	Cadre à l'UCFC
Mr. El Iraqi Bouhaira	Chief, Service, DSSP

2. Gharb-Chrarda-Beni Hssen 州

Mr. Aziz Nahya	Director, AREF
Mr. Chablimor	Director, Kenitra Delegation
Ms. Rguioui Naima	Sidi Slimane Delegation Officer
Mr. Rhessam Abdelhaq	Chief, AREF
Mr. Elbouatlaoui Abderrahmane	Sidi Kacem Delege
Mr. Bendamir Abdewalim	Director, College Dakhla

3. Marrakech-Tensift-Al Haouz 州

Mr. Ahmed Benzzi	Director, AREF
Mr. Meziane Samir	Marrakech Delege
Mr. ElJaouzi Abdelaziz	Inspector, Marrakech AREF
Mr. Simour Abdelhakim	Chief, Marrakech Delegation
Mr. Khaolija Almou	Marrakech Lower Secondary School
Mr. Mourrai Abdelmoula	Director, Primary School

4. Doukala-Abda 州

Mr. Aboudarir Mohammed	Director, AREF
Mr. Hamdouctti Rafik	Delege, Safi
Mr. Abdelhafid Oulhakem	Inspector, Safi Delegation
Mr. Elouadi Mohammed	Director, Lower Secondary School of Safi

5. 世銀

Mr. Kamel Braham	Human Dev. Coordinator for the Maghreb, The World Bank
------------------	--

6. UNICEF

Mr. Jean Benoit Manhes	Representative, UNICEF
Mr. Khalid Chenguiti	Education Specialist, UNICEF

7. USAID

Ms. Mariam Britel Swift	Education Specialist, Youth and Human Development Office, USAID
-------------------------	---

別添 2 調査日程

調査日程

As of Oct. 10 2013

Schedule for Preparatory Survey Mission -2

	Date	Day	Schedule Content				Accommodation
			Location	Time	Mr. Shinichiro TANAKA	Ms. Akiko KOMORI	
1	Oct. 2	Wed			10:15 Arrival in Casablanca (AT514) Move to Rabat Mission internal meeting Meeting with JICA Morocco Office	12:20 Arrival in Rabat (AF1258) Mission internal meeting Meeting with JICA Morocco Office	Rabat
2	Oct. 3	Thu	MEN @Rabat	9:00-12:00 14:30-16:30	Kick-off with MEN (1st Workshop) Meeting with CNEE		Rabat
3	Oct. 4	Fri	Gharb Chrarda Beni Hssen (GCB)	9:30-10:30 10:30-12:30 14:30-16:30	Visit AREF Gharb-Chrarda-Beni Hssen - brief meeting Visit Sidi Slimane Ecole Primaire Kariat Visit Sidi Kacem Collegial Dakhla		Rabat
4	Oct. 5	Sat	GCB / MTH		(Departure to MTH)		MTH
5	Oct. 6	Sun	MTH		Documentation		MTH
6	Oct. 7	Mon	Marrakech Tensift Al Haouz	9:30-11:00 13:30-15:00 15:30-17:00	Visit AREF Marrakech Visit Collegial El Imam Chafii Visit Ecole Primaire Groupe Scolaire Ait Iymor		Safi
7	Oct. 8	Tues	Doukkala Abda	9:30-10:30 10:30-12:30 14:30-16:00	Visit Delegation Doukala Abda Visit College Harone Errachid Visit Ecole Primaire: Groupe Scolaire El Maachat		Rabat
8	Oct. 9	Wed	Rabat	9:30-11:00 16:00-17:00	Meeting with DSSP, MEN Meeting with WB (Mr. Kamel Braham)		Rabat
9	Oct. 10	Thu	MEN @Rabat	9:30-10:30 13:30-14:30 15:00-16:30	Observe MEN-Donor Meeting Meeting with UNICEF Meeting with USAID		Rabat
10	Oct. 11	Fri	MEN @Rabat	9:30-11:30 12:00 16:00	Wrap-up with MEN Signing of MM Reporting to JICA Morocco Office		Rabat
11	Oct. 12	Sat		6:55	Departure from Rabat (AF1359)		in-flight

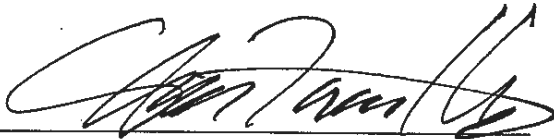
**MINUTES OF MEETING
BETWEEN
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY
AND
THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE KINGDOM OF
MOROCCO / MINISTRY OF NATIONAL EDUCATION AND VOCATIONAL
TRAINING
ON
THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION
FOR
PROMOTING EDUCATION WITH EQUITY AND QUALITY (PEEQ)**

The Preparatory Study Team (hereinafter referred to as “the Team”), organized by Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as “JICA”) and headed by Mr. Shinichiro Tanaka, visited the Moroccan authorities concerned / Ministry of National Education and Vocational Training (MENFP), Kingdom of Morocco represented by Mr. Abdelaziz Guedari from 3 to 11 October 2013 in order to discuss the overall framework, content, and implementation plan of the Technical Cooperation for “Promoting Education with Equity and Quality (PEEQ)” (hereinafter referred to as “the Project”).

During their stay in Morocco, the Team exchanged views on the formulation of the Project and had a series of discussions with Moroccan authorities concerned / MENFP (hereinafter referred to as “the Moroccan side”).

As a result of the discussions, both the Moroccan side and the Team agreed on the Project plan in the document attached hereto.

Rabat, 11 October, 2013



Mr. Shinichiro Tanaka
Team Leader,
Preparatory Study Team
Japan International Cooperation Agency
Japan

Mr. Abdelaziz Guedari
Director in charge of Directorate of Strategy,
Statistics, and Planning
Ministry of National Education and
Vocational Training
Kingdom of Morocco



ABBREVIATIONS

AREF	<i>Académie Régionale d'Education et de Formation</i> (Regional Education Office)
BS	<i>Bassin Scolaire</i> (Catchment area)
CNEE	<i>Centre Nationale de l'évaluation et des examens</i> (National Center for Evaluation and Examination)
C/P	Counterpart
JICA	Japan International Cooperation Agency
MEN	<i>Ministere de l'Education Nationale et de Formation Professionnelle</i> (Ministry of National Education and Vocational Training)
PAMT	Plan de Action a Moyen Terme 2013-2016
PDM	Project Design Matrix
PO	Plan of Operation
PU	Programme d'Urgence
R/D	Record of Discussions
TOR	Terms of Reference

LIST OF ANNEXES

ANNEX 1	PROJECT DESIGN MATRIX
ANNEX 2	PLAN OF OPERATION
ANNEX 3	PROJECT CONCEPT (Equity)
ANNEX 4	PROJECT CONCEPT (Quality)
ANNEX 5	TARGET AREA AND EXTENSION PLAN
ANNEX 6	CALENDAR OF THE PROJECT ACTIVITIES
ANNEX 7	PROJECT IMPLEMENTATION STRUCTURE (MENFP, AREF, DELEGATION)
ANNEX 8	ATTENDANCE LIST

57

Vu

I. BACKGROUND

The Project "PEEQ" was requested by MENFP to address both access and quality of education, especially in the rural area, aligning to the Moroccan educational policies, PU 2009-2012 and subsequent PAMT 2013-2016. The first Preparatory Mission was dispatched in June 2013 where basic concept was developed and agreed by both sides in the MM dated June 21 2013. The subsequent second Preparatory Mission was dispatched in order to design the detail plan of the Project. The section below summarizes the outcome which has been discussed and agreed by both sides.

II. PROJECT PLAN

(1) Project Framework (ANNEX 1&2: PDM, PO)

➤ Overall Goal

The PEEQ activity is disseminated to other schools within / beyond targeted Regions (AREFs) in Morocco.

➤ Project Purpose

MENFP is able to support initiatives of AREF to mitigate educational disparity

➤ Outputs

- 1) Measures to mitigate school disparities in learning achievement are tried out and set
- 2) Measures to mitigate school disparities in enrolment are tried out and set
- 3) AREF is ready to continue the measures, and MENFP is ready to disseminate the measures to other Regions.

(2) Target Group

The target group of the Project is as follows:

- MENFP
- AREF (approximately 5-8 personnel per targeted AREF from divisions identified in ATTACHMENT 7)
- Delegation (approximately 15 personnel (officers and inspectors) per targeted Delegation)
- School
 - Equity component
 - ✧ School:
 - ✧ Approximately 120 schools in a pilot phase (round 1, 2)
 - ✧ Approximately 120 additional schools in replication phase (round 3 onward)
 - Quality component
 - ✧ School:
 - Approximately 120 schools in a pilot phase (round 1, 2)

57

ka

- Approximately 120 additional schools in replication phase (round 3,4)

(Reference)

- Size of primary and lower secondary school in the 4 pilot: 400-600 (primary), 700-1,000 (lower secondary)

(3) Target Area

Round 1 and 2

- 1) Chaouia Ourdigha
- 2) Doukala Abda
- 3) Gharb Chrarda Beni Hssen
- 4) Marrakech Tensift Al Haouz

Round 3 onward

- 5) Taza Al Hoceima Taounate
- 6) Oriental
- 7) Tadla Azilal
- 8) Sous Massa Draa

(4) Administration of the Project

The Project will be administered within the already existing structure and mechanism of MENFP, AREF, Delegation, and School with the following assignment. Major stakeholders are listed in ANNEX 8.

- Project Director: Director, Directorate of Strategy, Statistics, and Planning
- Project Manager: Chief, Directorate of Strategy, Statistics, and Planning
- Project Coordinator: Cadre, Directorate of Strategy, Statistics, and Planning

(5) Inputs from both sides

(Moroccan side)

1. Allocation of office space at MENFP and facilities necessary such as desks, chairs, office equipment, cabinet for the Project (for Moroccan counterparts and Japanese experts).
2. Assignment of Personnel
 - The Project will be carried out with JICA Experts working with MENFP personnel as one team.
 - MENFP assured that they will nominate 8 (eight) officials.
3. Allocation and Disbursement of Budget
 - MENFP will allocate necessary budget for the 2 main components of the Project (including school grant for equity component from Round 3 onward)
 - Administrative cost for smooth implementation of the Project (such as, CP staff's salary, allowance, transportation fee, and running cost of the Project office)

(Japanese side)

1. Dispatch of Experts

37

Vu

- In the field of Assessment, Lesson Improvement, and School Management, and others as necessity arises
- 2. Training of counterpart personnel in Japan
 - in the field of PRESET, INSET
- 3. Expenses for project activities
- 4. Provision of office equipment and materials

III. MAIN POINTS DISCUSSED

1. Project Overview

The Project is expected to support the development of educational governance, by enhancing the capacities and efficiency of the current system to foster Morocco's decentralization process. The Project will have two pillars; (i) "Equity component" which aims to improve access to education (girls enrolment, transition from primary to lower secondary) through campaign and other small scale investment activities organized by lower secondary and affiliated primary schools, and (ii) "Quality component" which aims to improve quality of education at the school level by placing students' learning (through exam error analysis) at the center. The Project is designed to support MENFP's capacity to support AREF; and AREF's capacity to support Delegation, and Delegation's capacity to support most disadvantaged schools to self-improve. To strengthen this, the two components have a focused approach targeting the most disadvantaged *Bassin Scolaire* (catchment area).

Sustainability is emphasized throughout the Project design by (i) using existing structure and mandate, (ii) starting off with Pilot activities (2 rounds) initiated by JICA, handing over to MENFP from the 3rd round onward. The key features of the Project are as follows;

- Equity (access) component: Resolving access issues (girls' enrolment, transition from primary to lower secondary) in rural areas continues to be a significant challenge where sociocultural values and economic situation of the family become too complex and difficult to handle by school alone. Therefore, the Project will focus on the concept of *Bassin Scolaire*, in which closer collaboration between lower secondary with its affiliated primary schools will be encouraged. The targeted *Bassin Scolaires* are expected to develop school-based enrolment improvement activities as a proposal, to which additional grant will be given by MENFP.
- Quality component: MENFP conducts annual final examination to grant primary and lower secondary students a graduate certificate. These exams are synthesized and administered by Delegation and AREF, then data are aggregated at National Center for Evaluation and Examinations (*Centre Nationale de l'évaluation et des examens: CNEE*), MENFP. Exam result data can be exploited to identify weakness of student learning (thus teacher teaching) of the most

57

Vu

disadvantaged schools to be feedback to school teachers (via inspectors), to strengthen foundational and basic academic skill.

2. The targeted AREFs, Delegations, and Schools

(1) Targeted Regions (AREFs)

8 AREFs in total were selected based on the drop-out rates, rural girls' enrolment, and exam results.

- 1) Chaouia Ourdigha (CO)
- 2) Doukala Abda (DA)
- 3) Gharb Chrarda Beni Hssen (GCBH)
- 4) Marrakech Tensift Al Haouz (MTH)
- 5) Taza Al Hoceima Taounate (THT)
- 6) Oriental
- 7) Tadla Azilal (TA)
- 8) Sous Massa Draa (SMD)

Targeting rounds

Round 1: CO, DA

Round 2: MTH, GCBH

Round 3: remaining 4 AREFs (THT, Oriental, TA, SMD) out of the 8 AREFs

* Round 1&2 are piloting of PEEQ program with JICA assistance, with priority given to the Recipient AREF of BESSP (school construction). Activities in the Round 3 and onwards will be led by MENFP, with JICA providing technical support.

AREF (number of delegation)

	Round 1	Round 2	Round 3	Round 4
MENFP Initiative (with JICA technical support)			AREF 8 (TBD) AREF 7 (TBD)	AREF 8 (TBD) AREF 7 (TBD)
			AREF 6 (TBD) AREF 5 (TBD)	AREF 6 (TBD) AREF 5 (TBD)
JICA Support MENFP (with JICA lead grant)		AREF MTH (2) AREF GCBH (2)	AREF MTH (2) AREF GCBH (2)	
	AREF CO (2) AREF DA (2)	AREF CO (2) AREF DA (2)	AREF CO (2) AREF DA (2)	

* TBD=To be determined

(2) Delegation selection (from AREF)

57

Vu

One or two Delegation(s) with most unfavourable conditions will be selected from each AREF based on the following indicators.

- First year of Primary Enrolment Rate (*Taux d'Inscription en premiere annee de primaire*)
- (In the case when Delegations show the same PER) Transition from primary to lower secondary will be considered

(3) *Bassin Scolaire* Selection (from Delegation)

The targeted *Bassin Scolaire* (BS) for Equity and Quality components will be selected from each Delegation with the criteria and estimated figures mentioned below. One BS each shall be selected with equity and quality selection, then both will be treated with both of equity and quality component.

Selection Category	Equity (Access)	Quality
Indicator to select BS	● Transition Rate from Primary to Lower Secondary (<i>Taux de Transition</i>) of Commune/BS	● Final Exam Score of the Primary Schools (not pass rate)
Number of BS per Delegation	1	1
Lower Secondary per BS*	1	1
Primary per LS*	7	7
Satellite per PS*	3	3
Treatment/Intervention To BS	Equity and Quality component intervention: ⇒ Selected schools are most disadvantaged, anyway ⇒ Equity and access goes hands in hands ⇒ So same two intervention to a school regardless of the selection category ⇒ This is also good for simplification of the intervention for sustainability	

* BS= Bassin Scolaire * LS= Lower Secondary * PS= Primary School

The number of targeted schools is calculated based on the initial estimation. JICA-led piloting stage has 16 Lower Secondary High schools and 112 Primary schools, approximately.

		R1	R2	R3	(R4)
JICA (piloting stage)	# of LS (1 LS per BS)	8	16	16	0
	# of PS (7 PS per BS)	56	112	112	0
	# of satellite (3 satellite/PS) 21 satellites/BS	168	336	336	0
MEN (expanding stage)	# of LS (1 LS per BS)	0	0	16	16
	# of PS (7 PS per BS)	0	0	112	112
	# of satellite (3 satellite/PS) 21 satellites/BS	0	0	336	336
TOTAL	# of LS (=BS)	8	16	32	16
	# of PS (7 PS per BS)	56	112	224	112

	# of satellite (3 satellite/PS)	168	336	672	336
--	---------------------------------	-----	-----	-----	-----

3. Estimation of the Additional Grant for Bassin Scolaire in Equity Component

Suggested size of the additional grant for Equity component

	Unit amount / round	Number of schools	Total amount /BS/Year
Lower Secondary Schools	JPY 80,000 (Eq. MAD 6,826)	1 per / BS	JPY 80,000 (Eq. MAD 6,826)
Primary Schools	JPY 40,000 (Eq. MAD 3,443)	7 per / BS	JPY 280,000 (Eq. MAD 28,392)
Satellite Schools	JPY 40,000 (Eq. MAD 3,443)	3 per / PS (21 / BS)	JPY 840,000 (Eq. MAD 143,354)
JPY 1 = MAD 0.08553 (as of October 2013)			JPY 1,200,000 (Eq. MAD 102,396)

(Remarks) Possibility to involve NGO to administer the additional grant in Equity component shall be considered.

4. Project period and pilot rounds

The concept of PEEQ (as elaborated in the III. (1) Project Overview), activity rounds for each component (equity and quality) are illustrated as shown in ANNEX 3-6.

- (1) Project Period: 48 months
- (2) Pilot Rounds: 3 rounds

5. Responsible organizations/divisions

The Project will involve various stakeholders at the national (MENFP), regional (AREF), and provincial (Delegation) levels. Responsible organizations/divisions (i) to execute, and (ii) to support the executing organization are shown in the MENFP/AREF/DELEGATION organizational charts in the ANNEX 7.

IV. WAY FORWARD

1. Tentative Schedule before Starting the Project

The necessary procedures to be taken before official start of the Project are as follows.

Tentative Timeframe for Preparation

Date	Activities	Responsibility
2 nd Week of November, 2013	Nomination of the JCC members including 8	Moroccan side

	members in charge of the Project	
December, 2013	Signing of the Record of Discussion (R/D)	Moroccan side and JICA
Dec. 2013 - January, 2014	Recruitment process of JICA Experts	JICA
February, 2014	Commencement of the Project	Moroccan side and JICA

Note: The above schedule depends on the progress of the preparation of both parties.

57

V_u

Project Design Matrix

Project Title: Promoting Education with Equity and Quality (PEEQ)

Executing Bodies: Ministry of Education and Vocational Training (*Ministere de l'Education Nationale et de la Formation Professionnelle: MENFP*), Regional Education Office (*Académie Régionale d'Education et de Formation :AREF*), Provincial Education Office (*Délégation*)

Target Group: MENFP, AREF and Delegation Personnel (approximately 280 personnel) and 240 disadvantaged schools within 32 Bassin Scolaire

Target Area: 8 Regions (Chaouia Ourdigha (CO), Doukala Abda (DA), Gharb Chrarda Beni Hssen (GCBH), Marrakech Tensift Al Haouz (MTH) Taza Al Hoceima Taounate (THT), Oriental, Tadla Azilal (TA), Sous Massa Draa (SMD))

Duration: Four (4) years

Narrative Summary	Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumptions
Overall Goal: The PEEQ activity is disseminated to other schools within / beyond targeted Regions (AREFs) in Morocco.	Number of targeted schools in the extended areas	Report by MENFP and AREF	Decentralization in Morocco continues to be included in the Education Strategy.
Project Purpose: MENFP is able to support initiatives of AREF to mitigate educational disparity	Framework of MENFP's support for AREF is prepared	Project Progress Report, Activity reports, AREF annual report	Budget plan (including PEEQ measure) is approved
Outputs: 1. Measures to mitigate school disparities in learning achievement are tried out and set	Executing guidelines is developed Changes in repetition Changes in student scores in the identified areas that students do not perform well	Project Activity Report	MENFP and AREF Officers do not change
2. Measures to mitigate school disparities in enrolment are tried out and set	Executing guidelines is developed Changes in primary – junior secondary retention and girls enrolment)	Project Activity Report	
3. AREF is ready to continue the measures, and MENFP is ready to disseminate the measures to other Regions.	Replication plan is developed Responsible person in charge has clear understandings what to do next	Replication Plan	

57

<p><u>Activities:</u></p> <p>1-1 Study current practice of student assessment at school, Delegation, AREF and MENFP</p> <p>1-2 Identify lower secondary schools that need interventions to narrow its gap in student achievement. (Restoring basic academic skill)</p> <p>1-3 MENFP/AREF in collaboration analyze exam result to identify areas students do not perform well and its reasons, with a focus on basic academic skill of students</p> <p>1-4 Devise and try-out intervention to restore basic academic skill of students (e.g. self-learning material) (Pedagogical guidance)</p> <p>1-5 MENFP/AREF in collaboration synthesize effective pedagogical approach/technique to improve student learning</p> <p>1-6 Inspector in charge introduce the approaches/techniques as a part of their routine inspection work</p> <p>1-7 Teachers at the identified schools revise and implement lesson plan accordingly (Facilitating learning organization)</p> <p>1-8 Inspectors in charge report the progress at its routine meeting</p> <p>1-9 Japanese experts conduct learning/briefing session for MENFP personnel</p> <p>1-10 MENFP personnel facilitate learning/briefing session for AREF/Delegation</p> <p>2-1 Study current practice of enrolment campaign and support for disadvantaged schools</p> <p>2-2 Identify lower secondary schools that need interventions to narrow its gap to others in enrolment (primary – lower secondary transition and girls enrolment)</p> <p>2-3 Hold orientation meeting for identified lower secondary schools and its affiliated primary schools to organize campaign teams</p> <p>2-4 The teams propose action plan (e.g. campaign activities, school activities, small-scale rehabilitation, and equipment/material provision to attract parents/students)</p> <p>2-5 AREF provides grant to implement the plan</p> <p>2-6 The team / school implements the plan</p> <p>2-7 AREF /Delegation inspectors monitor and evaluate implementation</p> <p>3-1 AREF develops dissemination plan within the region</p> <p>3-2 AREF revise TOR of related personnel to implement PEEQ activities</p> <p>3-3 MENFP develops nationwide dissemination plan</p> <p>3-4 MENFP revise TOR of related personnel to implement PEEQ activities</p> <p>3-5 Japanese experts support MENFP and AREF to prepare their budget to finance PEEQ activities</p> <p>3-6 Conduct workshop inviting a wider stakeholders</p>	<p><u>Inputs:</u></p> <p>1. <u>Moroccan side:</u></p> <p>(1) Office space and facilities necessary for the Project</p> <p>(2) Assignment of Project Director, Manager, Coordinator</p> <p>(3) Assignment of other key counterparts</p> <p>(4) Necessary budget for the 2 main components of the Project</p> <p>(5) Administrative cost for smooth implementation of the Project</p> <p>2. <u>Japanese side:</u></p> <p>(6) Dispatch of experts</p> <p>(7) Training of counterpart personnel in Japan</p> <p>(8) Provision of office equipment and materials</p> <p>(9) Expenses of Project activities</p>	<p>There's no policy change in inspector's role.</p> <p>Preconditions: Moroccan education strategy / mid-term plan PAMT (2013-2016) don't change.</p>
---	---	---

✓

65

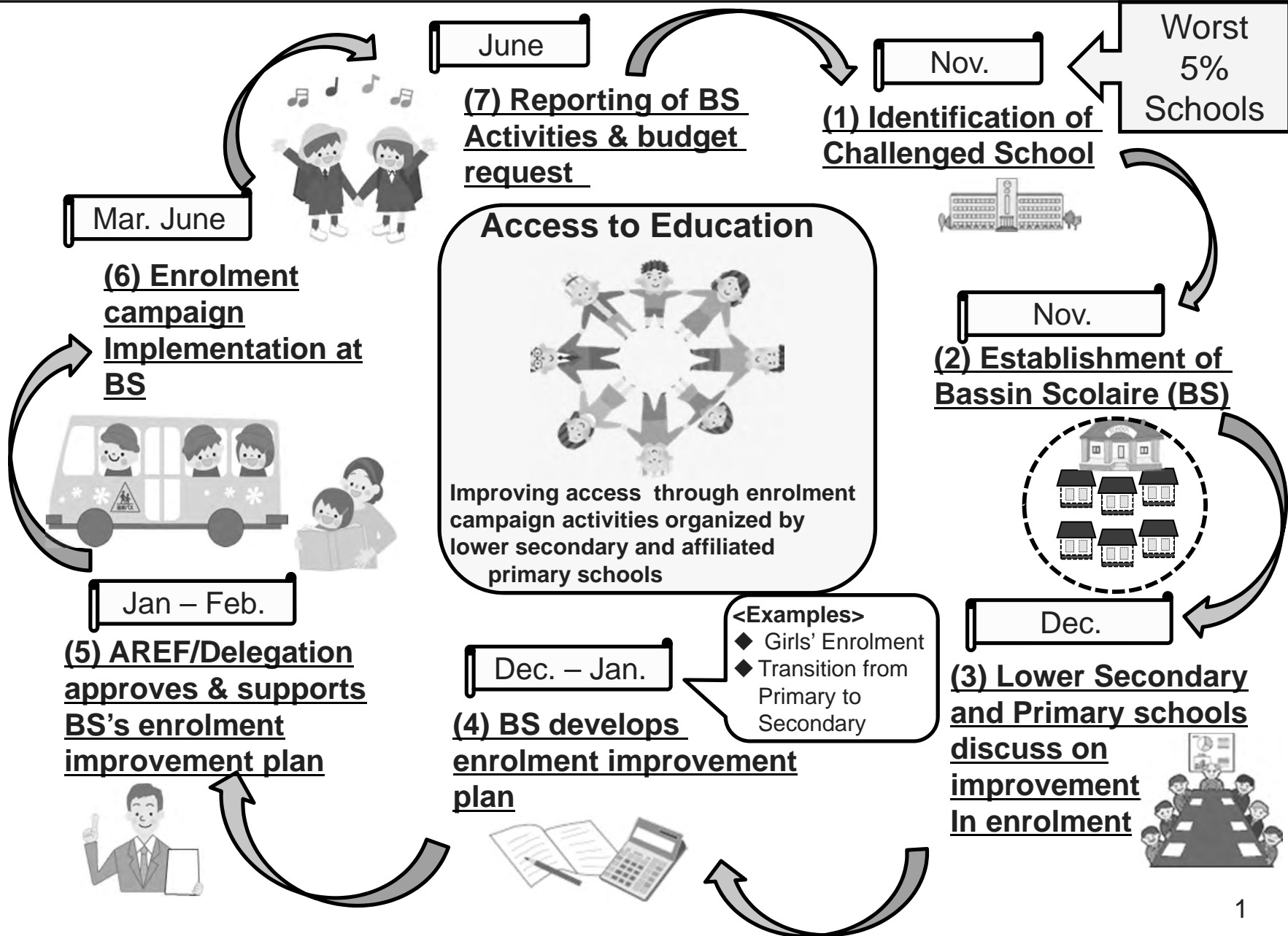
ANNEX 2. TENTATIVE PLAN OF OPERATION

		2014				2015				2016				2017				2018										
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	
1. Measures to mitigate school disparities in learning achievement/MENFP are tried out and set	1-1	Study current practice of student assessment at school, Delegation, AREF and MENFP	■	■	■																							
	1-2	Identify lower secondary schools that need interventions to narrow its gap in student achievement		■					■												■							
	<Restoring basic academic skill>																											
	1-3	MENFP/AREF in collaboration analyze exam result to identify areas students do not perform well and its reasons, with a focus on basic academic skill of students			■					■											■							
	1-4	Devise and try-out intervention to restore basic academic skill of students (e.g. self-learning material)			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	<Pedagogical guidance>																											
	1-5	MENFP/AREF in collaboration synthesize effective pedagogical approach/technique to improve student learning			■						■	■									■							
	1-6	Inspector in charge introduce the approaches/techniques to teachers as a part of their routine inspection work																										
	1-7	Teachers at the identified schools revise and implement lesson plan accordingly																										
	<Facilitating learning organization>																											
1-8	Inspectors in charge report the progress at its routine meeting																											
1-9	Japanese experts conduct learning/briefing session for MENFP personnel	●		●		●		●	●		●	●		●	●		●	●		●	●		●	●		●	●	
1-10	MENFP personnel facilitate learning/briefing session for AREF Delegation																											
2. Measures to mitigate school disparities in enrollment are tried out and set	2-1	Study current practice of enrolment campaign and support for disadvantaged schools	■	■	■																							
	2-2	Identify lower secondary schools that need interventions to narrow its gap to others in enrolment (primary - lower secondary transition and raise enrolment)			■																■							
	2-3	Hold orientation meeting for identified lower secondary schools and its affiliated primary schools to organize campaign team			■																■							
	2-4	The teams propose action plan (e.g. campaign activities, school activities, small-scale rehabilitation, and equipment/material provision to attract parents/students)			■																■							
	2-5	AREF provides grant to implement the plan								●											●							
	2-6	The team / school implements the plan																										
	2-7	AREF / Delegation inspectors monitor and evaluate implementation																										
3. AREF is ready to continue the measures, and MEN is ready to disseminate the measures to other Regions.	3-1	AREF develops dissemination plan within the region																										
	3-2	AREF revise TOR of related personnel to implement PEEQ activities																										
	3-3	MENFP develops nationwide dissemination plan																										
	3-4	MENFP revise TOR of related personnel to implement PEEQ activities																										
	3-5	Japanese experts support MENFP and AREF to prepare budget to finance PEEQ activities																										
	3-6	Conduct workshop involving a wider stakeholders								●												●						●

16

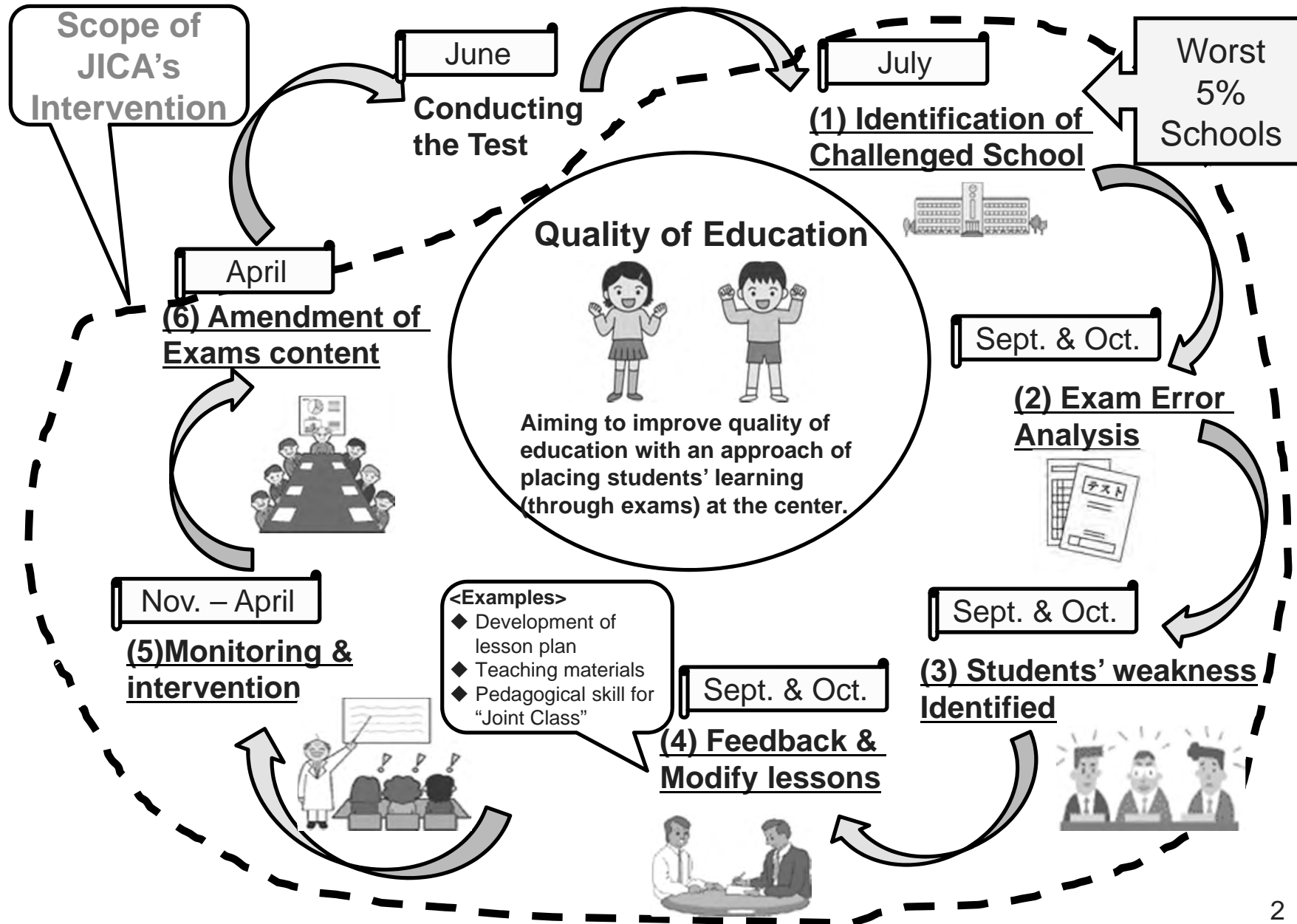
Basic concept of “Equity Component Activities”

ANNEX 3



Basic concept of “Quality Component Activities”

ANNEX 4



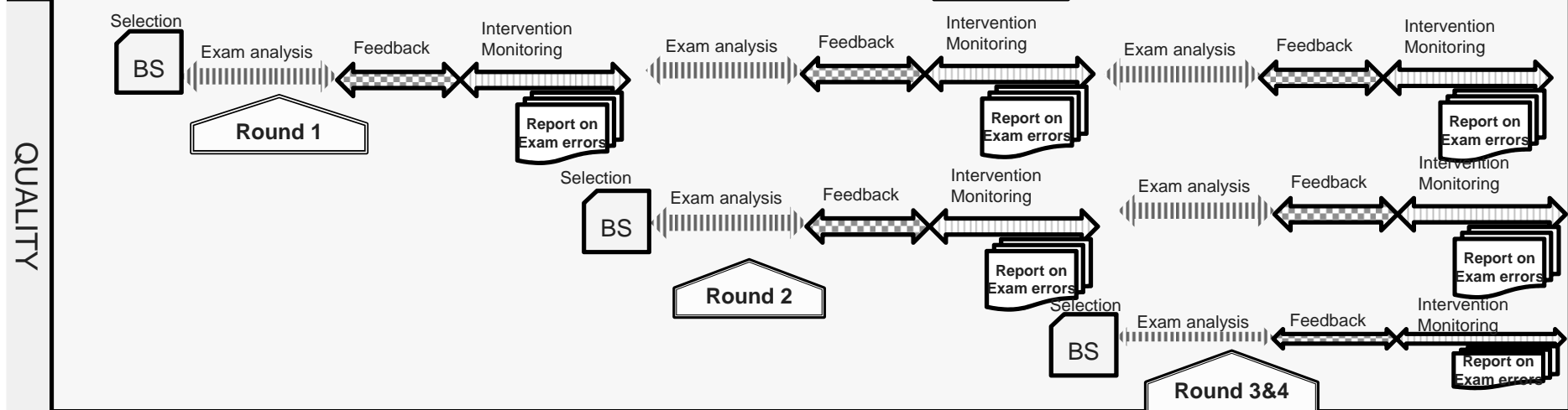
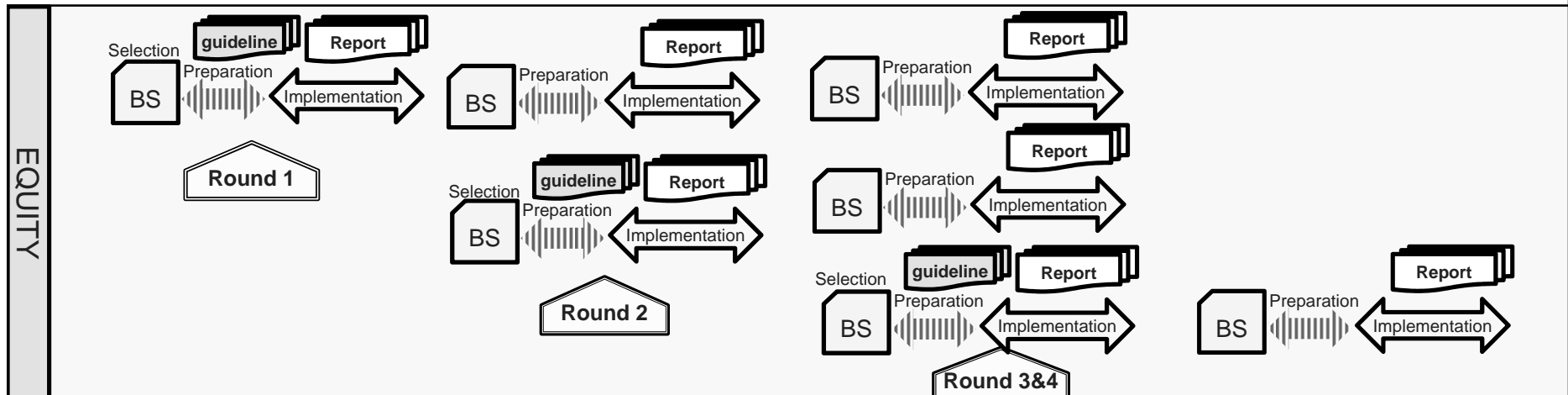
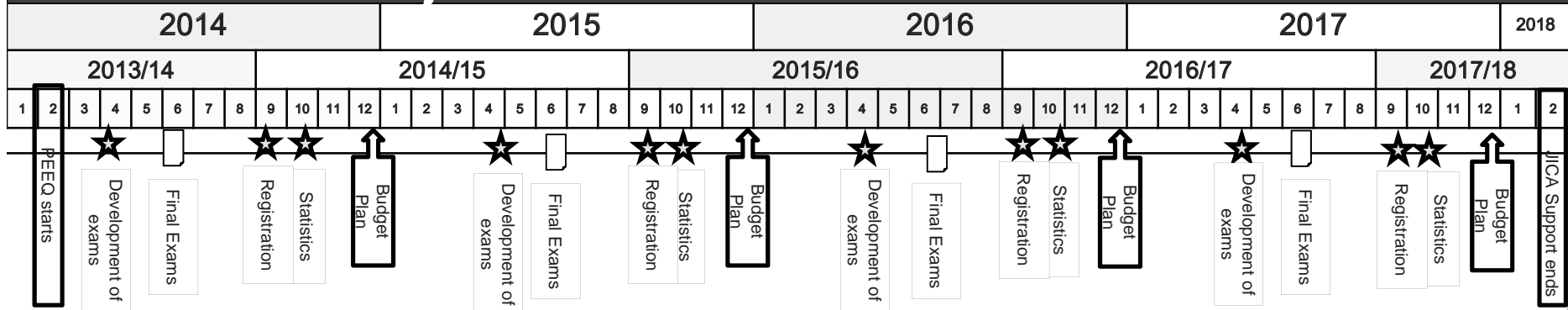
Target Area and Extension Plan

ANNEX 5

		Round 1	Round 2	Round 3	Round 4
MEN Initiative (with JICA technical support)				AREF 8 TBD AREF 7 TBD	AREF 8 TBD AREF 7 TBD
				AREF 6 TBD AREF 5 TBD	AREF 6 TBD AREF 5 TBD
			AREF GCBH 2 Delegations AREF MTH 2 Delegations	AREF GCBH 2 Delegations AREF MTH 2 Delegations	
		AREF DA 2 Delegations AREF CO 2 Delegations	AREF DA 2 Delegations AREF CO 2 Delegations	AREF DA 2 Delegations AREF CO 2 Delegations	
JICA Support MEN (JICA lead fund)					
		2014	2015	2016	2017
					2018

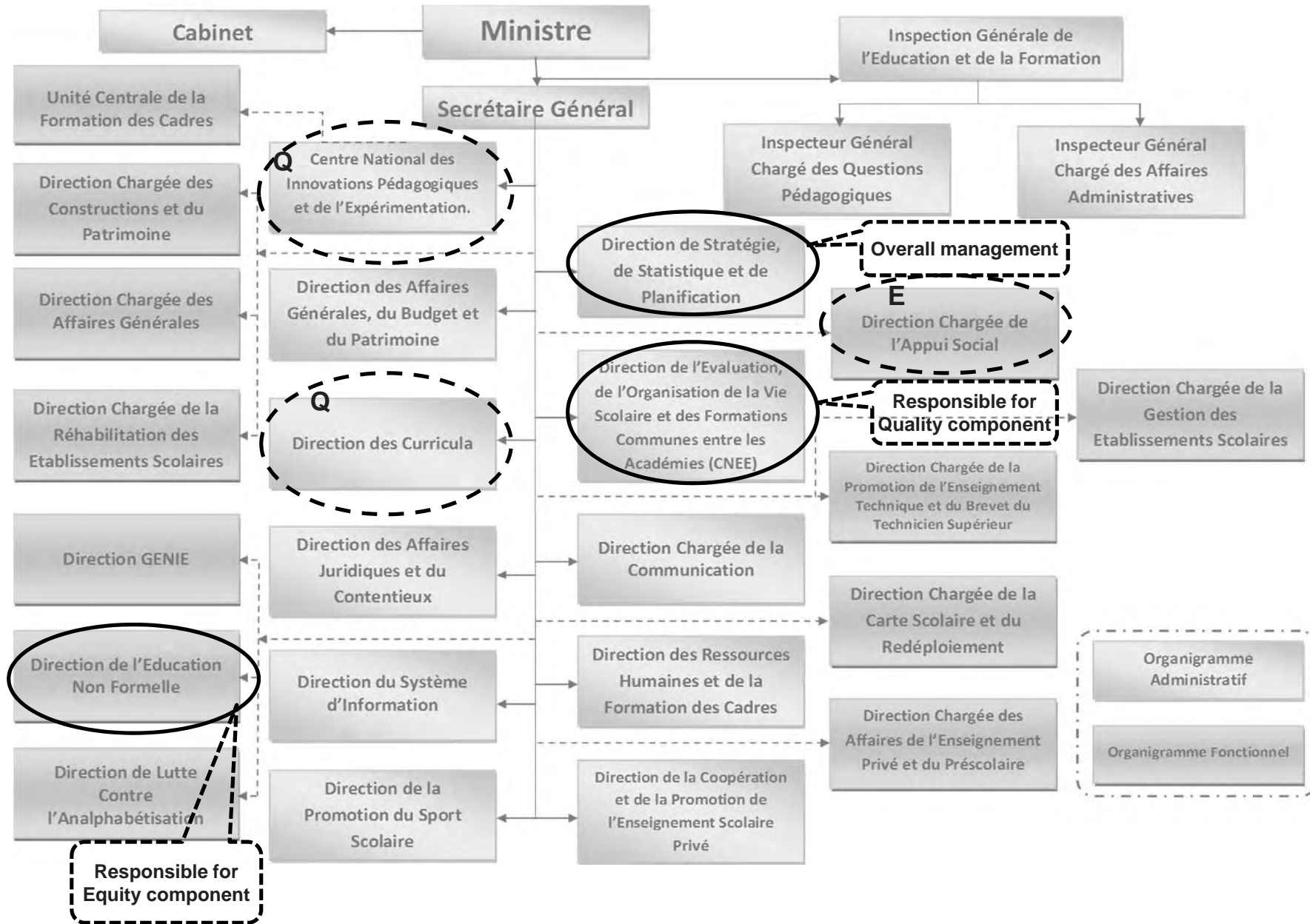
Calendar of the Project

ANNEX 6



Project Implementation Structure

ANNEX 7



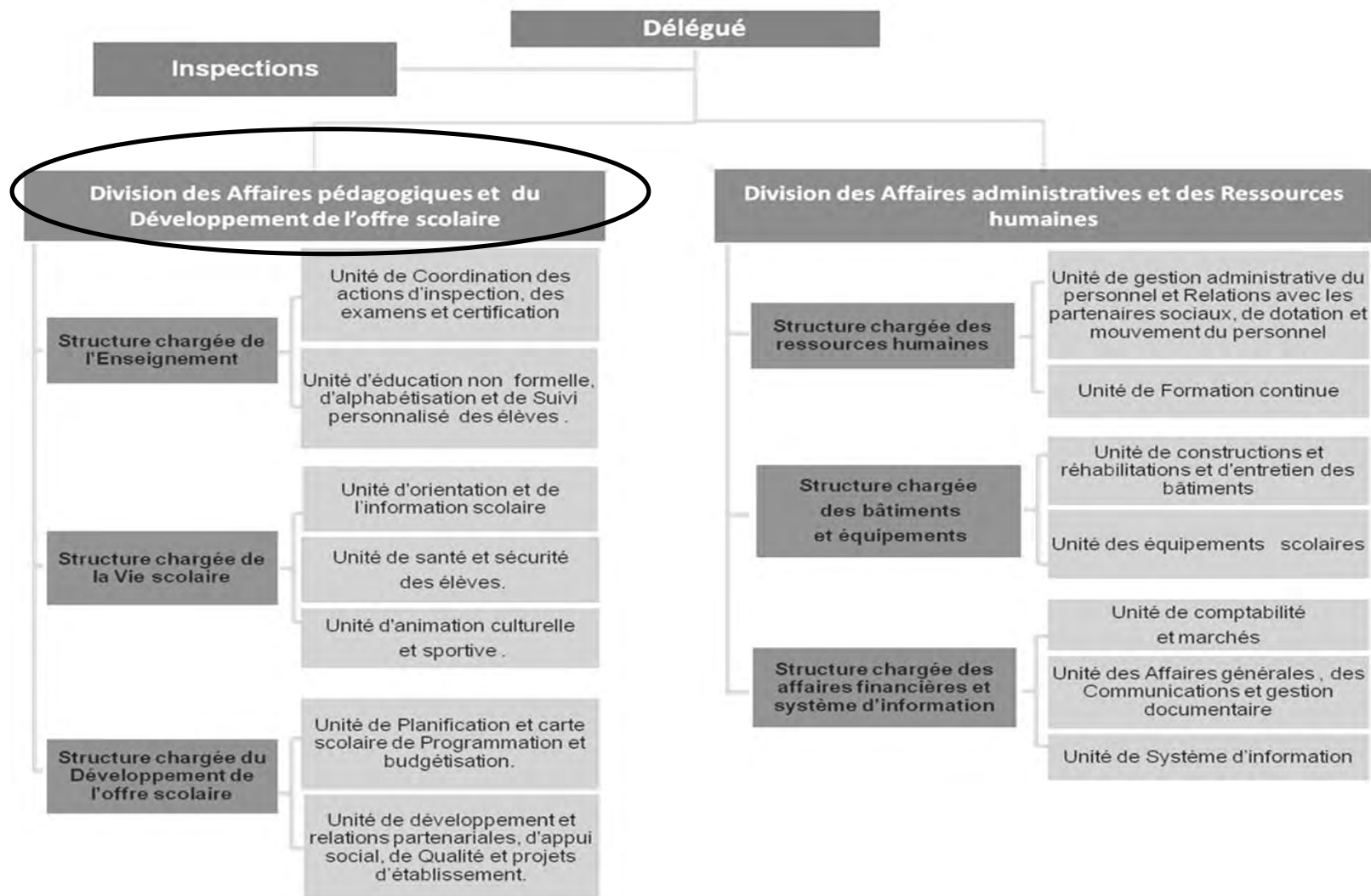
Implementation Structure (for AREFs)

Marrakech Tensift Al Haouz (as a sample)

* The "Pedagogie Unit" will be in charge

	Directeur	
Secrétariat Particulier	Secrétariat Technique	PMO
Audit Interne	Bureau d'ordre	Secrétariat du conseil administratif
Division de la gestion des ressources humaines et des affaires administratives et financières	Division des affaires pédagogiques	Division de la carte scolaire de l'information et de l'orientation
Service du budget, équipement et patrimoine	Service des examens	Service de la carte scolaire de l'information et de l'orientation
Agence Comptable	CRDAP	Service de statistiques et informatiques
Contrôle d'Etat	Service de l'éducation non formelle et la lutte contre l'analphabétisme	CRIAO
Services des ressources humaines et communication	Service de l'enseignement préscolaire et de l'enseignement privé (Inspecteur)	
Centre régional de la formation continue	Centre régional du matériel didactique	

Implementation Structure (for Delegations)



ANNEX 8: Attendance List

THE MOROCCAN SIDE

Ministry of Education and Vocational Training (MENFP)

Mr. Abdelaziz Guedari	Director, Directorate of Strategy, Statistics, and Planning
Mr. Abdelhaq Ghouli	Chief, Planning Division à la DSSP
Mr. Tazi Malak	Chef de Service à la Direction de la Coopération
Mr. Ahmed Chaibi	Chief, Evaluation Division au CNEE
Mr. El Houssaine Ou Hssata	Chief, Division of Audio-visuals, CNIPE
Mr. Rachid Elamrani	Chief, Manual Division, Direction of Curricula
Mr. Ali Allouch	Chief, DETV
Mr. Abdelfadil Khayati	Chef de Service au CNEE
Mr Ahmed Mahroug	Cadre de la DSSP chargé du dossier JICA
Mr. Mahfoudi El Hassane	Chief de Division à l'ENF
Mr. Belarbi Dalila	Cadre à l'UCFC
Mr. El Iraqi Bouhaira	Chief, Service, DSSP

THE JAPANESE SIDE

JICA Preparatory Survey Team

Mr. Shinichiro Tanaka	Senior Advisor, JICA
Ms. Akiko Komori	Officer in charge, Basic Education Division II, Human Development Department, JICA

JICA Morocco Office

Mr. Koichi Shoji	Chief Representative
Mr. Motoharu Wakabayashi	Senior Representative
Mr. Takashi Yukizawa	Programme Officer in charge
Ms. Benhaddou Ouidad	Programme Officer in charge

SD

Vu

別添4 : 対象州 (4AREF) , 県 (Delegation) の教育指標

AREF (州)	Délegation (県)	Taux Net de Scolarisation (Filles) 女子の純就学率						Taux de Transition Primaire au Collégial 初等から中等への進学率								
		Primaire 初等			Collégial 前期中等			Urbain 都市部			Rural 地方部			Ensemble 全国		
		U 都市部	R 農村部	Total 合計	U 都市部	R 農村部	Total 合計	Filles 女子	Garçons 男子	Total 合計	Filles 女子	Garçons 男子	Total 合計	Filles 女子	Garçons 男子	Total 合計
D.A	El Jadida	98.2%	106.5%	103.4%	97.8%	30.6%	52.4%	151.6%	158.3%	155.1%	59.7%	65.4%	62.9%	84.7%	87.6%	86.3%
	Safi	91.5%	115.3%	103.3%	83.3%	22.8%	53.3%	118.9%	113.8%	116.3%	38.2%	58.4%	49.5%	76.1%	82.0%	79.3%
	Sidi Bennour	94.1%	98.9%	97.6%	122.8%	28.7%	42.9%	234.5%	301.5%	267.3%	53.1%	61.0%	57.4%	76.8%	86.3%	82.0%
	Youssoufia	86.0%	93.9%	90.8%	74.4%	14.6%	39.1%	119.8%	133.9%	126.9%	31.1%	47.9%	41.0%	69.8%	78.3%	74.6%
	Total AREF	93.3%	104.8%	100.5%	90.4%	26.4%	48.8%	139.1%	145.8%	142.5%	49.5%	60.4%	55.6%	78.3%	84.4%	81.6%
C.O	Benslimane	100.9%	100.0%	100.4%	93.1%	36.9%	62.8%	118.6%	122.1%	120.5%	56.6%	57.5%	57.1%	84.8%	85.6%	85.3%
	Khouribga	99.8%	99.7%	99.9%	90.6%	42.2%	75.0%	111.9%	108.4%	110.1%	68.2%	77.2%	73.1%	96.8%	96.6%	96.7%
	Settat	102.9%	99.7%	100.4%	105.6%	17.9%	44.7%	151.9%	179.6%	165.9%	33.2%	45.1%	39.7%	69.3%	81.4%	75.8%
	Berrechid	118.1%	100.3%	110.1%	111.4%	10.2%	63.0%	158.2%	169.5%	164.1%	18.9%	30.1%	25.0%	90.0%	98.3%	94.5%
Total AREF	105.6%	99.9%	102.6%	99.5%	23.1%	60.0%	132.7%	140.5%	136.7%	40.2%	50.0%	45.6%	84.4%	90.4%	87.6%	
G.C.B.H	Kenitra	87.0%	126.7%	105.8%	71.8%	29.9%	51.0%	114.4%	118.1%	116.3%	54.3%	64.7%	60.0%	81.1%	86.5%	83.9%
	Sidi Kacem	95.3%	118.5%	110.8%	106.0%	30.9%	53.1%	145.8%	160.9%	153.4%	51.6%	58.0%	55.0%	79.6%	85.2%	82.6%
	Sidi Slimane	111.3%	102.4%	105.6%	101.4%	26.7%	55.2%	132.4%	137.3%	134.9%	47.1%	46.9%	47.0%	81.7%	82.4%	82.0%
	Total AREF	92.1%	119.5%	107.2%	82.9%	29.7%	52.3%	125.0%	131.5%	128.3%	52.1%	59.3%	56.0%	80.7%	85.4%	83.2%
M.T.H	Al Haouz	99.3%	100.2%	99.5%	112.3%	19.0%	28.0%	157.0%	205.8%	182.0%	40.5%	53.5%	47.9%	55.3%	69.0%	63.0%
	Chichaoua	94.4%	92.5%	92.2%	96.2%	13.2%	23.1%	144.7%	188.1%	167.6%	28.6%	42.4%	36.4%	45.6%	61.2%	54.3%
	El Kelaa des Sraghna	111.4%	94.7%	98.4%	99.3%	24.3%	42.9%	130.1%	139.9%	135.3%	43.9%	57.9%	51.6%	68.1%	79.1%	74.1%
	Essaouira	98.6%	98.1%	97.7%	92.3%	16.5%	30.5%	113.0%	133.2%	123.2%	31.1%	49.0%	41.4%	48.2%	62.7%	56.4%
	Marrakech	93.7%	185.8%	112.0%	74.8%	70.8%	74.2%	111.1%	109.1%	110.1%	65.0%	79.1%	72.5%	96.2%	98.3%	97.3%
	Rehamna	108.2%	83.6%	89.3%	98.4%	17.7%	38.3%	136.0%	141.7%	139.0%	36.3%	52.6%	45.2%	66.9%	77.8%	72.8%
Total AREF	97.1%	103.7%	101.0%	82.7%	23.1%	45.4%	119.6%	127.4%	123.5%	41.3%	55.5%	49.2%	69.7%	77.9%	74.2%	
T.H.T	Al Houceima	78.8%	71.0%	72.9%	69.7%	15.1%	30.1%	115.5%	109.2%	112.2%	46.7%	69.0%	58.5%	70.4%	82.5%	76.8%
	Taounate	123.1%	98.3%	100.3%	127.2%	23.3%	33.5%	143.3%	179.0%	162.4%	46.4%	56.6%	52.2%	60.8%	72.6%	67.5%
	Taza	89.0%	84.4%	85.7%	88.6%	21.0%	43.7%	127.1%	134.4%	131.0%	42.2%	54.7%	49.3%	72.3%	80.1%	76.6%
	Guercif	110.3%	82.9%	93.8%	90.0%	13.3%	44.9%	108.5%	132.7%	121.2%	26.6%	38.6%	33.6%	66.9%	79.4%	73.8%
Total AREF	95.5%	87.2%	88.9%	89.6%	20.1%	37.0%	123.8%	137.3%	130.9%	43.6%	56.4%	50.8%	66.9%	77.4%	72.7%	
Oriental	Berkane	96.9%	93.9%	95.9%	93.3%	36.4%	70.9%	109.9%	102.3%	105.9%	47.3%	47.8%	47.6%	85.9%	80.5%	83.0%
	Figuig	51.3%	83.6%	69.0%	45.0%	34.9%	39.6%	107.6%	100.4%	103.6%	67.9%	72.1%	70.3%	83.4%	83.0%	83.2%
	Jerada	86.0%	94.9%	89.5%	71.5%	25.2%	55.5%	119.2%	112.7%	115.7%	34.1%	42.6%	38.9%	87.0%	84.3%	85.5%
	Nador	95.6%	105.2%	98.7%	68.6%	21.9%	54.3%	107.9%	118.5%	113.4%	35.4%	38.9%	37.3%	84.0%	89.8%	87.1%
	Oujda Angad	101.5%	87.4%	100.7%	91.2%	7.6%	84.0%	109.1%	107.7%	108.4%	11.6%	6.9%	9.1%	100.3%	98.3%	99.3%
	Taourirt	95.0%	97.2%	95.9%	74.9%	5.7%	51.7%	103.6%	113.3%	108.8%	10.7%	19.4%	15.8%	76.7%	83.2%	80.3%
	Drïouch	83.2%	66.6%	69.8%	67.7%	17.2%	27.0%	114.0%	135.8%	125.8%	44.6%	57.7%	51.9%	61.0%	75.2%	68.9%
	Total AREF	94.2%	87.5%	92.0%	78.7%	21.5%	58.3%	108.9%	111.8%	110.4%	39.1%	45.0%	42.4%	84.9%	87.0%	86.0%
T.A	Azilal	68.7%	98.2%	92.9%	56.6%	27.5%	32.1%	113.7%	142.4%	128.3%	51.3%	60.4%	56.6%	61.3%	70.7%	66.6%
	Beni Mellal	86.5%	112.0%	97.2%	85.0%	47.2%	68.5%	110.4%	110.1%	110.2%	67.6%	68.3%	68.0%	90.0%	89.0%	89.5%
	Fkih ben Salah	99.9%	99.5%	99.5%	82.0%	40.6%	56.6%	111.3%	117.2%	114.4%	61.7%	69.1%	65.8%	80.4%	85.7%	83.3%
	Total AREF	87.7%	101.5%	96.2%	79.1%	35.5%	51.1%	111.2%	117.2%	114.3%	58.8%	64.9%	62.2%	77.5%	81.3%	79.6%
S.M.D	Agadir Ida Outanane	79.7%	178.9%	98.1%	65.2%	72.4%	66.7%	108.9%	99.4%	103.9%	66.4%	71.6%	69.2%	93.1%	88.4%	90.6%
	Chtouka Ait Baha	106.5%	114.1%	112.4%	102.6%	37.5%	46.0%	158.6%	171.8%	165.6%	61.3%	73.9%	68.0%	73.4%	86.1%	80.1%
	Inzegane Ait Melloul	89.6%	495.8%	98.8%	71.8%	278.3%	76.8%	118.8%	114.2%	116.4%	32.8%	38.7%	35.8%	94.9%	93.0%	93.9%
	Ouarzazate	74.3%	98.0%	90.4%	68.9%	29.3%	40.7%	119.5%	120.6%	120.1%	49.9%	60.0%	55.3%	65.7%	73.7%	69.9%
	Taroudant	109.5%	95.2%	98.1%	91.9%	19.8%	36.1%	120.5%	130.3%	125.6%	40.6%	57.3%	49.6%	62.7%	76.2%	69.9%
	Tiznit	134.7%	77.1%	92.7%	104.3%	27.0%	47.0%	106.8%	99.9%	99.9%	49.0%	71.8%	61.1%	67.8%	80.0%	74.4%
	Zagoura	104.9%	80.6%	83.5%	111.9%	36.6%	46.4%	130.6%	111.0%	120.4%	46.8%	54.3%	50.7%	58.2%	62.0%	60.2%
	Sidi Ifni	99.6%	76.3%	79.7%	78.4%	22.8%	31.5%	99.5%	111.3%	105.6%	48.6%	66.6%	58.4%	58.7%	74.6%	67.3%
	Tinghir	90.7%	84.2%	85.1%	75.9%	33.1%	42.2%	108.6%	120.0%	114.4%	54.5%	65.3%	60.2%	65.6%	76.0%	71.1%
Total AREF	91.2%	97.5%	94.7%	76.3%	31.8%	49.3%	116.9%	114.5%	115.7%	49.2%	61.4%	55.7%	72.4%	79.1%	76.0%	

Tableau sur l'état d'avancement des livrables relatifs aux mesures de politique sectorielle retenues au titre du prêt de la JICA (1/4)

Objectif	Mesure de la JICA	Titre des livrables	Etat d'avancement Au 31 décembre 2012	Indicateur de résultat	Valeur référence et cible ¹	Etat d'avancement au 2014 ²
RENDRE EFFECTIVE L'OBLIGATION DE SCOLARITE JUSQU'A L'AGE DE 15 ANS						
Réduire le redoublement et le décrochage scolaire [E1.P5] ³ Responsable : DENF (Direction de l'Education Non Formelle)	JICA1 : Renforcer le concept de suivi à l'école ainsi que les mécanismes d'appui pour l'amélioration de l'enseignement et du processus d'apprentissage	(1-1-1) Programme d'urgence, Espace 1 : <i>Rendre Effective l'obligation de la scolarité jusqu'à l'âge de 15 ans, Projet 5 : Lutte contre le redoublement et le décrochage scolaire Rapport 2011-2012</i> (Octobre 2012)	(1)Atteint Le MEN, Direction de l'Education Non Formelle, a soumis un rapport sur le projet E1P5 intitulé <i>Programme d'urgence, Espace 1 : Rendre Effective l'obligation de la scolarité jusqu'à l'âge de 15 ans, Projet 5 : Lutte contre le redoublement et le décrochage scolaire Rapport 2011-2012</i> (Octobre 2012). Ce rapport résume les réalisations et contraintes du projet E1P5. Etablir une analyse globale de la problématique de redoublement et d'abandon scolaire et celle de l'impact (réalisations, défis) des 3 mesures du projet, y compris celui de la distribution du dispositif de suivi personnalisé des élèves et de l'exploitation du livret de suivi personnalisé des élèves.	1.1 Taux d'abandon au primaire et au secondaire collégial	Référence (2013) : Primaire : 1,94% Sec Collégial : 9,3% Cible (2016-2017): Primaire : 2.1% Sec Collégial : 5.6%	Année scolaire en cours, statistiques pas encore disponibles. /
		(1-2-1) Feuille de route du projet de lutte contre le redoublement et le décrochage scolaire 2012-2013	(1) Atteint La feuille de route du projet de lutte contre le redoublement et le décrochage scolaire expose les réalisations du projet E1P5 et les défis restants, et propose un Plan d'Action pour 2013, spécifiant les directions responsables et le budget nécessaire. Pour une utilisation efficace du Livret de suivi scolaire (qui est une composante du projet E1P5), les actions suivantes sont proposées : renforcement des compétences du personnel des cellules de veille, amélioration du guide de suivi pour enseignants, sensibilisation à la problématique de l'abandon scolaire), etc.	1-2.Le nombre des bénéficiaires du soutien pédagogique	Référence (2013): Primaire : 500 000 Sec Collégial : 200 000 Cible (2016-2017): Primaire : 300 000 Sec collégial : 100 000	Année scolaire en cours, statistiques pas encore disponibles.

¹ Les indicateurs cible seront ceux affichés sur le PAMT 2013-2016² La vérification des indicateurs sera effectuée conformément aux stipulations de l'Accord de Prêt³ Référence au code de projet du « Programme d'urgence 2009-2012 »

Tableau sur l'état d'avancement des livrables relatifs aux mesures de politique sectorielle retenues au titre du prêt de la JICA (2/4)

Objectif	Mesure de la JICA	Titre des livrables	Etat d'avancement Au 31 décembre 2012	Indicateur de résultat	Valeur référence et cible ¹	Etat d'avancement au 2014 ²
RENDRE EFFECTIVE L'OBLIGATION DE SCOLARITE JUSQU'A L'AGE DE 15 ANS						
<p>Amélioration de la qualité de la vie scolaire. [E1.P12] Responsable : DVS (Direction de la Vie Scolaire)</p> <p>Promouvoir et renforcer la culture de la gestion axée sur les résultats [E3.P4] Responsable : DSSP (Direction de Stratégie, des Statistiques et de Planification)</p>	<p>JICA2 : Assurer la mise en œuvre effective du 'projet d'établissement' en se basant sur le nouveau concept.</p>	<p>(2-1-1) Guide procédure 2011 (2-1-2) Guide référence 2011 (2-1-3) Stratégie Nationale du Projet d'Etablissement, Résumé Synthétique, juillet 2011</p>	<p>(1) Atteint La nouvelle stratégie est stipulée dans la première partie du <i>guide référence 2011</i> (en Arabe), établi en Mai 2011. La stratégie se base sur l'analyse des expériences passées, y compris BEIP/JICA, et souligne les bases suivantes du projet d'établissement (PE): (1) intégralité; tous les projets cités dans le PU doivent être représentés (2) complémentarité et homogénéité ; les projets doivent être complémentaires (3) fonctionnalité ; les activités doivent être réalisables, permettre l'amélioration des indicateurs et l'augmentation de la rentabilité de l'éducation au niveau de l'établissement scolaire (4) ouverture de l'établissement sur son environnement (5) approche participative (6) dynamisme, mise à jour du projet (7) documentation, prévoir des rapports de projet et des fiches techniques pour permettre un meilleur partage des informations. Le guide procédure 2011 (en Arabe) (planification, évaluation) du projet d'établissement est établi. C'est un guide opérationnel et mis à jour.</p> <p>(1) Atteint La grille d'évaluation de l'éligibilité d'un projet d'établissement, constituée de 24 critères, a été établie, comme stipulé dans la <i>Dynamique des Projets D'établissement, Rapport de Synthèse</i>, établi en Octobre 2012.</p>	<p>2-1 Rapport de revue des Directives pour le développement du guide relatif à la mise en œuvre du PE, y compris son financement en se basant sur les recommandations issues de l'évaluation sur l'application du PE (partie financière).</p> <p>2-2 Nombre de Chef d'Etablissement qui ont bénéficié d'une formation sur le PE</p>	<p><i>Elaboration d'un recueil de procédures de gestion du PE, basé sur les besoins exprimés des coordonnateurs de CPP en mai 2013.</i></p> <p>Référence 2013 : <i>guide procédures 2011 et Guide référence 2011</i></p> <p>Cible 2016-2017 : <i>recueil de procédures de gestion du PE</i></p> <p>Référence (2013) : <i>52% des directeurs (environ 5000 directeurs) ont été formés par les coordonnateurs de CPP.</i></p> <p>Cible (2016-2017) : <i>100% de directeurs formés.</i></p>	<p>Février 2014 constitution d'un groupe de travail sur le recueil qui sera ensuite soumis à consultation.</p> <p>2014 : 80% des directeurs formés.</p> <p>Février 2014 : 502 CPP instaurés (1 CPP couvre 20 à 24 établissements)</p> <p>Février 2014 : tableau de bord en voie d'achèvement, y compris les indicateurs de suivi, et l'architecture du site web en place.</p>
		<p>(2-2-1) <i>Dynamique des Projets D'établissement - Rapport de Synthèse-p.19</i></p> <p>(2-3-1) <i>Plan de formation et directives pour les directeurs des établissements sur le PE</i></p>	<p>(1) Atteint La formation sur le projet d'établissement est envisagée dans le cadre des modules prévus pour la mise en œuvre du « Projet d'Appui à la Gestion Scolaire au Maroc (PAGESM) » depuis Avril 2012. Le plan de formation a été établi dans le but de développer les compétences des directeurs des établissements et des gestionnaires impliqués dans le PE. Le plan est finalisé avant le 31 décembre 2012.</p>	<p>2-3. Nombre de CPP instaurés</p> <p>2-4. Dispositif suivi évaluation des PE instaurés</p>	<p>Référence (2013) : <i>497 CPP instaurés</i></p> <p>Cible (2016-2017) : <i>510</i></p> <p>Référence 2013 : <i>réflexion en cours</i></p> <p>Cible 2016/2017 : <i>Dispositif de suivi évaluation opérationnel</i></p>	

Tableau sur l'état d'avancement des livrables relatifs aux mesures de politique sectorielle retenues au titre du prêt de la JICA (3/4)

Objectif	Mesure de la JICA	Livrable	Action préalable BESSP (Etat d'avancement Au 31 décembre 2012)	Indicateur de résultat	Valeur référence et cible	Etat d'avancement 2014
AFFRONTER LES PROBLÉMATIQUES TRANSVERSALES DU SYSTÈME						
Renforcer le dispositif organisationnel, pédagogique et technique de la formation initiale et la formation continue [E3P1]". <i>Responsable : DFC (Direction de la Formation Continue)</i>	JICA3 : Elaboration et formalisation des modalités organisationnelles, pédagogiques et techniques de la mise en place opérationnelle des centres régionaux des métiers de l'éducation et de la formation (CRMEF).	(3-1-1) <i>Textes législatifs CRMEF 2012</i> (3-1-2) <i>Fiche technique sur le décret portant sur la création et l'organisation des CRMEF</i> <i>*Document complémentaire: Rapport succinct sur les actions menées dans le cadre du renforcement des compétences du personnel du MEN</i>	(1) Atteint <i>Textes législatifs (en Arabe) et Fiche technique</i> décrivant le rôle et les fonctions du CeRMEF, établis en mois de février 2012, en vertu du décret n° 2.11.672. La mise en place officielle des CRMEF (et de la systématisation de la formation continue) est considérée par le Maroc comme une réalisation importante vers une amélioration de la qualité de l'enseignement. Le <i>Rapport succinct</i> définit les actions de développement des compétences du personnel du MEN, y compris le rôle prévu du CRMEF.	3-1 Nombre de stagiaires inscrits aux CRMEF	FI <i>Référence (2013) : 7864</i> <i>Cible (2016-2017) : Primaire : 12682 (prévision des besoins en enseignants, le nombre d'inscriptions réelles dépendant du nombre de postes que la loi de Finance 2016 permettra d'ouvrir)</i>	<i>Décembre 2014 : 6996</i>
		(3-2-1) <i>Dispositif actualisé de la gestion de la Formation Continue »</i>	(1) Atteint Le rapport intitulé <i>Dispositif</i> développé par "l'Unité Centrale de la Formation des Cadres (UCFC)" en Octobre 2012 résume les différentes dispositions structurelles aux niveaux central, régional, et provincial, et clarifie le rôle de chaque acteur dans la mise en place de la formation continue. Pour une mise en œuvre efficace de la formation continue, une série de recommandations ont été proposées sur les plans organisationnel et pédagogique, dont on cite: le développement d'un plan triennal, l'amélioration de la gestion du temps de la formation, le développement du système d'information, et la nécessité de former une équipe pédagogique spécifique au niveau central.	3-2 Nombre de stagiaires diplômés des CRMEF affectés à un poste d'enseignants	<i>Référence (2013) : 7838</i> <i>Cible (2016-2017) : 12682 (même remarque que ci-dessus)</i>	<i>2014 : stagiaires en formation jusqu'au juillet 2014.</i>
				3-3 Nombre d'AREF formées sur le dispositif de FC	FC <i>Référence (2013) : 0</i> <i>Réflexion en cours sur de nouvelles modalités d'accompagnement des enseignants dans les écoles (coaching)</i> <i>Cible (2016-2017) : 100% des AREF</i>	<i>2014 : réflexion toujours en cours sur les nouvelles modalités de FC.</i>

Tableau sur l'état d'avancement des livrables relatifs aux mesures de politique sectorielle retenues au titre du prêt de la JICA (4/4)

Objectif	Mesure de la JICA	Livrable	Etat d'avancement Au 31 décembre 2012	Indicateur de résultat	Valeur référence et cible	Etat d'avancement 2014
SE DONNER LES MOYENS DE RÉUSSIR						
Mobilisation et communication autour de l'école. [E4.P2] Responsable : DC (Direction Chargée des Constructions et du Patrimoine)	JICA4 : Motiver les parents/membres de la communauté pour inscrire et maintenir leurs enfants à l'école en ce qui concerne l'éducation de base (primaire et secondaire).	(4-1-1) Feuille de route-organisation d'une campagne de mobilisation autour de l'école	(1) Atteint Un plan d'action annuel couvrant la période 2011-2012 sur la communication et la mobilisation sociale a été établi en mois d'octobre 2012. Sur la base de ce plan, des activités visant à renforcer davantage la mobilisation sociale, la communication, et le partenariat pour la période 2013-2016 seront mises en place dans chaque AREF.	4-1. Le nombre de conseils d'établissement et comités de gestion mis en place au niveau des écoles primaires et secondaires collégial 4-2. 2013-2014 : - Élaboration d'une stratégie nationale de mobilisation sociale autour de l'école. - Élaboration de plans d'actions déclinés de la stratégie. 2014-2015 : - Lancement d'une 1 ^{ère} campagne de mobilisation autour de l'école (un spot, 20 000 affiches, 6 rencontres avec les différents acteurs au niveau régional, provincial et local...). - Mise en œuvre de 16 plans d'action régionaux de mobilisation autour de l'école. 2015-2016 : -Évaluation de la 1ère campagne et Lancement d'une seconde campagne de mobilisation autour de l'école	Référence (2013) : Primaire :7458=100% Collégial :1751 (100%) Cible (2016-2017) : Primaire :7692=100% Collégial :1956=100% Référence 2013 : Etude lancée pour l'élaboration d'une stratégie de mobilisation sociale Dépendra des conclusions de l'étude en cours. Seront mis en œuvre en septembre 2014. Evaluation prévue en 2015-2016.	2014 : 100% des établissements disposent de conseils d'établissements et de comités de gestion. 2014 : étude en cours, sera finalisée, disponible et diffusée aux AREF en juin 2014. Plans d'action régionaux rédigés en juillet 2014.

The English content is prepared by JICA for reference only

Table of Progress on JICA Trigger Actions (1/4)

Objectives	JICA's Measure	Deliverables	Progress Status As of 31 st December, 2012	Title of the Deliverables
Achieve universal basic education under 15-year-old children				
Reduce school repetition and drop-out. [E1.P5] ¹ <i>Responsible department: DENF (Directorate of Non Formal Education)</i>	JICA1 : Reinforcing the concept of monitoring the school and support mechanisms to improve education and learning processes.	(1) Rapport basé sur la revue et la vérification des directives d'application du « livret de suivi scolaire » au niveau de l'école. (2) Une feuille de route des actions prises par le MEN pour encourager l'utilisation du « livret de suivi scolaire » au niveau de l'école sur la base du rapport de revue mentionné ci-dessus.	(1) Attained MEN, Department of Non-Formal Education, submitted a report on EIP5 Project called "Programme d'urgence, Espace 1 : Rendre Effective l'obligation de la scolarité jusqu'à l'âge de 15 ans, Projet 5 : Lutte contre le redoublement et le décrochage scolaire Rapport 2011-2012 (dated October 2012)". This report summarizes the achievements and constraints of EIP5 Project. It is a comprehensive analysis of the problems of dropout and repetition and the impact (achievements, challenges) of the Project's 3 measures including "monitoring handbook" at school. (1) Attained The document called "Feuille de route du projet de lutte contre le redoublement le décrochage scolaire" elaborates the achievement and remaining challenges for EIP5 Project, and proposes an Action Plan for 2013, specifying responsible Departments and necessary budget. For effective use of Monitoring Handbook(which is one component of EIP5 Project), the following actions are proposed ;capacity building of monitoring unit (cellules de veille), improvement of monitoring guide for teachers, raising awareness towards drop-out problem), etc.	(1-1-1) <i>Programme d'urgence, Espace 1 : Rendre Effective l'obligation de la scolarité jusqu'à l'âge de 15 ans, Projet 5 : Lutte contre le redoublement et le décrochage scolaire Rapport 2011-2012 (Octobre 2012)</i> (1-2-1) <i>Feuille de route du projet de lutte contre le redoublement et le décrochage scolaire 2012-2013</i>

¹ Reference project code for « Programme d'urgence 2009-2012 »

The English content is prepared by JICA for reference only

Table of Progress on JICA Trigger Actions (2/4)

Objectives	JICA's Measure	Deliverables	Progress Status As of 31 st December, 2012	Title of the Deliverables
Achieve universal basic education under 15-year-old children				
<p>Improvement of the quality of school life. [E1.P12] <i>Responsible department : DVS (Directorate of School Life)</i></p> <p>Strengthen results-based management [E3.P4] <i>Responsible department : DSSP (Directorate of Strategy, Statistics and Planning)</i></p>	<p>JICA2 : Ensure the effective implementation of the « school project » based on the new concept.</p>	<p>(1) La nouvelle stratégie et un guide opérationnel pour faciliter la planification, la mise en œuvre, et le suivi/évaluation du "projet d'établissement"</p> <p>(2) Les critères standards pour l'approbation du projet d'établissement.</p> <p>(3) Plan de formation sur "le projet d'établissement" selon le nouveau concept et ses directives d'application accompagné des outils de formation.</p>	<p>(1) Attained The new strategy is stipulated in the first part of <i>guide reference2011</i> (Arabic), developed in May 2011. The strategy is based on the analysis of past experiences including BEIP/JICA. The strategy highlights the following fundamentals of the school project "projet d'établissement": (1) comprehensiveness; all school projects in PU should be tackled, (2) complementarity and homogeneity; projects should complement each other, (3) functionality; activities should be achievable, enable improvement of indicators and increase of educational profitability in schools, (4) openness, (5) participative approach, (6) dynamism; updating the project, (7) documentation; the project should incorporate reports and technical descriptions for better information sharing. Revised operation guide (planning, evaluation) of the school project has been developed as <i>guide procedure 2011</i> (in Arabic).</p> <p>(1) Attained An evaluation grid (<i>Grille d'évaluation de l'éligibilité d'un projet d'établissement</i>) composed of 24 criteria on the eligibility of a school project was developed, as shown in <i>Dynamique des Projets D'établissement, Rapport de Synthèse</i>, dated October 2012.</p> <p>(1) Attained The training for school project is planned as a part of the modules intended for the implementation of the Support Project for School Management in Morocco (PAGESM) since April 2012. The training plan was developed to enhance capacity of school headmasters and managing staff involved in the School Project. The plan was finalized by December 31, 2012.</p>	<p>(2-1-1) <i>Guide procédure 2011</i></p> <p>(2-1-2) <i>Guide référence 2011</i></p> <p>(2-1-3) <i>Stratégie Nationale du Projet d'Etablissement, Résumé Synthétique, juillet 2011</i></p> <p>(2-2-1) <i>Dynamique des Projets D'établissement -Rapport de Synthèse-p.19</i></p> <p>(2-3-1) <i>Plan de formation et directives pour les directeurs des établissements sur le PE.</i></p>

Table of Progress on JICA Trigger Actions (3/4)

Objectives	JICA's Measure	Deliverables	Progress Status As of 31 st December, 2012	Title of the Deliverables
Improve System Performance				
Reinforce organizational, pedagogical, and technical mechanism for pre-service and in-service training. [E3P1]". <i>Responsible department : DFC (Directorate of In-Service Training)</i>	JICA3 : Development and formalization of organizational, pedagogical and technical process of implementation of regional centers of education and training (CRMEF).	(1) Rapport de formalisation des modalités de mise en place des CRMEF.	(1) Attained <i>Textes législatifs (Legal text in Arabic) and Fiche technique (technical sheet) describe the role and function of CRMEF, which was established in February 2012, by the decree number 2.11.672. Official establishment of CRMEF (and systematizing INSET training) is considered a big achievement by Moroccan side to improve the quality of education. The complementary report, Rapport succinct, defines the capacity building measures to improve the performance of MEN staff, including the expected role of CRMEF.</i>	(3-1-1) <i>Textes législatifs CRMEF 2012</i> (3-1-2) <i>Fiche technique sur le décret portant sur la création et l'organisation des CRMEF</i> <i>*Document complémentaire:</i> <i>Rapport succinct sur les actions menées dans le cadre du renforcement des compétences du personnel du MEN</i>
		(2) Dispositifs actualisés de la gestion de la formation continue des enseignants	(1) Attained The <i>Dispositif</i> developed by the "Unité Centrale de la Formation des Cadres" UCFC dated in October 2012, summarizes the various structural arrangements at central, regional, and provincial levels, and clarifies the role of each actor necessary in carrying out in-service training. For an effective implementation of the INSET training, organizational and pedagogical recommendations are made, some of which are: development of 3-year plan, improved management of training time, development of information system, and the need for specialized pedagogical team at the central level.	(3-2-1) <i>Dispositif actualisé de la gestion de la Formation Continue »</i>

The English content is prepared by JICA for reference only

Table of Progress on JICA Trigger Actions (4/4)

Objectives	JICA's Measure	Deliverables	Progress Status As of 31 st December, 2012	Title of the Deliverables
Mobilize and Utilize Resources				
Mobilization and communication around the school. [E4.P2] <i>Responsible department : DCP (Directorate of Constructions and Assets)</i>	JICA4 : Motivate parents/ community members to enroll and keep their children in school at the level of basic education (primary and secondary).	(1) Feuille de route développant la stratégie pour la campagne de mobilisation sociale et de plaidoyer pour le PU.	(1) Attained An annual action plan for the period of 2011-2012 on communication and social mobilization is developed in October 2012. Based on the plan, the activities to further strengthen social mobilization, communication, and partnership for the period of 2013-2016 will be developed at each AREF.	<i>(4-1-1) Projet de feuille de route-organisation d'une campagne de mobilisation autour de l'école</i>

5. 討議議事録 (R/D) 【英語 / 仏語】 (ANNEX は英語のみ。ANNEXIII は上記 1. 2. の M/M のため添付は割愛)

RECORD OF DISCUSSIONS
ON
THE PROJECT FOR PROMOTING EDUCATION WITH
EQUITY AND QUALITY (PEEQ)
IN
THE KINGDOM OF MOROCCO
AGREED UPON BETWEEN
MINISTRY OF NATIONAL EDUCATION AND
VOCATIONAL TRAINING
AND
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY



石井 圭 祐

Rabat, May 9th, 2014

Pour Ministère de l'Education Nationale
et de la Formation Professionnelle
et par Délégation
Le Secrétaire Général

Youssef BELQASMI

P.O Mr. Koichi SHOJI
Chief Representative
Japan International Cooperation Agency
Morocco Office
Japan

Mr. Youssef BELQASMI
Secretary General
Ministry of National Education and
Vocational Training
Kingdom of Morocco

In response to the official request of the Government of the Kingdom of Morocco (hereinafter referred to as “the GOM”) to the Government of Japan (hereinafter referred to as “GOJ”), the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as “JICA”) held a series of discussions with Ministry of National Education and Vocational Training (hereinafter referred to as “MENFP”) and relevant organizations to develop a detailed plan of the Project for Promoting Education with Equity and Quality (hereinafter referred to as the “the Project”).

Based on the Minutes of Meetings (hereinafter referred to as “MM”) on the concerning Preparatory Study on the Project signed on June 21 and October 11, 2013 between MENFP and JICA, JICA held a series of discussions with MENFP and relevant organizations to develop a detailed plan of the Project.

Both parties agreed the details of the Project and main points discussed as described in the Appendix 1 and the Appendix 2, respectively, and to request their respective governments to proceed with the necessary procedures for implementation of the Project.

Both parties also agreed that MENFP, the counterpart to JICA, will be responsible for the implementation of the Project in cooperation with JICA, coordinate with other relevant organizations and ensure that the self-reliant operation of the Project is sustained during and after the implementation period in order to contribute toward social and economic development of Morocco.

The Project will be implemented within the framework of the Note Verbales to be exchanged between the GOJ and the GOM.

Done in duplicate in the French and English languages, both equally authentic. In case of any divergence of interpretation, the English text shall prevail.

Appendix 1: Project Description

Appendix 2: Main Points Discussed

Appendix 3: Minutes of Meetings on Preparatory Survey

PROJECT DESCRIPTION

MENFP and JICA confirmed that there is no change in the Project Description agreed on in the MM on the concerning Preparatory Survey on the Project signed on June 21 and Oct. 11, 2013(Appendix 3).

I. BACKGROUND

Since 1999, the implementation of “National Charter of Education and Training” by GOM brought an impressive progress in achieving primary net enrolment rate from 71% (1999) to 97% (2011/12). However, challenges still remains with regional disparities, drop-outs and repetition, further improvement in enrolment (especially in secondary education) etc. In order to solve these issues and extend quality education, the Charter was later followed by a comprehensive four-year (2009-2012) development plan, “Programme d’Urgence (PU)” consisting of four strategic pillars; (1) achieve universal basic education, (2) promote initiative and excellence in post-basic education, (3) improve system performance (teaching, management and stewardship), (4) mobilize and utilize resources (financing, partnership, communication, social mobilization and implication of the private sector). JICA, among other international donor agencies, has been assisting pillars (1), (3), (4).

Following the completion of PU, in March 2013, MENFP developed its succeeding Mid-Term Education System Action Plan 2013-2016 (“Plan d’Action à Moyen Terme 2013-2016”, PAMT) drawing lessons from the implementation of PU. PAMT was prepared in close consultation with donors assisting Morocco’s education sector providing them a common framework for assistance. The Plan has five areas of focus; (1) access and equity; (2) teaching and learning quality; (3) school establishment, (4) governance and decentralization; and (5) human resource management.

The Project was requested by MENFP to address both access and quality of education, especially in the rural area, aligning to the Moroccan educational policies, PU 2009-2012 and subsequent PAMT 2013-2016. The first Preparatory Mission was dispatched in June 2013 where basic concept was developed and agreed by both sides in the MM dated June 21 2013. The subsequent second Preparatory Mission was dispatched in order to design the detail plan of the Project. The section below summarizes the outcome which has been discussed and agreed by both sides.

II. OUTLINE OF THE PROJECT

Details of the Project are described in the Logical Framework (Project Design Matrix: PDM) (Annex I) and the tentative Plan of Operation (Annex II).

1. Implementation Structure

The Project organization chart is given in the Annex III. The roles and assignments of relevant organizations are as follows:

(1) MENFP

(a) Project Director

Will be responsible for overall administration and implementation of the Project, and relevant personnel will be assigned before the official commencement of the Project.

(b) Project Manager

Will be responsible for the managerial and technical matters of the Project, and relevant personnel will be assigned before the official commencement of the Project.

(2) JICA Experts

The JICA experts will give necessary technical guidance, advice and recommendations to MENFP on any matters pertaining to the implementation of the Project.

(3) Joint Coordinating Committee

Joint Coordinating Committee (hereinafter referred to as "JCC") will be established in order to facilitate inter-organizational coordination. JCC will be held at least once a year and whenever necessary. JCC will approve an annual work plan, review overall progress, conduct monitoring and evaluation of the Project, and exchange opinions on major issues that arise during the implementation of the Project. A list of appointed JCC members is attached as per Annex IV.

2. Project Site(s) and Beneficiaries

(1) Project Sites:

Round 1 and 2

- 1) Chaouia Ourdigha (CO)
- 2) Doukala Abda (DA)
- 3) Gharb Chrarda Beni Hssen (GCBH)
- 4) Marrakech Tensift Al Haouz (MTH)

Round 3 onward

- 5) Taza Al Hoceima Taounate (THT)
- 6) Oriental
- 7) Tadla Azilal (TA)
- 8) Sous Massa Draa (SMD)

The Activities will be conducted with Round 1&2 as piloting of PEEQ program with JICA assistance, with priority given to the targeted AREFs in the framework of ODA Loan Project "School Construction Component (Project Component) of Basic Education Sector Support Project (BESSP)". Activities in the Round 3 and onwards will be led by MENFP, with JICA providing technical support.

(2) Beneficiaries

- MENFP, AREF, and Delegation
- School: approximately 240 schools

3. Duration

It is expected that the duration of the Project will be 48 months as soon as the JICA experts are dispatched.

4. Reports

MENFP and the JICA experts will jointly prepare the following report:

- (1) Progress Reports every year during the Project period
- (2) Project Completion Report at the end of the Project

5. Environmental and Social Considerations

- (1) MENFP agreed to abide by 'JICA Guidelines for Environmental and Social Considerations' in order to ensure that appropriate considerations will be made for the environmental and social impacts of the Project.

III. UNDERTAKINGS OF MENFP and GOM

1. MENFP and GOM will take, to the extent possible, the necessary steps to :

- (1) ensure that the technologies and knowledge acquired by the Moroccan nationals as a result of Japanese technical cooperation contributes to the economic and social development of Morocco, and that the knowledge and experience acquired by the personnel of Morocco from technical training as well as the equipment provided by JICA will be utilized effectively in the implementation of the Project;
 - (2) grant privileges, exemptions and benefits to the JICA experts and their families, which are no less favorable than those granted to experts and members of the missions and their families of third countries or international organizations performing similar missions in Morocco.
 - (3) provide security-related information, upon their availability, as well as measures to ensure the safety of the JICA experts, taking into account MENFP attributions and capacities in this field;
 - (4) permit the JICA experts to enter, leave and sojourn in Morocco for the duration of their assignments therein and exempt them from foreign registration requirements and consular fees, while indicating the necessity to discuss this particular article with the competent Moroccan authorities in this specific domain
 - (5) exempt the JICA experts from taxes and any other charges on the equipment, machinery and other material necessary for the implementation of the Project. This undertaking is secured based on the agreement between MENFP and MEF.
 - (6) exempt the JICA experts from income tax and charges of any kind imposed on or in connection with any emoluments or allowances paid to them and/or remitted to them from abroad for their services in connection with the implementation of the Project. This undertaking is secured based on the agreement between MENFP and MEF; and
 - (7) meet taxes and any other charges on the equipment, machinery and other material, necessary for the implementation of the Project. This undertaking is secured based on the agreement between MENFP and MEF.
2. The MENFP will bear claims, if any arises, against the JICA experts resulting from, occurring in the course of, or otherwise connected with, the discharge of their duties in the implementation of the Project, except when such claims arise from gross negligence or willful misconduct on the part of the JICA experts.

IV. EVALUATION

JICA and the MENFP will jointly conduct the following evaluations and reviews.

1. Mid-term review at the middle of the cooperation term
2. Terminal evaluation during the last six (6) months of the cooperation term

JICA will conduct the following evaluations and surveys to mainly verify sustainability and impact of the Project and draw lessons. MENFP is required to provide necessary support for them.

1. Ex-post evaluation three (3) years after the project completion, in principle
2. Follow-up surveys on necessity basis

V. PROMOTION OF PUBLIC SUPPORT

For the purpose of promoting support for the Project, MENFP will take appropriate measures to make the Project widely known to the people of Morocco.

VI. MUTUAL CONSULTATION

JICA and the MENFP will consult each other whenever any major issues arise in the course of Project implementation.

VII. AMENDMENTS

The Record of Discussions may be amended by the MM between JICA and the GOM. The MM will be signed by authorized persons of each side who may be different from the signers of the Record of Discussions.

- | | |
|-----------|---|
| Annex I | Tentative version of the Logical Framework (Project Design Matrix: PDM) |
| Annex II | Tentative version of the Plan of Operation |
| Annex III | Tentative version of the Project Organization Chart |
| Annex IV | A list of assigned members of the Joint Coordination Committee |

MAIN POINTS DISCUSSED

1. Project Overview

The Project is expected to support the development of educational governance, by enhancing the capacities and efficiency of the current system to foster Morocco's decentralization process within education sector. The Project will have two pillars; (i) "Equity component" which aims to improve access to education (girls enrolment, transition from primary to lower secondary) through campaign and other small scale investment activities organized by lower secondary and affiliated primary schools, and (ii) "Quality component" which aims to improve quality of education at the school level by placing students' learning (through exam error analysis) at the center. The Project is designed to support MENFP's capacity to support AREF; and AREF's capacity to support Delegation, and Delegation's capacity to support most disadvantaged schools to self-improve. To strengthen this, the two components have a focused approach targeting the most disadvantaged *Bassin Scolaire* (catchment area).

Sustainability is emphasized throughout the Project design by (i) using existing structure and mandate, (ii) starting off with Pilot activities (2 rounds) initiated by JICA, handing over to MENFP from the 3rd round onward.

2. Responsible organizations/divisions

The Project will involve various stakeholders at the national (MENFP), regional (AREF), and provincial (Delegation) levels. Responsible organizations/divisions (i) to execute, and (ii) to support the executing organization are shown in the MENFP/AREF/Delegation organizational charts in the Annex III.

MENFP and JICA Experts will produce a detailed Plan of Operation after the commencement of the Project.

46
P

Project Design Matrix

Project Title: Project for Promoting Education with Equity and Quality (PEEQ)
 Executing Bodies: Ministry of Education and Vocational Training (*Ministere de l'Education Nationale et de la Formation Professionnelle: MENFP*), Regional Education Office (*Académie Régionale d'Education et de Formation :AREF*), Provincial Education Office (*Délégation*)
 Target Group: MENFP, AREF and Delegation Personnel (approximately 280 personnel) and approximately 240 disadvantaged schools within 32 Bassin Scolaire
 Target Area: 8 Regions (Chaouia Ourdigha (CO), Doukala Abda (DA), Gharb Chrarda Beni Hssen (GCBH), Marrakech Tensift Al Haouz (MTH) Taza Al Hoceima Taounate (THT), Oriental, Tadla Azilal (TA), Sous Massa Draa (SMD))
 Duration: 48 months

Narrative Summary	Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumptions
Overall Goal: The PEEQ activity is disseminated to other schools within / beyond targeted Regions (AREFs) in Morocco.	Number of targeted schools in the extended areas	Report by MENFP and AREF	Decentralization in Morocco continues to be included in the Education Strategy.
Project Purpose: MENFP is able to support initiatives of AREF to mitigate educational disparity	Framework of MENFP's support for AREF is prepared	Project Progress Report, Activity reports, AREF annual report	Budget plan (including PEEQ measure) is approved
Outputs: 1. Measures to mitigate school disparities in learning achievement are tried out and set	Executing guidelines is developed Changes in repetition Changes in student scores in the identified areas that students do not perform well	Project Activity Report	MENFP and AREF Officers do not change
2. Measures to mitigate school disparities in enrolment are tried out and set	Executing guidelines is developed Changes in primary – junior secondary retention and girls enrolment)	Project Activity Report	
3. AREF is ready to continue the measures, and MENFP is ready to disseminate the measures to other Regions.	Replication plan is developed Responsible person in charge has clear understandings what to do next	Replication Plan	

4
R

<p><u>Activities:</u></p> <p>1-1 Study current practice of student assessment at school, Delegation, AREF and MENFP</p> <p>1-2 Identify lower secondary schools that need interventions to narrow its gap in student achievement. (Restoring basic academic skill)</p> <p>1-3 MENFP/AREF in collaboration analyze exam result to identify areas students do not perform well and its reasons, with a focus on basic academic skill of students</p> <p>1-4 Devise and try-out intervention to restore basic academic skill of students (e.g. self-learning material) (Pedagogical guidance)</p> <p>1-5 MENFP/AREF in collaboration synthesize effective pedagogical approach/technique to improve student learning</p> <p>1-6 Inspector in charge introduce the approaches/techniques as a part of their routine inspection work</p> <p>1-7 Teachers at the identified schools revise and implement lesson plan accordingly (Facilitating learning organization)</p> <p>1-8 Inspectors in charge report the progress at its routine meeting</p> <p>1-9 Japanese experts conduct learning/briefing session for MENFP personnel</p> <p>1-10 MENFP personnel facilitate learning/briefing session for AREF/Delegation</p> <p>2-1 Study current practice of enrolment campaign and support for disadvantaged schools</p> <p>2-2 Identify lower secondary schools that need interventions to narrow its gap to others in enrolment (primary – lower secondary transition and girls enrolment)</p> <p>2-3 Hold orientation meeting for identified lower secondary schools and its affiliated primary schools to organize campaign teams</p> <p>2-4 The teams propose action plan (e.g. campaign activities, school activities, small-scale rehabilitation, and equipment/material provision to attract parents/students)</p> <p>2-5 AREF provides grant to implement the plan</p> <p>2-6 The team / school implements the plan</p> <p>2-7 AREF /Delegation inspectors monitor and evaluate implementation</p> <p>3-1 AREF develops dissemination plan within the region</p> <p>3-2 AREF revise TOR of related personnel to implement PEEQ activities</p> <p>3-3 MENFP develops nationwide dissemination plan</p> <p>3-4 MENFP revise TOR of related personnel to implement PEEQ activities</p> <p>3-5 Japanese experts support MENFP and AREF to prepare their budget to finance PEEQ activities</p> <p>3-6 Conduct workshop inviting a wider stakeholders</p>	<p><u>Inputs:</u></p> <p>1. <u>Moroccan side:</u></p> <p>(1) Office space at MENFP and facilities necessary such as desks, chairs, office equipment, cabinet for the Project (for Moroccan counterparts and Japanese experts).</p> <p>(2) Assignment of counterpart personnel (including Project Director, Manager, Coordinator) and other key counterparts</p> <p>(3) Necessary budget for the 2 main components of the Project (including school grant for equity component from Round 3 onward)</p> <p>(4) Administrative cost for smooth implementation of the Project (such as, CP staff's salary, allowance, transportation fee, and running cost of the Project office)</p> <p>2. <u>Japanese side:</u></p> <p>(1) Dispatch of experts (in the field of Assessment, Lesson Improvement, and School Management), and others as necessity arises</p> <p>(2) Training of counterpart personnel in Japan</p> <p>(3) Provision of office equipment and materials</p> <p>(4) Expenses of Project activities</p>	<p>There's no policy change in inspector's role.</p> <hr/> <p>Preconditions: Moroccan education strategy / mid-term plan PAMT (2013-2016) don't change.</p>
---	--	---

Handwritten initials/signature in the top left corner.

ANNEX 2. TENTATIVE PLAN OF OPERATION

		2014												2015												2016												2017													
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
1. Measures to mitigate school disparities in learning achievement/MENFP are tried out and set	1-1	Study current practice of student assessment at school, Delegation, AREF and MENFP	■	■	■	■																																													
	1-2	Identify lower secondary schools that need interventions to narrow its gap in student achievement						■														■																													
	<Restoring basic academic skill>																																																		
	1-3	MENFP/AREF in collaboration analyze exam result to identify areas students do not perform well and its reasons, with a focus on basic academic skill of students																																																	
	1-4	Devise and try-out intervention to restore basic academic skill of students (e.g. self-learning material)																																																	
	<Pedagogical guidance>																																																		
	1-5	MENFP/AREF in collaboration synthesize effective pedagogical approach/technique to improve student learning																																																	
	1-6	Inspector in charge introduce the approaches/techniques to teachers as a part of their routine inspection work																																																	
	1-7	Teachers at the identified schools revise and implement lesson plan accordingly																																																	
	<Facilitating learning organization>																																																		
1-8	Inspectors in charge report the progress at its routine meeting																																																		
1-9	Japanese experts conduct learning/briefing session for MENFP personnel	●																																																	
1-10	MENFP personnel facilitate learning/briefing session for AREF/Delegation																																																		
2. Measures to mitigate school disparities in enrolment are tried out and set	2-1	Study current practice of enrolment campaign and support for disadvantaged schools	■	■	■	■																																													
	2-2	Identify lower secondary schools that need interventions to narrow its gap to others in enrolment (primary – lower secondary transition and girls enrolment)																																																	
	2-3	Hold orientation meeting for identified lower secondary schools and its affiliated primary schools to organize campaign team																																																	
	2-4	The teams propose action plan (e.g. campaign activities, school activities, small-scale rehabilitation, and equipment/material provision to attract parents/students)																																																	
	2-5	AREF provides grant to implement the plan																																																	
	2-6	The team / school implements the plan																																																	
	2-7	AREF /Delegation inspectors monitor and evaluate implementation																																																	
3. AREF is ready to continue the measures, and MEN is ready to disseminate the measures to other Regions.	3-1	AREF develops dissemination plan within the region																																																	
	3-2	AREF revise TOR of related personnel to implement PEEQ activities																																																	
	3-3	MENFP develops nationwide dissemination plan																																																	
	3-4	MENFP revise TOR of related personnel to implement PEEQ activities																																																	
	3-5	Japanese experts support MENFP and AREF to prepare budget to finance PEEQ activities																																																	
	3-6	Conduct workshop inviting a wider stakeholders																																																	



Programme de soutien au secteur d'éducation de base
Coopération Technique
Projet d'Amélioration de l'Éducation avec Équité et Qualité "PEEQ"
Plan opérationnel provisoire

Objet global	Finalité du projet	N° d'activité	Activité	Moyens	Intervenants	Lieu	Période d'exécution			Résultats	Indicateurs opérationnels	Livrables	
							Durée	Début	Fin				
L'activité PEEQ est généralisée à d'autres écoles au sein/et à l'extérieur des régions ciblées (AREF) au Maroc	MENEFP est en mesure d'appuyer les initiatives de l'AREF afin de réduire les disparités éducatives	1-1	Étudier la pratique actuelle en matière d'évaluation de l'élève au niveau de l'école, la Délégation, l'AREF et du MENEFP	MENEFP, AREF, Délégations, inspecteurs, acteurs scolaires, experts JICA ...	MENEFP, AREF, Délégations, inspecteurs, acteurs scolaires, experts JICA ...	AREF (CO, DA, MTH & GCB), délégations ciblées, écoles ciblées	4 mois	Février 2014	Mai 2014	1-Mesures pour réduire les disparités dans les résultats d'apprentissage testées et mises en place	Directives d'exécution mises au point - Taux de doublage en baisse dans les AREF ciblées - Notes des élèves en augmentation dans les matières dans lesquelles le rendement n'est pas satisfaisant	Directives de mise en œuvre	
		4 mois (4 fois*1 mois)	Juillet 2014 Juillet 2015 Juillet 2016 Juillet 2017				Juillet 2014 Juillet 2015 Juillet 2016 Juillet 2017						
		8 mois (4 fois*2 mois)	Septembre 2014 Septembre 2015 Septembre 2016 Septembre 2017				Octobre 2014 Octobre 2015 Octobre 2016 Octobre 2017						
		18 mois (3 fois*6 mois)	Novembre 2014 Novembre 2015 Novembre 2016				Avril 2015 Avril 2016 Avril 2017						
		8 mois (4 fois*2 mois)	Septembre 2014 Septembre 2015 Septembre 2016 Septembre 2017				Octobre 2014 Octobre 2015 Octobre 2016 Octobre 2017						
		18 mois (3 fois*6 mois)	Novembre 2014 Novembre 2015 Novembre 2016				Avril 2015 Avril 2016 Avril 2017						
		18 mois (3 fois*6 mois)	Novembre 2014 Novembre 2015 Novembre 2016				Avril 2015 Avril 2016 Avril 2017						
		18 mois (3 fois*6 mois)	Novembre 2014 Novembre 2015 Novembre 2016				Avril 2015 Avril 2016 Avril 2017						
		32 mois (Année scolaire 2014/15-2017/18)	Septembre 2014 Septembre 2015 Septembre 2016 Septembre 2017				Juin 2014 Juin 2015 Juin 2016 Novembre 2017						
		4 fois par an (Jan, mai-juin, août, déc)	Janvier 2014				Décembre 2017						
		32 mois (Année scolaire 2014/15-2017/18)	Septembre 2014 Septembre 2015 Septembre 2016 Septembre 2017	Juin 2014 Juin 2015 Juin 2016 Novembre 2017									
		2-1	Étudier la pratique actuelle en matière de campagne de scolarisation et appuyer aux écoles défavorisées	MENEFP et les experts de la JICA produiront un Plan opérationnel détaillé une fois le projet lancé .	MENEFP, AREF, Délégations, inspecteurs, acteurs scolaires, ONG, experts JICA ...	MENEFP, AREF, Délégations, inspecteurs, acteurs scolaires, ONG, experts JICA ...	AREF (CO, DA, MTH & GCB), délégations ciblées, écoles ciblées	4 mois	Février 2014	Mai 2014	2-Mesures pour réduire les disparités de scolarisation testées et mise en place	- Les directives de mise en œuvre élaborées - Taux de scolarisation et taux de rétention des filles au collige en augmentation	Directives de mise en œuvre
		4 mois (Développement directives)	Novembre 2014 Novembre 2015 Novembre 2016					Novembre 2014 Novembre 2015 Novembre 2016					
		4 mois (Examen: 4 fois*1 mois)	Novembre 2014 Novembre 2015 Novembre 2016					Novembre 2014 Novembre 2015 Novembre 2016					
		4 mois (4 fois*1 mois)	Novembre 2014 Novembre 2015 Novembre 2016 Octobre 2017					Novembre 2014 Novembre 2015 Novembre 2016 Octobre 2017					
		6 mois (3 fois*2 mois)	Décembre 2014 Décembre 2015 Décembre 2016					Janvier 2015 Janvier 2016 Janvier 2017					
		Une fois par an	Janvier 2015 Janvier 2016 Janvier 2017					Janvier 2015 Janvier 2016 Janvier 2017					
		29 mois (Campagnes années scolaires 2015/16, 2016/17, 2017/18)	Janvier 2015 Janvier 2016 Janvier 2017					Septembre 2015 Octobre 2016 Octobre 2017					
		29 mois (Campagnes années scolaires 2015/16, 2016/17, 2017/18)	Janvier 2015 Janvier 2016 Janvier 2017	Septembre 2015 Octobre 2016 Octobre 2017									
		3-1	AREF met au point un plan de généralisation au sein de la région	MENEFP, AREF, Délégation, experts JICA ...	MENEFP, AREF, Délégation, experts JICA ...	MENEFP, AREF, Délégation, experts JICA ...	AREF au niveau national, délégations ciblées, écoles ciblées...	3 mois (3 fois*1 mois)	Septembre 2015 Septembre 2016 Septembre 2017	Septembre 2015 Septembre 2016 Septembre 2017	3-AREF prête à poursuivre les mesures et le MENEFP dispose à généraliser les mesures à d'autres régions	- Plan de généralisation mis au point - La personne en charge sait de manière précise ce qu'il y a à faire ensuite	Plan de généralisation
		3-2	AREF révisé les termes de référence du personnel chargé de mettre en œuvre les activités du PEEQ					3 mois (3 fois*1 mois)	Septembre 2015 Septembre 2016 Septembre 2017	Septembre 2015 Septembre 2016 Septembre 2017			
		3-3	MENEFP met au point un plan de généralisation au niveau national					3 mois (3 fois*1 mois)	Septembre 2015 Septembre 2016 Septembre 2017	Septembre 2015 Septembre 2016 Septembre 2017			
		3-4	MENEFP révisé les termes de référence du personnel chargé de mettre en œuvre les activités du PEEQ					3 mois (3 fois*1 mois)	Septembre 2015 Septembre 2016 Septembre 2017	Septembre 2015 Septembre 2016 Septembre 2017			
		3-5	Les experts japonais appuient le MENEFP et l'AREF pour préparer le budget de financement des activités					10 mois (3 fois*3 mois, 1 fois*1 mois)	Octobre 2014 Octobre 2015 Octobre 2016 Octobre 2017	Décembre 2014 Décembre 2015 Décembre 2016 Octobre 2017			
		3-6	Organiser un atelier et y inviter un large éventail d'intervenants					3 fois	Février 2015 Février 2016 Février 2017	Février 2015 Février 2016 Février 2017			

44
P

Implementation Structure (for AREFs)

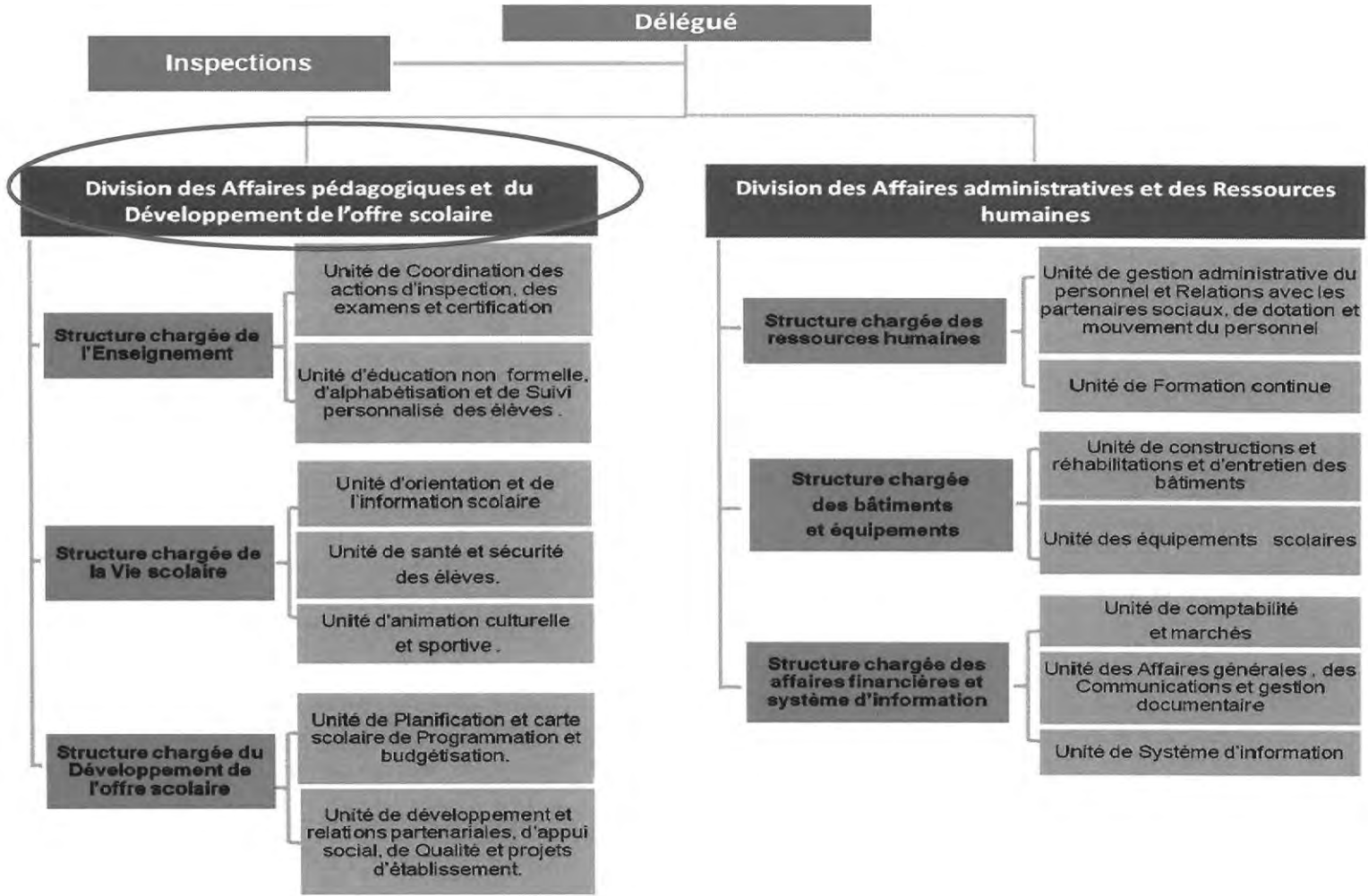
Marrakech Tensift AlHaouz (as a sample)

* The "Pedagogic Unit" will be in charge

Directeur		
Secrétariat Particulier	Secrétariat Technique	PMO
Audit Interne	Bureau d'ordre	Secrétariat du conseil administratif
Division de la gestion des ressources humaines et des affaires administratives et financières	Division des affaires pédagogiques	Division de la carte scolaire de l'information et de l'orientation
Service du budget, équipement et patrimoine	Service des examens	Service de la carte scolaire de l'information et de l'orientation
Agence Comptable	CRDAP	Service de statistiques et informatiques
Contrôle d'Etat	Service de l'éducation non formelle et la lutte contre l'analphabétisme	CRAO
Services des ressources humaines et communication	Service de l'enseignement préscolaire et de l'enseignement privé (Inspecteur)	
Centre régional de la formation continue	Centre régional du matériel didactique	

2013

Implementation Structure (for Delegations)



9/10



Programme d'Appui de la JICA au Secteur de l'Éducation de Base
(Basic Education Sector Support Project « BESSP »)
Coopération Technique : Promoting Education with Equity and Quality (PEEQ).

Liste nominative des onze (11) membres du comité chargé du Projet « PEEQ ».

NOM	Fonction	Adresse	Rôle
Abdelhak Ghoul	Chef de Division	Direction de la Stratégie, des Statistiques et de la Planification	Point Focal Planification
Ahmed Mahroug	Responsable d'Unité	Direction de la Stratégie, des Statistiques et de la Planification	Coordonateur
Ahmed Chaibi	Chef de Division	Centre National des Évaluations et des Examens	Point Focal Pédagogie
Mohamed Cherif Essalih	Chef de Division	Direction des Affaires Générales, du Budget et du Patrimoine	Point Focal Budget
Abdeljalil Benzouina	Responsable d'Unité	Direction des Affaires Générales, du Budget et du Patrimoine	Membre du comité
Nourdine Elmazouni	Chef de Division	Centre National des Innovations Pédagogiques et de l'Expérimentation	Membre du comité
Sidi Rachid El Amrani El Idrissi	Chef de Division	Direction des Curricula	Membre du comité
Douhid El Mofaddal	Chef de Service	Unité Centrale de la Formation des Cadres	Membre du comité
Elhassane Mahfoudi	Chef de Service	Direction de l'Éducation Non Formelle	Membre du comité
Ali Allouch	Chef de Division	Direction Chargée de l'Enseignement Technique et de la Vie Scolaire	Membre du comité
Mohamed Amine Maghraoui	Chef de Division	Direction Chargée des Constructions et du Patrimoine	Membre du comité

Pour Ministère de l'Éducation Nationale
et de la Formation Professionnelle
et par Délégation
Le Secrétaire Général
Youssef BELQASMI

Ministère de l'Éducation Nationale et de la Formation Professionnelle
Direction de la Stratégie, des Statistiques et de la Planification
Division de Planification
Siège central de Bah Rouah - Tél : 063769221 / Fax : 063772040

PROCE-VERBAL DES DISCUSSIONS
SUR
LE PROJET D'AMELIORATION DE L'EDUCATION AVEC ÉQUITÉ ET
QUALITE (PEEQ)
AU
ROYAUME DU MAROC
CONVENU ENTRE
LE MINISTERE DE L'EDUCATION NATIONALE ET DE LA
FORMATION PROFESSIONNELLE
ET
L'AGENCE JAPONAISE DE COOPÉRATION INTERNATIONALE

Rabat, le 9 mai 2014



P.O M. Koichi SHOJI
Représentant Résident
Agence Japonaise de Coopération
Internationale
Bureau du Maroc

Pour Ministère de l'Education Nationale
et de la Formation Professionnelle
et par Délégation
Le Secrétaire Général

Youssef BELQASMI

M. Youssef BELQASMI
Secrétaire Général
Ministère de l'Education Nationale et
de la Formation Professionnelle
Royaume du Maroc

En réponse à la demande officielle faite par le Gouvernement du Royaume du Maroc (dénommé ci-après "GdM") au Gouvernement du Japon, l'Agence Japonaise de Coopération Internationale (dénommée ci-après "JICA") a tenu une série de réunions avec le Ministère de l'Education Nationale et de la Formation Professionnelle (dénommé ci-après "MENFP") et les entités compétentes en vue d'élaborer un plan détaillé du projet relatif au projet Promouvoir l'Education avec Equité et Qualité (dénommé ci-après le "Projet").

Sur la base des procès-verbaux des réunions de l'étude préparatoire du Projet concerné, signés le 21 Juin et 11 Octobre 2013 entre le MENFP et la JICA, la JICA a tenu une série de réunions avec le MENFP et les entités compétentes afin d'élaborer un plan détaillé du Projet.

Les deux parties ont convenu des détails du projet et des principaux points abordés, comme il a été décrit respectivement dans l'annexe 1 et l'annexe 2, et de demander à leurs gouvernements respectifs d'entreprendre les mesures nécessaires à la mise en œuvre du Projet.

Les deux parties ont également convenu que le MENFP, l'homologue de la JICA, sera responsable de l'exécution du projet en collaboration avec la JICA, coordonnera avec d'autres entités compétentes et s'assurera de l'appropriation du Projet pendant et après la période de mise en œuvre afin qu'il puisse contribuer au développement social et économique du Maroc.

Le Projet sera mis en œuvre dans le cadre de Notes verbales qui seront échangées entre le Gouvernement du Japon (dénommé ci-après "GJ") et le GdM.

Fait en double exemplaires, en langues Française et Anglaise, les deux versions sont authentiques. En cas de divergence d'interprétation, la version Anglaise fera foi.

Annexe 1: Description du projet

Annexe 2: Principaux points discutés

Annexe 3: Comptes rendus des réunions de l'étude préparatoire

DESCRIPTION DU PROJET

Les deux parties ont confirmé qu'aucun changement n'est survenu dans la Description du Projet, telle que convenue dans les procès-verbaux des réunions de l'Etude Préparatoire du Projet, signés le 21 Juin et le 11 octobre 2013 (Annexe 3).

I. CONTEXTE

Depuis 1999, la mise en œuvre de la "Charte Nationale de l'Education et de la Formation" par GdM, a permis de réaliser une évolution impressionnante du taux net de scolarisation au primaire, qui est passé de 71% (1999) à 97% (2011/12). Cependant, des défis persistent comme les disparités régionales, les abandons et les redoublements et l'amélioration de la scolarisation (surtout au niveau de l'enseignement secondaire), etc. Afin de remédier à ces problèmes et généraliser une éducation de qualité, la Charte a été suivie plus tard par un plan de développement global étalé sur une période de quatre ans (2009 - 2012), un "Programme d'Urgence (PU)" basé sur quatre piliers stratégiques: (1) Rendre effective l'obligatoire de la scolarité jusqu'à l'âge de 15 ans, (2) Stimuler l'initiative et l'excellence au lycée et à l'université, (3) Affronter les problématiques transversales du système (enseignement, gestion et gérance), et (4) Se donner les moyens de réussir (financement, partenariat, communication, mobilisation sociale et implication du secteur privé). La JICA, entre autre bailleurs de fonds internationaux, a fourni son assistance pour les piliers (1), (3) et (4).

Après l'achèvement du PU, en Mars 2013, le MENFP a développé son Plan d'Action à Moyen Terme pour la période 2013-2016 (PAMT), en tirant des leçons de la mise en œuvre du PU. Le PAMT a été préparé en étroite consultation avec les donateurs qui soutiennent le secteur de l'éducation au Maroc, en leur fournissant un cadre commun d'assistance. Le plan est articulé autour de cinq espaces d'intervention : (1) Offre scolaire; (2) Qualité de l'enseignement, (3) Etablissement scolaire; (4) Gouvernance et (5) Ressources humaines.

Le Projet "PEEQ" a été demandé par le MENFP pour aborder à la fois les questions de l'accès et la qualité de l'éducation, notamment en milieu rural, en s'alignant sur les politiques éducatives marocaines, le PU 2009-2012 et le PAMT 2013-2016. La première mission préparatoire a été déployée en juin 2013, au cours de laquelle le concept de base a été élaboré et arrêté par les deux parties dans le procès-verbal de la réunion du 21 juin 2013. La deuxième mission préparatoire a été déployée afin de concevoir le plan détaillé du projet. La section ci-dessous résume les résultats discutés et approuvés par les deux parties.

II. PRÉSENTATION DU PROJET

Les détails du Projet sont décrits dans le cadre logique (Matrice de conception du projet: (Annexe I) et le Plan provisoire de l'opération (Annexe II).

1. Structure de mise en œuvre

L'organigramme du Projet figure dans l'annexe III. Les rôles et les missions des organismes concernés se présentent comme suit :

(1) Le MENFP

(a) Directeur de projet

Il est responsable de l'administration et de la mise en œuvre du Projet, Lae personne en question sera affecté avant le début officiel du Projet.

(b) Chef de projet

Il est responsable des questions techniques et de la gestion du Projet. La personne en question sera affectée avant le début officiel du Projet.

(2) Les experts de la JICA

Les experts de la JICA donneront l'orientation technique nécessaire, les conseils et les recommandations au GdM, sur toutes les questions relatives à la mise en œuvre du Projet.

(3) Comité de coordination conjoint

Le Comité de Coordination conjoint (dénommée ci-après "CCC") sera mis en place afin de faciliter la coordination inter-organisationnelle. Le CCC se réunira au moins une fois par an et à chaque fois qu'il est jugé nécessaire. Le CCC approuvera un plan de travail annuel, examine l'état d'avancement global du projet, effectue le suivi et l'évaluation du Projet et procède à des échanges d'opinions sur les questions majeures qui se poseront lors de la mise en œuvre du projet. La liste des membres du CCC affectés au projet est jointe à ce Procès-Verbal à l'Annexe IV.

2. Site (s) du projet et bénéficiaires

(1) Sites du projet:

Phase 1 et 2

- 1) Chaouia Ourdigha (CO)
- 2) Doukala Abda (DA)
- 3) Gharb Chrarda Beni Hssen (GCBH)
- 4) Marrakech Tensift Al Haouz (MTH)

Phase 3 et suivantes

- (5) Taza Al Hoceima Taounate (THT)
- 6) Oriental
- 7) Tadla Azilal (TA)
- 8) Sous Massa Draa (SMD)

Les activités du projet PEEQ seront mises en œuvre dans le cadre d'une phase pilote selon deux phases 1 et 2, avec l'assistance de la JICA. la priorité étant donnée aux AREF bénéficiaires du Projet d'Appui au Secteur de l'Education de Base (BESSP''). Les activités de la phase 3 et celles qui suivront seront menées par le MENFP. avec l'appui technique de la JICA.

- (2) Bénéficiaires
 - MENFP, AREF, et délégation
 - Ecole: 120 écoles environ

3. Durée

Il est prévu que la durée du Projet sera de 48 mois à partir de l'envoi des experts de la JICA.

4. Rapports

Le MENFP et les experts de la JICA prépareront conjointement les rapports suivants:

- (1) Rapports d'avancement annuels durant la période du projet
- (2) Rapport d'achèvement du Projet à la fin du Projet.

5. Considérations environnementales et sociales

- (1) Le MENFP a accepté de se conformer aux "Directives de la JICA pour les considérations environnementales et sociales" afin de s'assurer que les impacts environnementaux et sociaux du projet seront pris en considération de manière appropriée.

III. ENGAGEMENT DU GdM

1. Le MENFP et le GdM prendront, dans la mesure du possible, les initiatives nécessaires pour :
 - (1) garantir à ce que les technologies et les connaissances acquises par les ressortissants marocains à la suite d'une coopération technique japonaise contribueront au développement économique et social du Maroc, et que les connaissances et l'expérience acquises par le personnel marocain concerné de la formation technique ainsi que l'équipement fourni par la JICA seront utilisés efficacement dans la mise en œuvre du Projet ;
 - (2) accorder des privilèges, exonérations et avantages pour les experts de la JICA et leurs familles, aussi favorables que ceux accordés aux experts et membres des missions et leurs familles de pays tiers ou d'organisations internationales qui accomplissent des missions similaires au Maroc ;
 - (3) fournir des informations liées à la sécurité, dans la mesure de leur disponibilité, et prendre les mesures nécessaires tenant compte des attributions du MENFP et de ses capacités en la matière pour assurer la sécurité des experts de la JICA ;
 - (4) permettre aux experts de la JICA d'entrer, sortir et séjourner au Maroc pendant la durée de leurs missions dans ce pays et les dispenser de l'obligation d'immatriculation des étrangers et de taxes consulaires tout en mentionnant la nécessité de concerté cette disposition particulière avec les autorités Marocaines compétentes dans ce périmètre d'intervention spécifique ;
 - (5) exonérer les experts de la JICA des impôts et autres taxes sur le matériel, les machines et autre matériel nécessaire à la mise en œuvre du Projet. Cet engagement est garanti sur la base d'un accord entre le MENFP et le MEF ;
 - (6) exonérer les experts de la JICA de l'impôt et des charges de toute nature appliqués aux honoraires et indemnités qui leurs sont versés et/ou remis à partir de l'étranger pour leurs services dans le cadre de la mise en œuvre du Projet. Cet engagement est garanti sur la base d'un accord entre le MENFP et le MEF; et
 - (7) se charger des taxes et autres impôts sur le matériel, les machines et autres équipements nécessaires à la mise en œuvre du Projet. Cet engagement est garanti sur la base d'un accord entre le MENFP et le MEF.
2. Le GdM prendra en charge toutes revendications éventuelles contre les experts de la JICA résultants de, ou ayant lieu dans le cadre, ou autrement liées à l'exercice de leurs fonctions durant l'exécution du projet, sauf lorsque ces réclamations découlent de négligence grave ou de mauvais comportement délibéré de la part des experts JICA.

IV. EVALUATION

La JICA et le GdM procéderont conjointement aux évaluations et effectueront les revues suivantes.

1. Revue à mi-parcours, effectuée à mi-parcours de la période de coopération
2. Evaluation finale effectuée au cours du dernier semestre de la période de coopération.

La JICA effectuera les évaluations et les enquêtes suivantes pour vérifier en particulier la durabilité et l'impact du projet et en tirer des leçons. Le MENFP est tenu de lui fournir tout l'appui nécessaire.

1. Evaluation à posteriori après trois (3) ans de l'achèvement du projet, en principe.
2. Les enquêtes de suivi en fonction de besoin.

V. PROMOTION DE L'AIDE PUBLIQUE

En vue de promouvoir l'appui pour le Projet, le MENFP prendra les mesures appropriées pour faire connaître le Projet au public marocain.

VI. CONSULTATION MUTUELLE

La JICA et le GdM se consulteront chaque fois que des problèmes majeurs se poseront dans le cadre de la mise en œuvre du Projet.

VII. MODIFICATIONS

Le compte-rendu des débats peut être modifié par le procès-verbal des réunions tenues par la JICA et le GdM.

Les procès-verbaux des réunions seront signés par les personnes dûment autorisées de chaque partie qui pourraient être différentes des signataires des minutes des discussions.

Annexe I	Version provisoire du cadre logique (Matrice de Conception du Projet)
Annexe II	Version provisoire du Plan Opérationnel
Annexe III	Version provisoire de l'organigramme du projet
Annexe IV	Liste des membres désignés pour le Comité de Coordination conjoint

PRINCIPAUX POINTS DISCUTÉS

1. Aperçu du projet

Il est attendu que le Projet soutienne la gouvernance dans le secteur de l'éducation, en renforçant les capacités et l'efficacité du système actuel et ainsi favoriser le processus de décentralisation au Maroc. Le projet reposera sur deux piliers: (i) "la composante Equité" qui vise à améliorer l'accès à l'éducation (scolarisation des filles, transition du primaire au cycle d'enseignement secondaire) à travers l'organisation de campagnes et autres activités d'investissement à petite échelle organisées par les établissements de l'enseignement secondaire et les écoles primaires affiliées, et (ii) "la composante Qualité" qui vise à améliorer la qualité de l'éducation au niveau de l'école en donnant la priorité à l'apprentissage des élèves (à travers l'analyse des erreurs d'examen). Le Projet est conçu pour renforcer la capacité du MENFP à soutenir l'AREF, la capacité de l'AREF à soutenir la délégation et la capacité de la délégation à soutenir les écoles les plus défavorisées afin que ces derniers améliorent la condition de l'éducation au sein de leurs établissements d'une façon autonome. A cette fin, les deux composantes adoptent une approche ciblée visant les bassins scolaires les plus défavorisés.

La durabilité est soulignée tout au long de la planification du Projet à travers (i) la structure organisationnel existante et mandat, (ii) en commençant par des activités pilotes (deux phases) initiées par la JICA, avant de confier progressivement le projet au MENFP à partir de la 3^{ème} phase.

2. Entités/divisions responsables

Le Projet fera intervenir diverses parties prenantes à l'échelle nationale (MENFP), régionale (AREF) et provinciale (délégation). Les entités/divisions responsables qui (i) mettront en œuvre et (ii) fourniront l'appui à l'entité d'exécution du projet, figurent dans les organigrammes de MENFP/AREF/Délégation dans l'annexe 7.

Le MENFP et les experts de la JICA établiront un Plan Opérationnel détaillé après le commencement du projet.

